(日刊)夕刊 滿洲日報
五月廿二日 (昭和三年八月十五日第三種郵便物認可)
昭和五年五月二十三日 THE MANSHU NIPPO (金曜日) 第八千六百三十七號 (一)

海軍條約文の審議を政府愈よ法制局に命ず
樞府結局承認するものと觀て
違憲論議は斷然拒否

【東京廿二日發電】政府は對海軍關係も漸次好轉し樞府も結局ロンドン條約を承認するものと見て大體樂觀的態度を持し二十一日法制局に條約文の審議を命じたが、六月十八日歸朝の若槻主席全權より詳細説明を聽取した後直に樞府御諮詢奏請の手續を執り夏休み(七月二十日)以前に樞府通過の運びに漕ぎつける意嚮である、而して樞府には將來國防に遺憾なからんことを望む程度の決議を附帶せしめられるやも知れぬが、政府の致命傷となる如き決議は附けまいと見てゐる、しかしながら對海軍關係が意外に惡化すれば樞府も統帥權問題に關し政府の措置を遺憾とする決議を附することになるやも知れず、かゝる場合は政府は自から憲法干犯の罪を默認する結果とならぬやう斷然之を否認せねばならぬのでかゝる時の對策についても豫じめ充分な下準備に努めることゝなつた

統帥權問題に關し海軍三巨頭密議
岡田參議官は調停役

【東京廿一日發電】財部海相は二十一日午後一時半臨時閣議散會後海軍省に入り直に大臣室で加藤軍令部長と第二次會見を行ひ會見中途岡田海軍大將も加はりこゝに海軍

三巨頭の 鼎坐密議が時餘に亘つて行はれた後海相は霞ヶ關官邸に入り山梨次官を招致して再び岡田大將と統帥權問題に關し凝議し、一方加藤軍令部長は末次々長と部長室において協議を遂げる等軍部内は極めて緊張せる空氣が漂つたが、會見の内容につき仄聞するに第一次會見において財部海相が加藤軍令部長に對し即答を避けた統帥權問題に關する態度については海相は依然明答を避けたのみならず非公式軍事參議官會合の點についても軍令部長の督促に對し海相は開催日の決定を

留保した ものゝ如く種々の情報を綜合するに統帥權問題に關する財部海相の態度は閣員の一人として政府從來の方針を支持せざるを得ざる立場に在ると共に他方において軍部大臣として軍令部の統帥權擁護の主張にも共鳴せざるを得ざる地位に在るものにして海相はいづれに與するを得ざる苦境に在り、而して岡田大將はこの間の極めて微妙なる關係に處して海軍内部に醜き葛藤の惹起することなきやう奔走してゐるが、結局海相の態度が如何に決定するにかゝはらず非公式軍事參議官の會合は徒らに之を遷延するを得ざる事情に在るので近くこれを開催し之に依り軍事參議官全體の意嚮を

右か左か に明かにすることになれば財部海相も始めて軍事參議官會議の大勢に從つてその態度を決定すべく而して今日の形勢を以てすれば軍事參議官會議の大勢は軍令部長の主張を強く支持しつゝあるもの如くであるから軍部の渝らざる強硬主張は政府に取り假に樂觀を許さゞるものがあると見られてゐる(寫眞上から岡田、加藤、財部三大將)

理非を糺した後態度を決定
重要會見後 財部海相語る

【東京二十二日發電】別項の如く加藤軍令部長と會見した財部海相は海相官邸で大要左の如く語つた
先程加藤軍令部長と會見した必要があれば又明日會見するかも知れない、歸朝後海軍大臣として軍縮會議の後始末に關し殘された問題は三分の二は濟ましたが三分の一は殘つてゐる樞府御諮詢は若槻全權歸國後だと思ふ統帥權問題に關しては海軍の爲め私から兎や角言ふ事は避けたい、而してこの問題につき政府對軍令部間に意見の相違があるといふが私は理非曲直を糺した上態度を決めたい、軍事參議官の非公會合は成るべく早く開きたいと思つてゐるが未だ日時が決定する迄には至らない今度の問題を繞つて誰がどうなるかといふ人事問題は絶對秘密で何とも言へない

地方長官に酒饌下賜
有難き御言葉に一同恐懼

【東京二十二日發電】天皇陛下には目下會議のため上京中の池田北海道長官外各府縣知事に對し御慰勞の御思召に依り二十二日正午宮中において御陪食仰付られた、光榮の池田長官、牛塚東京府知事等はこの日フロツクに威儀を正して正午前參内豐明殿に參入御陪席を差許された濱口首相、安達内相、一木宮相、大塚警保局長、丸山警視總監等七十三名御席を拜受、正午天皇陛下には陸軍稜式御通常禮裝を召され諸員最敬禮中に朝香宮鳩彦王殿下扈從、鈴木侍從長以下供奉豐明殿に出御一同に對し酒饌を賜はり御陪食仰付られ終つて千種間にて畏くも打寛ろがせられた賜茶の裡に種々御下問あり、地方長官一同有難き御言葉に恐懼し午後三時近く退下した

研究會の説明要求拒絶

【東京二十二日發電】貴族院研究會政務審査部は軍縮條約に絡む各種問題につき濱口首相が滿足な説明を與へてゐないため財部海相の

財部海相東郷元帥と會見

【東京廿二日發電】財部海相は廿一日午後加藤軍令部長、岡田參議官と會見後午後五時麴町の自邸に東郷元帥を訪問して軍縮問題、統帥權問題について會談した

歸朝を待ち改めて海相の説明を求めたが、海相は上奏前であり且つ上奏後も各關係方面に報告諒解を求めねばならぬからと拒絶した

大角司令長官財部海相に進言

【東京二十二日發電】横須賀鎭守府司令長官大角岑生中將は軍部對政府の重大關係に鑑み二十一日午後上京海軍省に財部海相と會見所見を進言し更に午後六時より加藤軍令部長を私邸に訪ひ一時間餘に亘る重要協議した

盜犯防止法六月十一日實施

【東京二十二日發電】特別議會を通過した盜犯等防止及處分に關する法律は二十二日の官報を以て公布されたが、實施は二十日後の六月十一日となる

支那側の要求をロシヤ側一蹴す
東鐵の電信權交渉

東鐵電信、電話の管理權については露支交渉を開始してゐたが、チニソフ東鐵ロシヤ側代表の回答は大要左の如くであると
第一條 支那側の要求する東鐵取扱の商業電報は四月十八日の理事會決議に基き東鐵で收發しても中國電報當局に交付し支那の當局が辦理し東鐵とソウエート鐵道間の交換公務電報を支那電報局に同樣交付せよとの提案は討議することが困難でから東鐵とウスリー鐵路使用公務電報の規程により處理する、故に東鐵と支那電報當局との間に附議せず、支那側提案第一條を左の如く改訂する
凡そ中國特區からソウエートへの往復商業電報は東支に受發したものに論無く或は東支から發信したものも私信電に係るものは支那領内にありては支那電政當局が處理する
第二條 電信機具其他一切の附屬品買收は本年一月十八日の理事會の議決案にその原則に關し未だ明記されず將來本路の電線或は其他の鐵道事務設備は支那電政當局に移交し管理に歸せしむ但し買收價格其他の提案は本會議に附議すべからざるものなれば支那側提案細目二項は削除す
第三條 東鐵の電信檢閲權は露支兩國間における國際電報協約の一に該當し管理局長の職權外なれば削除す
第四條 東鐵及支那電信局の料金を統一することは理事會の決議により普通一オンス二十二哥、乃至六十六哥を徴收し東支と支那電政局とにより專門委員會を組織し分配案を決定する
第五條 中國電政當局とソウエート郵傳委員會との電報取扱に關する業務の協定は管理局長の職權外なれば原案は削除す
第六條 東支鐵道沿線一帶大驛における往復の私報及び一切の國際電報は支那電政當局が局を設けて辦理し、小驛における往復の私電は中國電政當局から委託し東鐵が代辦す、その委託辦は支那電政が規定を作り通知する
第七條 電線使用料金は專門委員により決定
第八條 東支鐵道が代辦した特別區間の商電はソウエート領事を通過せぬものは國際電報料を徴收し支那電政當局の規程により東支代收を通知す、電信使用料は委員會が之を規定す
第九條 收入料金の決算は翌月十五日前に報告す
第十條 本案は四月十八日の理事會決議により東支の取扱電報は中國の電政當局の隨時檢閲に應じられない
とあり支那電政委員の提案は理事會の決議を補足したに止まり一歩の進展も見せず僅かに東鐵取扱の商電、私電と料金を統一したのみに終り全く根本からの骨拔案に訂正され支那側の眼目であつた管理權は一蹴された形である【ハルビン特信】

南北兩軍の決戰は六月上旬とならう
考城、蘭封方面にて

【南京特電二十二日發】中央軍は隴海、京漢兩方面から進撃しつゝあるが、專門家の觀る所では京漢線の進軍は馮軍を牽制し開封の西考城、蘭封方面に中央の主力と山西軍主力との戰闘が行はれる、この主力の戰闘は六月初旬であらう南北の勝敗この一戰で大體決定するであらうと

津浦線を中斷か
山東方面の北軍作戰

【北平特電二十一日發】北軍は十四日馬牧集を棄て十八日遂に歸德を南方軍によつて奪取されたことは事實であるが、しかも未だ主力戰ではなく、南方としては防戰、攻戰共に歸德を占領せねばならぬ立場にあり、孫殿英の雜色軍が追撃の犧牲となつたもので、未だ山西の主力は開封、蘭封、野鷄岡に在り、兩軍の隴海線における主力決戰は蘭封のあたりで行はれるものと見られてゐる、北軍の作戰として傳へられてゐる所に據ると、先づ隴海線にて雜色軍を先頭として中央軍の精鋭を疲勞させ、その後主力を向けてこれを壓倒しやうといふにあり、蘭封においては必らず、これを喰ひとめ追撃に十分見込みありといはれてゐる、又石友三軍をして極力、濟寧、滋陽を奪取せしめ津浦線を中斷し、山東を反蔣軍の手に入れ、一片蚌埠を衝いて南方主力の退路を斷つと云ふ作戰であると

南京政府は戰捷氣分

【南京廿一日發電】一昨日前線より歸來した蔣介石氏は今朝胡漢民譚延闓氏等中央要人に宛中央軍は二十日確實に歸德を占領し隴海線方面の第一次總攻撃は大成功裡に一段落を告げたから廿二日歸京すると旨打電し來り國民政府部内は戰捷氣分に滿ちてゐる

大沽封鎖決行か
東北艦隊副官の赴青

南京政府は大沽封鎖を行ひ山西軍に一泡吹かせんと目下廟島列島長山列島に屯する東北艦隊抱き込みに躍氣となつてゐることは屢報の如くであるが、東北艦隊司令沈鴻烈氏副官戴戰志外三名は廿一日夜來連即日旅順を訪問し廿二日出帆天津丸で青島へ赴いたが赴青の理由に關しては口を緘して語らなかつたが新聞紙が報ずる所は萬更嘘でもないとの意味をほのめかしてゐた仄聞するところによると、張學良氏は艦の修繕費に藉口して二百萬元を受取りこれに代るに人民保護の名によつて大沽封鎖に當る事となる模樣である

地方長官會議

【東京二十二日發電】二十二日の地方長官會議第三日は前日に引續き内務省に開會安達内相より失業對策と國産品愛用に關し訓示した【寫眞は廿一日第一日正午首相の午餐會後散歩にモダンな官邸玄關を降りる閣僚並びに地方長官連】

浦鹽に暴動起る
沿黑龍州の農民坑夫等も不穩
哈市ロシヤ人重大視

【ハルビン特電二十二日發】浦鹽に十九日暴動勃發しロシヤ官憲ゲ、ペ、ウと衝突し沿黑龍州もその結果如何で危險だと傳へられスウチヤン、スパスク、イマン地方にも赤農民と石炭坑夫がストライキを起し官憲と揉み合ひ多數の重輕傷者を出したといひ、當地ロシヤ人間では重大視してゐるが、これは露支正式會議を控へて支那側が宣傳してゐるのだとの觀方と一つはスターリンの產業五ケ年計畫のため政治經濟に最左翼の急角度を來しレーニン主義への逆轉に堪へず農民が叛旗を擧げ約三千のパルチザンが蜂起し各村落と呼應して暴動を起したのであらうとの説があるが眞相判明せず

ラ公領尚書辭任

【ロンドン二十一日發電】ランカスター公領尚書サー、オスワルドモスレー氏は失業救濟政策に關し勞働黨政府と意見合はず二十一日遂に辭表を提出した

張學良氏誕生祝

【奉天特電二十二日發】六月三日は張學良氏の誕生日に當るが張氏

モ氏の辭職理由

【ロンドン二十一日發電】辭職したランカスター公領尚書サー、オスワルド、モスレー氏は辭職の理由につき左の如く述べた
自分の辭職は政府の失業對策と自分の意見と全然相容れぬためと政府の失業救濟委員會が現下の事態救濟の方法として自分の提出した二ツの選擇案を無下に拒絶したゝめである、今後裏面に在つて一黨員として勞働黨に忠誠を盡す考へであるが、前回の總選擧に國民の前に誓約した黨の政綱と合致するゝ自己の信ずる政策の採用を黨に要求する權利を保留するものである

軍縮協定は成功
あれだけの保有量を得たのは我國民的背景の力だ
齋藤情報部長語る

財部全權と共に歸朝の途についた外務省情報部長齋藤博氏は全權より一足遲れ滿鐵仙石總裁を初め滿鐵、關東廳要路と會見し廿二日出帆うらる丸にて内地へ歸還したが船中聊を通じると
大體は哈爾賓で話した幾度もいふ事だが會議は國民全體の信頼通りなれば成功だと思ふ、英米にしたところで今次の會議で日本が保有量をあれまで主張し得た事を全く國民的背景の力だといつてゐる、草刈少佐の事件も詳細は判らぬが何等根據のあつたわけでなく、全く一個人の行爲であらうと思ふ、故小村壽太郎侯のポーツマス條約に對しても當時は世論喧ましいものがあつたが時日が經て冷靜になると成功だと云はれるやうなものさすぐ歸るつもりだつたのが色々會ひたい人達も居つたので長引いてしまつた
と語つた齋藤氏は恰度同船した民政黨代議士鶴澤宇八氏と談笑し乍ら定刻出帆した

英國の建艦計畫
海相下院にて發表

【ロンドン廿一日發電】イギリス海相アレキサンダー氏は廿一日下院において政府の建艦計畫を説明し「政府は三隻の潜水艦建造開始を提案する」旨を發表したが右は曩に建造一時中止となつてゐたものである、海相は尚「既に六時巡洋艦一隻驅逐艦二隻の建造方命令を發したが更に驅逐艦導艦一隻驅逐艦二隻の建造入札は目下考慮中であると發表した

東北省の赤化取締嚴重

【奉天廿二日發電】東北省における赤化宣傳防止のため當局は血眼となつてゐるが東北政務委員會では左の如き處罰條項を附し各地の官廳に通牒を發したと
一、赤化宣傳主謀者は無期懲役に處す
二、事情を知りながら赤化宣傳に參加せるものは懲役十ケ年に處す、宣傳員を保護し又は援助したるものは一年以上十ケ年以下の懲役に處す

(北陵の)は一切の祝賀を謝絶した北陵の別莊において少數の近親側近者と小宴を催すに止めると

反英運動の幹部逮捕

【ボンベイ廿一日發電】本日三百名の警官隊は當地における印度國民協議會會場を襲撃し國民協議會の提唱者にして議長たるフナリマン氏、副議長にして國民協議會々報主筆たるチヨクシー博士を逮捕した、群衆は警官隊に向つて投石し幹部一行をトラックに乘せ護送せんとするのを妨害したが警官側は棍棒を振つて群衆を解散させた、この騷ぎの爲めに十數名の負傷者を出した、なほ九十五名の義勇隊はワダラ鹽倉庫を襲撃したが官憲の爲め全部逮捕された

ガ氏令息逮捕

【ボンベイ二十一日發電】今朝ダラサナ村製鹽釜の襲撃を企てた約二千名の義勇隊と警官隊との間に衝突起り多數の負傷者を出し且つガンヂー氏令息マニラル氏始めその他義勇隊の幹部が逮捕されたがそれよりやゝ遲れてダラサナ村にて反英運動の指導者女流詩人ナイヅ女史も逮捕された

印度軍隊出動
義勇隊三百負傷

【ボンベー二十一日發電】ダラサナの暴動鎭壓のためボムベイより印度軍隊四百名が同地に派遣されたが、廿一日朝義勇隊と對戰し義勇隊側は三百三十名の負傷者を出した

辭令(廿二日附)

第二遣外艦隊司令官 海軍少將 伊地知清弘
海軍軍令部出仕を命ず 海軍少將 津田静枝
第二遣外艦隊司令官に任ず

人事

▲北代眞幸氏(鎭江海關長) 暇乞のため廿二日市内各方面歴訪、廿二日出帆天津丸にて任地へ
▲岸本廣吉氏 大連海關長) 新任挨拶のため同上
▲江野澤恒氏(新聞記者) 二十二日滿連絡下り機にて平壤より來連
▲志岐信太郎氏(志岐組主) 同上京城より
▲水口博司氏(會社員) 同より機にて大阪へ
▲櫻井學氏(遞信局長) 二十一日夜本溪湖へ
▲米内山震作氏(關東廳財務課次席)二十二日旅大往復
▲石本憲治氏(滿鐵情報課長) 沿線出張中の所廿二日朝歸任
▲前川良三氏(大連新聞取締役) 廿二日出帆のうらる丸にて内地へ
▲中田重治氏(ホーリネスト教會日本總監督) 同上
▲鵜澤宇八氏(民政黨代議士) 同上
▲齋藤博氏(外務省情報部長) 同上
▲篠崎嘉郎氏(大連商議書記長) 同上
▲原田孝七氏(奉天取引信託專務) 同上
▲川邊惣作氏(旅順警察署部) 同上青島へ
▲三浦和一氏(駐奉天副領事) 同上上海へ
▲澎楚克氏(コロンバイル王國代表) 部下五名と共に蒙藏會議出席のため同上南京へ

大觀小觀

低氣壓の中心は、依然、軍令部を離れず、統帥權問題を繞つて暗澹たりといふところ。
◇
海軍將星、右往左往、異聞を飛ぶこと滋し。
◇
樂觀、悲觀、時に宣傳、逆宣傳あり、暗雲、低迷して容易に去らんとせず。
◇
そのうち、來月十八日には若槻全權の歸朝あるべく、いづれとも問題の解決は、それまで持ち越し
◇
ただ問題を研究するはよし、これを政爭の具としては困る。
◇
南北の主力戰、漸く展開しつゝあり、勝敗の決、果して如何。
◇
南が勝つも、北が勝つも、ただ軍閥の抗爭のみ。國民革命、國民生活を去ること遠きは、支那のため長嘆息の外なし。

天氣豫報

廿三日(北西の風) 晴
滿潮 午前六時五十五分 午後六時五十五分
干潮 午前零時三十分 午後零時四十分

鴨綠江をお渡り義州の戰蹟御視察
・彈丸の跡今尚殘る統軍亭お成り
再び安東へ御歸還

【安東特電二十二日發】國境の御一夜は明けて風薫る今二十二日、秩父宮殿下には國境を越えさせられて義州に成らせられたが、御出發に先だち殿下には領事館に於て朝鮮側の上原二十師團長、大村鐵道局長、森岡警務局長、外山憲兵司令官、中村參謀長、石川平北知事、井上税關長、永島新義州法院檢事正に單獨賜謁、また新義州側有資格者三十五名に列立拜謁を賜つた、午前八時

殿下には自動車に召され領事館を御發、鴨綠江鐵橋を渡らせられ新義州を御通過、朝鮮側官民、鮮人兒童等の奉迎裡に約六里の義州街道を朝鮮の風物を賞でさせられつゝ義州の支那と趣きを異にせる城門に入らせられ、眼下に見下す舊城に立ち、史蹟に富んだ朝鮮風の今なほ丸の跡殘る統軍亭に九時十分着せられた、こゝは日露の役に第一軍の砲兵陣地となり對岸

九連城に

露兵が據つて頑強に抵抗した地である、殿下ははるか下流の對岸に九連城を望ませられつゝ鴨綠江を御俯瞰、六ミリを御手にされて御撮影、役に參加した野砲二十六聯隊杉生隊長の「鴨綠江の戰鬪」及び上原師團長の「鴨綠江岸の」の講話を御聽取、御晝餐後再び自動車にて新義州を經て鐵橋を……

鐵橋が

……十字に開く樣を……鐵道局長の御說明にて御興深……めさせら……、又附近の江岸……た名物の筏を御覽あつて同……領事館に御歸還遊ばされた

仙石滿鐵總裁
けさ安東へ向ふ

【……特電二十二日發】秩父宮殿……安東まで御見送りの途、二十……奉した仙石滿鐵總裁は二十……前九時發列車で安東に向つ……總裁は二十三日十三時五十……の豫定である

五品疑獄の豫審終結し
原田耕一　田邊三樋　兩氏愈よ公判へ
けふそれ〴〵決定書送達さる
暴露されたその亂脈

昭和末大連財界に所謂五品疑獄として一大ショックを與へた五品前理事長原田耕一、商品信託專務田邊三樋兩氏にかゝる業務上橫領事件はその後大連地方法院川畑豫審判官の手で審理中であつたが、三ケ月目の二十二日漸く豫審終結、公判に廻されると同時に、各被告に對し豫審決定書が送達された、決定書は頗る長文のもので これを要約すれば左の如く當時の五品取引所の亂脈極まる營業振りが遺憾なく暴露されてゐる

原田は情を知りつゝ
田邊の橫領を默認
假拂損失金七萬四千圓の穴埋めに

決定

大連市博文町十二番地
元株式會社大連株式商品取引所理事長
原田耕一（五二）

大連市水仙町四十四番地
元大連商品信託株式會社專務取締役
田邊三樋（五九）

右被告人兩名に對する業務上橫領被告事件に付豫審を遂げ決定すること左の如くである

主文

本件を關東廳地方法院公判に付す

理由

第一　被告人原田耕一は大正十二年頃より大連商品信託株式會社の事務取締役たりしが、昭和二年三月頃大連株式商品取引所の理……

……態不振の五品取引所では傳統的希望たる錢鈔合併を企畫し五品株の市價を錢鈔株のそれより以上に保持すべく盛んに投機を行ふと同時に東京、大連兩市場に於ても五品株……

……を被告三樋に交付して橫領し、三樋は之を正隆、滿銀兩行に擔保として提供、以つて會員の借入前記原田の株式上場の損失に充當した後、其頃錢鈔四千六百株、滿興株八千株を受戾して五品取引所に返還した

錢鈔合併の
運動費や謝禮に
社金を引出し費消す

第二　被告人原田耕一は五品……

豫審免訴言渡し

五品株の上場を委託するに當り其證據金代用として五品所有の錢鈔株一千株（價額二萬四千圓）を臼井に交付して橫領

九、同年七月十三日前後二回に亘り五品所有の現金四千五百圓を妄りに引出し錢鈔合併の運動費に費消橫領

十、同年十月八日豫ねて五品取引所が正隆銀行に對して有する十個年据置金二十五萬圓の預金證書を擅に引出して橫領、之を以つて被告人田邊三樋をして正隆に擔保に供せしめてゐた前記第一の末項記載の錢鈔及滿興株の受戾を爲さしめたるものである

被告人原田耕一及び田邊三樋の前記行爲は各犯意繼續にかゝるもので之を法律に照すに兩名の所爲は刑法二百五十三條、第二百五十二條、第六十五條、第五十五條に該當し同法第二百五十三條所定の刑期範圍内に於て處斷すべきものなるを以つて、刑事訴訟法第三百十二條に依り公判に附されたものである、而して原田耕一が昭和二年九月十四日二千圓を假拂の形式により五品より受取り元五品理事たりし森上高明に贈與し會社帳簿上は自己の交際費として決濟し、更に同四年二月六日二百圓を自己の交際費名義で受取り東京出張員加藤某の退職金として贈與、何れも之を橫領したこと及び昭和二年十月三十一日五百圓と昭和四年三月十四日千圓を取引所交際費名義を以て引出し費消橫領したとの公訴事實は犯罪の嫌疑なきも連續犯として起訴せられたが特に豫審に於ては免訴の言ひ渡があつた

……昭和三年九月廿八、廿九の兩日四回に亘り五品所有の現金五千九百九十九圓十五錢を東京出張中送金せしめて之を費消し橫領

……之を岡山縣滯在中の白川友……送金橫領し、其後同年十二……元金のみは之を返還を受け……

……さらに同年十二月七日五品取引所に於て五品所有の現金五千圓を引出し、内金二千圓を當五品取引所の建築請負監督者平井大次郎に對して期限内に於ける請負落成の謝禮として交付し、内金六百圓を右建築請負人たる長谷川組に賞與として交付、殘金二千四百圓は其頃内に於て費消し何れも橫領

……昭和四年四月十五日五品所有の現金二千圓を妄りに引出し、内金一千圓は大連新聞社長寶性……に對し、當時五品錢鈔合併……に付き五品側に有利な態度を執つて吳れるやう依頼した謝禮として交付し殘額一千圓は費消した

……同年六月十八日五品所有の現金一千圓を妄りに引出し錢鈔と合併運動費に費消橫領し……同年七月八日臼井能吉に對し……

三、昭和三年二月中旬ごろ當時島縣に於て衆議院選擧に立候補せる門田新松か選擧運動費……したる結果、當時選擧運動……め廣島に滯在中の白川友……を經て被告人に對し運動費……通方を懇請あるや、被告人……を承諾し同月十七日五品……正隆、滿銀兩行の當座預金……萬圓づゝ合計二萬圓を引出……

けさ旅順に乘込んだ
奉天醫大補仁軍

……行ふ奉天醫大軍選手百四十……分着列車にて靈陽有志及……んだ【寫眞は旅順驛に勢揃】

岩石落下し
三名壓死
寺兒溝の慘事

二十二日午前九時ごろ寺兒溝東方海岸埋立工事の作業場に於いて埋立用岩石採石のためダイナマイトで穴を穿ちたる八尺四方の厚さ二尺（十二噸）の岩石が突然崩れ落下し來り作業中の寺兒溝一四番地大倉土木の苦力再相新（三〇）張長泰（二〇）王閣□（二〇）は下敷となり見るも悲慘な壓死を遂げた、大連署から新妻警部補検視したが原因は自然的龜裂によるものであると

金州南山の
招魂祭
廿六日に執行

金州民政支署では來る廿六日南山において日露戰役戰死者の招魂祭を執行するが、當日は一般の參拜者の便宜を計り滿鐵にては大連、旅順および瓦房店以南の各驛から金州まで二、三等に限り往復二割引（遺族五割）をなし、滿電バスにても割引乘車券を發賣すると

極東大會
野球戰日割
決定發表さる

【東京廿一日發電】極東大會野球戰日割は廿一日左の如く決定發表された（開始時間は午後二時半）

▲二十四日、支那對比律賓▲二十五日、日本對比律賓▲二十六日、日本對支那▲二十七日（休み）▲二十八日、支那對比律賓▲二十九日、日本對支那▲三十日、日本對比律賓

二回戰
二回戰
二回戰

日本チーム陣容

【東京二十一日發電】極東大會日本代表野球チームは今春リーグの覇者慶應を中心に腰本監督により左の如く組織決定二十一日各發表された

投手　宮武（慶）若林（法）永井（慶出）上野（慶）▲捕手　岡田（慶）伊達（早）▲一壘手　山下（慶）▲二壘手　田部（明）▲三壘手　水原（慶）森（早）▲遊擊手　村尾（慶）▲外野手　井川（慶）楠見（慶）桝（明）佐藤（早）土井（慶）

長春の觀光局に
三人組拳銃强盜
賣上金を奪つて逃ぐ

【長春特電二十二日發】二十一日午後九時五十分ごろ長春日本橋通ツウリストビユウローに强盜二名おし入り顧客を裝ひて雜談中、賊は突然ブローニング拳銃をもつて支那人店員に一發を浴びせ右腕に貫通銃創を負はしめ、飛鳥の如く計算臺を飛越して會計係に拳銃を突つけて脅迫し机の抽斗にあつた現金郵貨一千九百十五圓を强奪して遁走した、急報により警察當局は非常召集を行ひ全市に亙つて非常線を張つたが賊は早くも遁走しまだ縛につかない

マンホール中に
大男の慘死體
頭部を眞ツ二つに割られた
加害者は二名らしい

廿二日午前八時ごろ市内日新街廿四番地道路中央、深さ約三メートルのマンホールの中に兩足を縛され黑の短衣、白のシャツを以て頭部を包まれ、胴體に一糸も纏はぬ鮮血にまみれた大男の慘死體あるのを掃除に赴いた土木課苦力劉維忠（三〇）が發見しこの旨小崗子署に屆出でたので、同署よりは猪股司法主任刑事隊と共に現場に急行し今村檢察官事務取扱、山本警察醫立會の上へ死體檢視を行つたが被害者は廿七八歲の遊人風の男にて頭部を鈍器樣のものにて眞二ツに割られたうへ、支那帶にて首を締められたのが致命傷らしく兇行の模樣及び五尺七寸餘の大男を同所まで運んだところより見て加害者は二名らしく、小崗子署では被害者の身元につき目下極力調査中である

人相をよくする法

惡い人相は出世の妨げ、見よ本多靜六博士が人相をよくして成功する迄の體驗談、キング六月號！

腐爛死體漂着

二十一日午後五時ごろ西埠頭海岸に日本人二十四、五歲位の男の溺死體あるを屆出により水上署より係員出張檢視したるに死後五ケ月を經過したものらしく高貴織の袷にネルの襦袢、藍色の錦紗の兵古帶を締め黑の朱子足袋を穿いてゐたが全身腐爛して何者とも判明しなかつた

樽木八郎氏夫人

大連汽船株式會社鳳城丸船長樽木八郎氏夫人久枝（四三）さんは自宅に於て病氣靜養中藥石効なく二十一日午後五時二十五分死去した、葬儀は二十三日午後三時途中葬列を廢し西本願寺に於て執行すると

定期船香港丸

二十三日午前七時半大連港外着豫定

州内庭球大會
審判員決定す
各試合とも接戰を豫想

本社主催第十四回關東州内庭球大會は既報の如く百二組の未曾有の參加チームをもつて二十五日午前八時より北公園滿鐵コートおよび露西亞町コートの四コートで擧行されるが、斯界一流選手は勿論金州旅順等よりも選手馳せ參じ名實共の大會となり、接戰を豫想され佐藤大石組（滿鐵庭球部）小寺藥地組（大商倶樂部）下重上田組（滿鐵中央倶樂部）川原菊地組（遞信倶樂庭球部）沼田野口組（滿鐵庭球部）下部）齋藤關谷組（滿鐵庭球部）重吉丸組（中央試驗所）信太山田組（奬學會）等優勝候補チームに擧げられてゐる、なほ本社は左記斯界の權威者に當日の審判を依頼することになつた

▲審判長　渡邊通業氏▲審判委員　扶間富貴氏、林勝美氏、岡島吉氏、黑澤忠治氏、川原貞夫氏、笠原謙三氏、笠原靜治氏、川上謹一郎氏、津田信德氏、本瀨巖氏、芦原榮太氏、岩下敬二氏、三科五郎氏、宮田多喜男氏、樋口茂氏、杉本忠良氏

日本大相撲
九日目の取組

【東京二十二日發電】日本大相撲夏場所九日目の取組左の如し

（駒錦）若常陸（荒熊）太郞山（綾の浪）沖つ海（吉野山）幡瀨川（大島）常陸島（藤の里）山錦（古賀浦）寶川（眞鶴）若瀨川（綾岬）出羽岳（和歌島）信夫山（鏡岩）淸水川（雷の峰）劍山（玉碇）武藏山（常陸石）新海（朝汐）玉錦（能代潟）豐國（大の里）天龍（常の花）若葉山（宮城山）錦洋

艶色生膽祕譚 (119)

伊藤松雄作　河原塚鳥太郎畫

お庫燒打(四)

「駄目だツ……」裏窓を細目に覗くと、そこにも御用提灯がゆらめいてゐる。

「うーむ、止むを得ん、やつつけやう」

「よし、油斷するな」伊牟田尚平、大刀をひきぬく。これがキツカケで、主人喜助は室內の行燈をフツと吹き消した。

「左近殿……」

「先生……」

「ではぬからずたのみましたぞ、後は氣づかひなく大事決行に急がれい、さ、これが今宵の血祭ぢや……」

相樂總三、いきなり土間にころかしてあつた手先の繩をきるや、

「えいツ……」

一際の氣合に、ヘツと氣づいて戸外へ逃げだそうとした職人體の男、一足とびのいた處を、無言に斬る。

「うーむ……」

ガラリ戸をくれば、ドツと喚聲あげる捕手の一隊、御用提灯一齊にふりかざして……こちらは相樂を中心に六人の武士、背中合せの圓陣つくつて、ぢり〳〵と押準む

「いざとなつたらこれぢや」

左近は火藥の充ちた提籃を左手にしつかと握りしめ、右手の太刀殺氣ゆるぎなく對手に擬しつゝ摺足で進む。

が、對手は限られて家內へ躍り入る氣配なく、

「御用……」

「御用……」

空聲のみかけてゐる。

「よし、組しやすいぞ……」

相樂は底力ある聲音で一同を勵ました。

「安藤長島、先陣ぢや、ゆけ、ついて砥谷、われらは伊牟田殿と殿りいたす」

「では、それがしは」

左近は額から滴りおつる熱い汗をふるひおとして訊いた。

「おみは大川端へ急ぐのぢや」

「え？」

「說めを忘るな……」

「しまつた……」

左近はこの命令にハツとした。三藏の姿がまだ見えないからである。

「あツ、三藏め何をしてゐることやら」

途端に先陣承はつて暗中へとびこんでいつた安藤長島、どツと躍み來る捕手の群を一氣に白刄ひらめかして、バタ〳〵と斬る。

「それツ……」

自ら雄々しくも叫んで砥谷、飛龍の如く白刄ひらめかしてつづく……

「さ、この間だ、左近殿……」

「はツ……」

顧みればもう相樂も伊牟田も姿は見えなかつた。

「チエツ、遲れたか、が、お庫燒打の勤めはおろそかに出來ん…」

裏口の一隊も表へ廻つたらしい途端、窓口からヒラリとびおりた左近である。

「御用……」

いきなり暗闇からピシリ腕にこたへる十手風。

「うぬツ……」

左近は右手の大刀をふるつて空を斬つた。

「御用……」

「御用……」

足許から俄に起る聲々。

「しまつた、伏勢か……」

左手には火藥入れの提籃、右手に大刀、裏口は狹い。表の喧騷が次第に遠のいていつたは味方が捕手を追ひ散してゐるからでもあらう。

「さア來い……」

右手の大刀を正眼につけ、ヂリ〳〵と暗中を進む。

瞬間、フワリと肩先へとびついた怪物。

「げツ……」

身をすくめるとそれはどこからとび來つたか一匹の猿、双手にもつた眼つぶしの紙袋をヒヨイ〳〵と對手の捕手めがけて投げかける

「おお、出來した、今宵の同志か助勢をたのむぞ」

左近は忽ち氣強くなつた。

キネマと演藝

捨丸一行の萬歲が 來月二日來連

砂川捨丸一行の來連はかねて噂されて居たが、來月二日來連、歌舞伎座にて約六日間興行する事に決定したが、同一行は約四十名の大一座で、中に最も興味を引くものは捨丸の外、新吉原藝妓の新舞踊丸一一座の曲藝、橘右近の追分け等であるが、なにしろ大阪道頓堀に於て興行する時と殆ど同一メンバーである事ゆえ來連のあかつきは相當な景氣を見せる物と豫想されて居る

高等音樂院の舞踊試演會 二十四日協和會館にて

大連高等音樂院舞踊科主催、日本コロムビア蓄音器株式會社後援の民謠童謠舞踊の家庭化を計るを目的とする舞踊試演會は來る二十四日（土曜）午後七時より社員俱樂部協和會館に於て催されるが當日のプログラムは次の如く決定した尙伴奏は全部コロムビアレコードによるとの事である（全部コロムビアレコードにて伴奏）

（第一部）――一、風船賣二、落葉の兵隊三、鐵びんみこし四、石の地藏さん五、箱根八里六、ふるさと七かなりや八、夕やけ小やけ九、赤い鳥十、鈴太鼓十一村の水車十二、鳩十三、風車十四、街の小雀十五、あんよのうた十六、子守唄十七、見張番（第二部）――一、春の行進曲二、赤い靴三、あしたは御天氣四、お山のお猿五、土人の市六、アイヌの唄七、ちんころ兵隊八、尺取虫九、一寸法師十、きんゝゆく節十一、兎踊り十二、印度の王樣十三、船乘の唄（振付楢木銀二郎）

學藝

かねて噂されて居た通り浪速館ではいよ〳〵來る二十三日よりマキノの二番落ちをも上映する事となり▲先づ第一番には現在帝國館に上映中の「淚」の向ふを張つて月形マキノ時代の「淚」を上映せんものと計畫中▲なんだかんだとうるさい映畫界に、一變態的な存在を示して居る吉田席の御主人、新聞に書かれた噂に驚いて某館々主に面會に行つたとのこと▲さてこの驚き方が「シマツタ」か「コレハ〳〵」か、どちらかわからないさては又うるさい事▲一昨日帝國館家主の河合氏が關東廳に出頭して來てから又一つ噂がふへた▲曰く「帝國館は映畫館をよして寄席鶴花月席となる」との事▲なる程それなら或る程度の改築ですもうし經濟もてようとの事▲映畫街多事

ラヂオ

大連 JQAK（五月二十三日午後七時）

▲兒童科學講座「蝙蝠の話」神明高等女學校　前田政次郎
▲ピアノ獨奏　ポロネーズミリタリー（作品四〇ノ一）ショパン、木村三郎
▲アルト獨唱　歌劇「ラファヴォリタ」中のレオノーレの歌（おゝフエルナンドよ）ニツエツテイ四家文子
▲ヴァイオリン獨奏　（イ）子守歌ヤーネフエルト（ロ）ベルペテユオモビーレボーム（杉山長谷夫）ピアノ伴奏（木村三郎）
▲落語「甲府ゑ」櫻川歌助
▲支那劇「連營寨」連東俱樂部々員
▲料理獻立
▲天氣豫報
▲ラヂオ體操

東京 JOAK（五月廿三日午後六時廿五分）

オリンピツクの夕
▲獨唱管絃樂　獨唱內田榮一、AKオーケストラ、指揮平野主水　一、極東大會參加國々歌（イ）日本（ロ）支那（ハ）アメリカ（ニ）イギリス二、極東大會の歌獨唱
▲講演（一）日本選手の必勝を期して、第二回會長平沼亮三（二）各種競技の豫想其他、陸上（山岡愼一）水上（小野田一雄）野球（代表ケートの主將）庭球（清水善造）
▲獨唱と管絃樂　獨唱內田榮一、AKオーケストラ、指揮平野主水（一）箱根の山（二）マーチングスルージヨジアメリカ（三）オリンピアの勝利者（マイヤー作）
▲講演　各種豫想其の他、蹴球（竹腰重丸）籠球（藥師寺尊正）排球（多田德雄）ホツケー（佐藤武雄）拳鬪（渡邊雄次郎）

義江主演のトーキー『ふるさと』を見て

その大衆的興味と藝術價値

あの狹い不完全な大森のスタヂオで製り出された國產發聲映畫――しかも野外撮影までなした國產トーキー「ふるさと」――こう考へて見ただけでも此の發聲映畫は最初から難產の運命を背負つて居たと云はねばならない。しかも其の結果は、母子共に健全と云へよう。

此の映畫の臺本は――もつと一步つき込んで云へば此の映畫製作の動機は、云ふまでもなく「藤原義江」と云ふ人の商品價値を主體として、極めて商業政策的に試みられたものである。從つて此の條件がある以上、觀客の期待は勢ひ「藤原義江」の唄のもつ抒情的雰圍氣へ傾くに違ひない。

此處に、トーキー「ふるさと」の危險性はあつたのである。なぜなれば最に「其の抒情的雰圍氣」をそのまゝに享け入れる所の、所謂、高級と稱せられる觀客層、或ひは少なくとも「令女界」趣味の一團にのみ此の映畫をわけるなればともかく、映畫の全觀客層の眞ン中に飛び込んで行つて、藤澤義江という吸引力を無視しても、猶全觀客層にアツピールするにたる、百パーセント、映畫劇、しかもトーキーでなくてはならないからである。

此の難關をくぐつて生れた「ふるさと」を銀幕上に再生して見かつ聽いたが吾々は、此の點を第一に頭におき、藤原と云ふハンデイキヤツプを除外しても「よく出來た映畫だ」「現在の日本科學の可能範圍に於ける最上のトーキーだ」そして「面白い」映畫だと、うなづき得る程、成功した物と認め得るのである（續）

滿洲日報

婦人世界 六月號

家庭の新工夫號

これは名案！主婦の新工夫（三十二篇）
・僅か十圓で夏中溫度を五六度も下げられる新案の納涼裝置
・さうめん箱で三段の戸棚
・主婦の手でできる簡單な冷藏庫
・ここにも持ち歩ける文化移動棚
・埃の出ない疊の新工夫、便所の臭氣止めには入ツ手の葉。等、等、すぐ役に立つ實驗

餘り片で子供服（九種）
四五歳から八九歳までの男女兒のドレスや外出着など色々…

浴衣地で夏のドスレ
トテモ輕快な美しいキモノ・スリーヴ・ドレス四種の作り方を發表

千圓貯める新工夫（谷孫六）

○ペン字を上手に書く秘訣（加藤松雲）
○夏帶の上手な結び方（吉行あぐり）
○腹合せ帶の上手な仕立方（原田專助）
○蚤に喰はれぬ幼兒の寢卷（津田徳子）
○カーテンで部屋が引立つ（高木美代子）
○櫛一枚でスグ結へる流行髮（山野千枝子）
○おかつぱさんの切り方（大野榮子）

□中野英治情話（津田和男）
□水谷八重子を巡りて（水谷竹紫）
人氣映畫俳優秘史と女優をめぐる大正昭和劇壇秘話共に大評判！

美人の語る新美容座談會

トテモせんたん的な話題が飛びだす！美人の研究と美に對して最も敏感な男子たちの批評さです。新型美人の好參考！

―（出席者）―
松竹撮影監督　池田義信
畫家　細木原青起
女流作家　横山美智子
田中良氏夫人　田中文子
早大教授　喜多壯一郎
銀座美容院主　早見君子
松竹女優　及川みち子
高柳教授夫人　高柳ふみ子
舞踊家　ダン・道子
三島章道夫人　三島純子

戀文見本
有島武郎より秋子へ
タイピストよりモボへ
大學生より女給へ
女學生より大學生へ
團十郎より藝者へ
豐臣秀吉より淀君へ

□誘惑撃退法廿ケ條
□夫の心中を見抜く法十ケ條
□愛の見分け方十ケ條

誘惑にからぬための座談會

若い婦人や年頃の娘をもつ親達へ！
多勢の不良少年を扱つてゐる飯島警部の實驗談――誘惑の傾向や新しい手――誘惑の場所――欺され易い人――誘惑され易い人妻――なぞ是だけ知つて置けば誘惑されません。

（出席者）
東京第一高女校長　市川源三
北紺屋警察署警部　飯島三安
醫學博士　高田義一郎
前判事辯護士　立松懐清
東京市囑託　草間八十雄
少年審判所保護司　藤井

○危く誘惑を免れた體驗
ふと引込まれた映畫館の誘惑など恐しい誘惑の事實談

○エルデ式夫婦圓滿講座
「完全なる夫婦」の著者エルデ博士の新しい説を御紹介

○番地で生れる子の性別と數が判る
住む家の番地を基礎として生れる子供を豫想する秘訣

○我が家のすもの料理十種

○脂ら顔を直した新工夫四篇（懸賞當選）

○ワキガの簡易な根治法（高橋醫學士）

私が一番泣かされた話
●原阿佐緒
●帝大文學博士夫人
●安部磯雄氏夫人

○一寸も隙なき櫻井工學博士のお家拜見
すべて能率本位で新工夫だらけの家

○低能の吾子を救った母性愛
二人の母親が涙にぬれて苦心した話

○良人の秘密を知つた時の私の處置
去つた良人の心を取返す迄の苦心談（法學博士農學博士）

○不景氣と婦人の心掛（新渡戸稻造）

傑作小説
街に展く窓　林房雄
澤田正二郎　川口松太郎
花の十字路　佐藤紅緑
山の娘　大佛次郎
途なかば　倉田百三

五大病氣早期自己診斷法
其治療法
▼神經衰弱の早期自己診斷法（後藤醫學博士）
▼肺結核の早期自己診斷法（小池醫學博士）
▼胃腸病の早期自己診斷法（神谷醫學博士）
▼婦人病の早期自己診斷法（大石醫學博士）
▼ヒステリーの早期自己診斷法（岡本醫學博士）

◇價五十錢
◇東京京橋西銀座 實業之日本社

獨學で立派に中學卒業ができる！！
小學校卒業後色々な事情で上の學校に行けない諸子は必ず本會へ入會せよ

會員募集
模範中學受驗講義錄

◇小學卒業生諸君！專檢・高檢・高資認定を突破せよ！！
◇卒業……一年半
◇會費……低廉
申込次第『見本』進呈
東京日本橋區岩代町一
中央獨學協會中學部

活版・石版 諸印刷
滿日社印刷所

工學博士 石井悅朗著
瓦斯製造工業
菊判布製　定價二圓八十錢　送料金十二錢

瓦斯事業は益々一般的好況を呈し尚無限の需要を喚起せんとしてゐることは言を俟たない。しかるにこれが參考書は少く、然もこれが智識を求めつゝある人の多きに鑑み著者は多年の薀蓄を傾倒して最も實用的なる著述を試みられたものである。本書は、瓦斯工業に必要なる瓦斯の諸性質並に熱化學の概要史に瓦斯製造原料及化學的成分の説明瓦斯製造に關する諸現象、諸裝置並に瓦斯の供給等に關し實例を擧げて説明し其他實際諸事項を記述せられたるものである。付錄として瓦斯事業法施行規則並に瓦斯用器等を掲げ、該事業企業家、工學研究者學生の必讀書である。

工學博士 石井悅朗著
鉛蓄電池の諸研究　定價一・八〇　送料一・一二

現リオデジヤネイロ領事ブラジル大使館書記官 市毛孝三著
ブラジルの産業と經濟
四六判布裝五三〇餘頁　定價金二圓八十錢　送料十二錢

從來ブラジルに關する書は數種あるが、多くは案内記、感想、歴史、地理、風俗記等であつて産業經濟の生きた參考書は望まれなかつた。そしてそれ等は單に一寸した常識でも書けるもののみで、現在彼地の實狀を知らんとするものゝ到底滿足さるべきものではない。本書の著者は現に彼地の領事で、實狀に明るきはもとより産業經濟の貴重なる資料の蒐集に多大の便を有し恐らくこの方面の著者としては他に無いといふも過言ではない。
今や我國情はブラジルの新天地へ向つて經濟的發展をなすべき秋で殖民政策としての移民奬勵の要は言を俟たないが、更にブラジルとの貿易發展の增進を計らなければならない。本書は即ちこれ等の生きた指導書ともいふべきもの、移民者はもとより、ブラジル交易を計る人の刮目すべき書である。

法學博士農學博士 高岡熊雄著
ブラジル移民研究　定價三・五〇　送料一・二〇

早大教授 淺見登郎著
海外發展の實際　定價五・〇〇　送料一・〇八

受驗準備參考書の革新

笹部貞市郎新著 最新刊　菊判一二〇〇頁　定價各六十錢　送料各六錢
受驗用 補習用 特選幾何學問題集
受驗用 補習用 特選代數學問題集

―本書の特色―
卷頭　摘要
前編　復習整理特選問題
後編　實力試錬特選問題
付錄　最近入學試驗問題

多年の經驗と不斷の努力とに依り著者獨特の新しき立案の下に編纂したる本問題集は實際の教授に即したる種々の特長を具備し必ずや時代の要求を滿足すべきを信じ敢て江湖に推賞す
一、幾何學全般に亘り、基本的重要事項を概括表示す
一、單元主義に依り代表的基本問題を選定してこれを模範的に分類し既習智識の復習整理に充つ
一、受驗準備實力試錬の資料として入學試驗の程度にかて標準となるべき恰當なる練習問題を選定し是を縱斷的に分類配列す
一、最近の入學試驗問題中代表的のもの百數十題を採錄して出題の新傾向を明示した

新刊	實力試錬と受驗參考	算術 標準問題分類 自修カード	笹部貞市郎著（全一册）
訂正五版	實力試錬と受驗參考	代數學 標準問題分類 自修カード	笹部貞市郎著（上下二册）
再版	實力試錬と受驗參考	平面幾何 標準問題分類 自修カード	同（上下二册）
新刊	實力試錬と受驗參考	三角法 標準問題分類 自修カード	笹部貞市郎 長谷川光太郎 共著（全一册）
近刊	實力試錬と受驗參考	立體幾何 標準問題分類 自修カード	同（全一册）
新刊	實力試錬と受驗參考	和文英譯 標準問題分類 自修カード	加賀谷林之助著（全一册）
新刊	實力試錬と受驗參考	英文和譯 標準問題分類 自修カード	同（全一册）
新刊	實力試錬と受驗參考	物理學 標準問題分類 自修カード	渡邊金次郎著（全一册）
新刊	實力試錬と受驗參考	化學 標準問題分類 自修カード	同（全一册）

定價一册各金八十錢　送料各金八錢（四六判金銀付函入）

發行所 寶文館
東京市日本橋區本銀町二 振替口座東京一八〇番
大阪市東區淡路町二丁目 振替口座大阪四三番

細田民樹著
氏最近の大快著
黄色い窓

驚嘆すべき新女性と時代

奈里子！『黄色い窓』の奈里子！吾々は心の窓を開いて、この驚嘆すべき新女性と『時代の朝』の挨拶を交さうではないか！彼女は愛兒を連れ、都會の淫惡と因襲に腐敗した家庭を捨て、街頭に職を求め愛兒を失つて、始めて社會主義の道に前途の光明を見出した。以前彼女を指導した富豪のマルクス・ボーイが、左翼ファンとして『脱落者』に墮落する時、奈里子はその戀愛を捨て、愛と正義と無産者運動の爲に、階級の『脱落者』を乘り越え多難な道を勇敢に聰明に歩いて行く――浮薄なモダンガールは、もはや尖端女性ではない。熱と力と愛に滿ちて、目的の道へ悲壯な行進をなす彼女こそ、新時代に一大巨火を點ず本ものの新女性だ。コロンタイ主義を鵜呑みにして『ゲニヤイズム』の性的實行に身を滅ぼすモガ三重子、階級目的の百パーセント把握によつて、眞實な運動に精進する純情の女子大學生困難なストライキに直面する悲痛なる勞働者とその戰闘。『黄色い窓』は、未だ何れの作者も筆にせざるモダニズムの戰慄すべき、暗黒を暴露し理想に邁進する稀有の悲壯曲である。今までの作品を見馴れた、眼はこの小説によつて藝術の價値轉倒を感じるであらう。果然新興大衆に絕對的支持を受くる正しき作品はこれだ。

玉村善之助氏裝幀　定價一圓七十錢（送料十四錢）（近日帝キネ映畫公開）

時代の朝の挨拶を交換せよ

先進社
東京本郷駒込上富士前
振替東京六五三八
電話小石川二二〇四、二一四四

三宅やす子著
金
〇〇强盜の暴露

俄然問題惹起し今や讀書界の人氣本書に集まる（四六判六百頁）　定價一圓八十錢　送料十四錢

□〇〇强盜松崎英吉とはどんな男か？□何が三宅さんにこの小説を書かせたか？□〇〇强盜はいつた「娘だつて女郎だつて何の變りがあるものか金に轉ぶのが娘氣質なら金につまつた俺たちでも優しくするだけの人情を女郎だつて持つてます」と□失戀と金が彼を〇〇强盜にした。

先進社大衆文庫

鮮麗・輕快・安價
名實共に大衆文藝の最尖端
五百頁で七十錢　送料各八錢

國枝史郎著　生死卍巴　七十錢　送八錢

大佛次郎	かげろふ噺　〇・七〇
吉川英治	女來也　〇・七〇
三上於菟吉	淸川八郎　〇・七〇
佐々木味津三	叉影走馬燈　〇・八〇
江戸川亂歩	探偵明智小五郎　〇・七〇
甲賀三郎	神木の空洞　〇・七〇
行友李風	獄門首土藏　〇・七〇

俄然！人氣沸騰!!
重版20版

新興の熱氣に燃ゆるプロレタリア文學はわれ等のものだ！われ等無産階級の榮光に輝やく城砦を建設せんが爲めに烈々の闘志を鋒尖に勇躍せる陣容を見よ！

プロレタリア前衞小說戲曲新選集

各册30セン
勞働大衆普及版

選擇自由
仁丹を追つかける　葉山嘉樹
小作人　本家徳永直
陸奥太平記後日譚　落合三郎
部落と金解禁　金子洋文
宣傳　高田保
恐慌　中本たか子
秋の洪水　黒島傳治
捨へられた男　前田河廣一郎
兵亂　里村欣三
石輪工場の同志　平林たい子

盛川書房
東京京橋區銀座西四ノ四
振替東京八一三八番

最新刊

遊佐幸平・林駒水著	滿鮮趣味の旅　實價二圓十錢 送料十六錢
小林行昌著	關税と物價　實價二圓六十二錢 送料十六錢
カルヴアートン著	處女なき國　實價二圓二十六錢 送料六錢
山田義郎著	面白い設計と工作　實價一圓五十七錢 送料八錢
野中雅士著	紡績の解剖　實價二圓十錢 送料六錢
小島平八著	山東案内　實價一圓 送料六錢
服部源二郎著	榮養と食餌療法　實價二圓六十四錢 送料十錢
山本良平著	現代の株式會社　實價二圓九十九錢 送料十錢
尾關太郎著	生活の合理化　實價一圓 送料六錢
齋藤成吉著	何が彼女をさうさせたか　實價五十二錢 送料四錢
山川歌原著	色貝類圖　實價一圓七十八錢 送料八錢
榮養研究會	早見表 食品の榮養價計算　實價一圓五十七錢 送料六錢
小林宇市著	教育圖書の鑑賞　實價二圓四十一錢 送料十四錢
北尾鐐之助著	小型映畫の研究　實價三圓六十七錢 送料十四錢
小川檢著	風景めでたき　實價一圓五十七錢 送料六錢
鐵道省著	日本案内記 東北篇　實價二圓六十二錢 送料十錢
鐵道省著	同　實價一圓八十九錢 送料六錢

最新刊

内山賢次譯	グレートラブ　實價一圓五錢 送料六錢
一田一郎著	若き戀と放浪 ソヴエートと　實價一圓三十六錢 送料六錢
里見岸雄著	日本前史の終を　實價一圓五十七錢 送料八錢
頭山滿著	幕末三舟傳　實價一圓八十九錢 送料十二錢
磯江信光著	世の母に答へて　實價一圓五十七錢 送料六錢
荒川實譯	されば ロシヤは敗れたり　實價一圓二十六錢 送料八錢
リンゼイ著 原田實譯	友愛結婚　實價一圓八十九錢 送料十二錢
群司次郎著	ミス・ニッポン 日本孃　實價一圓六十八錢 送料十錢
小笠原長生著	撃滅
里見岸雄著	國體に對する疑惑　實價一圓八十九錢 送料十二錢
里見岸雄著	天皇とプロレタリア　實價一圓五十七錢 送料八錢
三井甲之著	手のひら療治　實價一圓五十七錢 送料八錢
村田孜郎著	支那の左翼戰線　實價一圓五十七錢 送料八錢
福永恭助著	ガンヂーは叫ぶ　實價一圓五十七錢 送料八錢
藤村作編	日本文學講座（第三册）（第二册）　實價三圓六十七錢 送料十六錢
北尾鐐之助著	小型映畫の研究　實價三圓六十七錢 送料十六錢
關正久著	解剖學　實價六圓三十錢 送料二十錢

滿書堂書籍部
大連市大山通

社説

失業對策の本質的研究

失業對策、これが持ち合せは政府筋にもなければ、また在野側にもないといへる。勿論、政府としては去る第五十八議會以來、濱口首相によつて聲明せられつゝあつた如く、產業の振興と貿易の發展とによつて、失業問題を解決せんと努力しつゝあるものゝやうである。併しながら、年々、奈良縣一縣ぐらゐづゝの人口が增殖し、これに加ふるに、急激なる變化に動搖せしめられつゝある經濟界にありて、失業問題の深刻化することは、むしろ當然の事象といはねばならぬ。果して然らば、ただ單なる產業の振興と貿易の發展ぐらゐのナマやさしいことで、根本的に失業問題を解決し得るであらうか。すなはち換言すれば、一方、幾何級數的を以て增殖するともいふべき失業者に對し、算術級數的の救濟對策を以てして、これが根本的解決を期し得るであらうか。吾人は大なる疑問なきを得ない。

◇

今日、深刻化しつゝあるところの失業問題は、すくなくとも產業革命以來の所產といはねばならない。すなはち、近代產業に附隨して、當然に派生せられたるものといはねばならぬ。これを今日の新らしい熟語を以ていへば、資本主義經濟組織に根柢して、當然に發生したものとせねばならぬ。產業革命以前の時代にありては、一定のギルド經濟組織の下にあり、今日の如き失業狀態の發生を見なかつたものである。然るに經濟組織の異常なる發展は、つひに失業問題を深刻化し、いかに働かんとするも職業なく、生活、否、生存の基礎をまで脅威されんとしつゝあるの現狀である。

◇

かくの如く觀じ來れば、今日の失業問題を根本的に解決せんとならば、すべからく拔本源流を極めねばならなくなるのではあるまいか。すなはち、ただ產業の振興と貿易の發展といふが如き、一時的なる膏藥張りを以て滿足すべきにあらずと思はれる。本質的に、經濟組織の機構に立脚し、眞の對策を講ずるのでなくては、すくなくとも、現代產業より、當然に發生する失業對策を講ずることは不可能ではあるまいか。產業の振興は將來に向つて、果して景氣、不景氣の時代をも突破し得るであらうか。また貿易の發展も、輸出販路あつての問題であり、今日の如く關稅戰爭の行はれつゝある時代にありて、それが失業解決の根本對策と做すことが出來るであらうか。とにかく、政府の對策なるものも、當面の對應策たり得るであらうが、併し決して、本質的の根本對策たり得るや否や、すこぶる疑問とせねばならぬ。

◇

ここにおいて、眞の失業對策を確立せんとならば、すくなくとも今日の經濟組織に立脚し、その機構に即して立法、政策、その他あらゆる考察を下さねばならぬと思ふ。職業紹介網を全[illegible]的に張り求人求職を圓滑にするが如きことは、當面の對策として必要なるは勿論なるも、なほ進んで失業保險その他の經濟組織に即して對策を講ぜねばならぬ。勿論。ロシヤの如き共產主義を標榜する經濟組織にありても、失業者問題は、依然として一掃すること能はざるよし觀察するも、この問題は、ただ資本主義、經濟組織を云爲して、抽象的の輪議を重ねたりとて、それが實際問題を解決する所以とならぬことは明瞭であるけれども、とにかく、今日の經濟組織に立脚して、その機構に即して、失業對策を講ぜぬ限り、本質的に、失業問題を根本的に解決し得る對策の樹立は困難なりとせねばならぬ。

將來に禍根を貽す 解決は絶對反對

統帥權問題に政府の態度强硬

御諮詢迄解決困難か

【東京二十二日發電】統帥權問題を繞る政府、軍令部、財部海相三つ巴の紛糾はその後何等の進展を見せないが只この間の往來によつて本問題に關する軍令部の意圖が奈邊に在るやを明かにした、因つて政府が圓滿解決の第一として軍令部にロンドン會議の最後案において採つた政府の措置は遺憾であつた旨或は將來國防計畫に關する事項は軍令部の同意を得て決定するやう注意すべしとの意を表明すれば軍令部もこれを諒とし問題は解決されるが政府としては斯かることは立憲政治の下にて禍根を將來に貽す重大問題で

一、編制大權補弼の實にある政府が將來軍部の同意を必要とすることを明確にするは憲法第十二條の實體は軍部に獲得され責任のみを負擔するの變體を認め二重政府を作ることゝなり

二、ロンドン會議條約案の御諮詢に先立ち軍令部の意圖通りにするは御諮詢に際し重大難關に逢着する

の二點より絶對に採り得ぬ措置とし本問題に關する軍事參議官會議の招集を喜ばぬので兩者間の間隔は尙接近の樣子も見せず紛糾は樞府御諮詢迄持ち越される模樣である

條約第十九條疑義

米國日英と照會文交換

【ワシントン二十一日發電】アメリカ上院議員一部にロンドン條約第十九條はイギリスに對し「條約期間中に巡洋艦六隻を廢棄し條約滿期前に完成せざる限り八吋砲巡洋艦の建造を開始する」を得せしめたものとの解釋が行はれてゐるのでスチムソン長官は假に日英兩國と右疑問を明かにする文書の交換に同意した

海相風邪引籠り

軍令部長と會見延期

【東京二十二日發電】財部海相は風邪の爲め廿二日は登廳せず加藤軍令部長は午前十時登廳したがこのため第三次會見を行ふを得ずして十一時退廳した、午後より岡田參議官が海軍省において山梨次官左近司中將等と會見する筈である

官用品運賃半減廢止

【東京二十二日發電】陸海軍々人軍屬警察官の鐵道運賃五割引制度は愈々六月一日より廢止され所謂官用半減に基く弊害が一掃される譯である

能率增進の徹底的實施期待

產業審議會の答申

【東京廿二日發電】臨時產業審議會第二回總會は二十二日午前十時首相官邸に開會し中案を決定した答申案の內容左の如し

能率增進の徹底的實行を期する方策は頗る多岐に亘ると雖も左の事項は我產業界の現狀に鑑み急施を要すと認む

一、製品の規格統一
二、單純化
三、官廳の購買統制
四、從業者教育の改善
五、科學的管理法の徹底
六、需給の調節及び配給消費經濟の改善

一般的物價下落原因

貿易會議で發表

【ロスアンゼルス二十一日發電】コナイ鐵道スチールコポレーション社長は二十一日より當地に開かれたアメリカ貿易會議の劈頭物價低落に關し左の如く述べた

現下の一般的物價低落は生產費の低下によるもので實業界を攪亂するものではない、本年の一般的情勢は徐々に改善しつゝある故にコーヒーに對して爲せる如き政府の人爲的物價調節策には反對である

代表會議は纏らん

閻氏代表語る

【北平特電二十二日發】張靜江氏の南北妥協運動が策されてゐるものゝ、北方は依然ヲ政府組織に躍起の有樣で妥協空氣は少しもない現に廿日より左記の各派代表が北平に集合して、黨務問題及び新政府組織に關して議を進めてゐるが、西山改組兩派の間に猛烈な論爭が起つてゐる、右につき閻派の代表趙丕廉氏は

私は閻氏の代表として來平したのですが、商震、趙戴文氏等も來る筈でしたが、閻氏石家莊行のきそ他太原の留守事務多端で來平不可能となつた次第です、この度黨務準備金では少しは問題も起つてゐるやうですが、しかし同一目的に進むのだから結局は圓滿に進行するものと思はれる

と語つてゐる

反蔣派共同宣言 二三日中に發表

北平に於る代表會議

【北平特電二十二日發】目下北平に在つて黨務問題、新政府組織協議會に出席してゐるメンバーは左の如くである

△閻派　趙丕廉
△馮派　黄少谷
△李宗派　胡宗鐸、盧蔚乾
△西山派　鄒魯、謝持、覃振、傅汝霖、陶治公、茅祖權、張治本
△改組派　陳公博、王法勳、白雲梯、葉琪、郭泰祺

の諸氏で、何れも口も手も自分に自由な人々である、尙目下當面議されん問題を惹起し乍も、問題は解決點を見出すべく、こゝ二、三日以內に陳公博氏起草の共同宣言が發表される筈である

露支會議前途觀(下)

交渉の花形は主席委員劉氏

莫氏の腕は未知數

モスクワ會議は成立?決裂?、莫德惠、カラハン兩全權の腕中に秘められてゐるのだが、決裂するやうなことは九十九パーセントまではなからう、前途に不安を殘されてゐるものならば第一支那全權は入露しなかつたであらう、ハルビンにおける豫備交渉は半ば成功に近いことを兩國代表者間では漏らしてゐる、唯一パーセントの危機をもつてゐるのはロシヤ側が哈府協定をどの程度にまで履行するかといふ一點に過ぎない、然し多少の紆餘曲折はあつてもロシヤ政府としては會議を纏めたい希望をもつてゐるのであるから妥協可能性は多分にある

×

然し相撲は五角ではない、土俵の中央に引ずり入れられモスクワへ行くことによつて相手の軍門に降つた支那としては勝敗の數は仕切りをする前に八分の强味を表してゐる、立ち上るまでもない力量だが、莫全權が如何なる窮餘の一策として奇手を以てうッちやりをするかが問題である、虎穴に入つて何が摑んで來るか、東鐵の現狀以上にマイナスとなるならば、そして僅に現狀維持で終幕するならば昔匈奴に使者となつた彼よりも民國革命史の上に汚點を印することになる、腕一寸に秘めた莫全權は東鐵の買收と公平なる折半を何處まで突張るであらうか、たゞ强味としては相撲の引分よりは、異星となつよりは、物言ひがついて土俵からサッサと引揚げの一手はある、然しそれは最後の手段ではあらうが、結果は今日より以上に北滿は不安狀態となることを覺悟して掛らねばならぬ

×

莫全權は東支買收を聲明してゐるだが九分通りの成功を豫期した絶對的主張ではない、一種の牽制策に過ぎないだらう、その證據には一行のうちに政策、技術的方面から觀て「買收は不可能だ」と稱してゐるものすらある、一體東支鐵道はいくらで買收するのか、其金は事實東北四省の手にあるのか莫全權は出發に際し多數見送りの人々に「交渉は短期間のうちに終了する」と明言したのである、だから前途を樂觀してゐることが判る

×

莫全權は正式會議に提案されゝも一般國交の回復はその結果によると暗示し全然全般的交渉の意志なしとは斷言してゐない、都合によつてはそれまで進まねばならぬかも知れぬとのヒントを與へてゐた、それがどの程度において締結されるかは未知數だが、東鐵問題で支那政府の主張を幾分でも認容せしむれば勢ひ全般的折衝は避けられないのである、それが兩國の双務的妥協への一轉期であるとも考へられてゐるのである、其準備行爲とも見られるのは全權一行專門委員秘書、隨員、書記官連が辿つて來た經歷を考察すれば多少明瞭となる

×

莫德惠氏はこれまでに一回もロシヤ側と外交に當つた經驗はない、カラハン大使驅逐運動や北平におけるロシヤ大使館事件にも關係はしなかつた、謂はゞロシヤに對しては未知の外交關係者で全くの白紙である、それだけ今回の正式會議に興味が加へられるのであるが、その點に行くと主席專門委員の劉澤榮氏は生えぬきのロシヤ通で本會議の立役者である、ペテロブル大學卒業後はロシヤ在住の支那人居留民會の會長をしてゐたことがあり、一九二四年の北平協定に奉天派を代表した全權として參與し、經驗あり、若し正式會議か全般的露支國交の舊狀回復に進行した場合當然それに應ずるの豫備的智識を有してゐるのである、しかも居住權問題が議せられる時は居留民會長としての背景が直に役立つのである、又張明哲秘書は矢張北京の露支會議の編譯科長を勤めその內面的方面の事情に精通し、書記官鄭杰氏はこれまた奉露協定の締結された時諮議として活躍したことあり、東支鐵道ばかりでなく支那側は全般的交渉に應ずるだけの準備は既に整へて出かけたものである(完)

皇太后陛下

大宮御所御披露

きのふ皇族方御招待

【東京二十二日發電】皇太后陛下には御在京各皇族殿下に御新築の大宮御所御披露の爲め二十二日午後六時より御殿に閑院元帥宮始め各皇族二十三方を召され御晩餐後、陛下親しく御殿內部を御案內遊ばされ種々御物語りの上各殿下には午後八時半退下遊ばされた、なほ二十三日午前十一時半より宮內省高等官に拜觀を許され賜餐ある筈である

高松宮

けふスエズ御着

埃及王と御對面か

【カイロ廿一日發電】高松宮同妃兩殿下には廿二日朝スエズ御到着の御豫定にて當地御上陸、直ちに自動車にてカイロに向はせられ附近を御見物後多分エヂプト王フューアド一世に御對面遊ばさるゝ筈で同夜ポートサイドより御乘船遊ばさるゝ事となるであらう

高松宮殿下

アデン御入港

【鹿島丸發電】鹿島丸は二十二日午前九時アデン入港午後三時出港したが高松宮、同妃兩殿下には碇泊中御上陸市內御見物遊ばされた

行啓を仰いで 御前演奏會

來月下旬音樂學校で

【東京二十二日發電】來る六月二十一日皇太后陛下の行啓を仰ぐ上野東京音樂學校では乘杉校長以下無上の光榮と感激して準備を進めてゐるが御前演奏、曲目及び演奏者は二十二日決定された、當日會場にはマイクロフオンを据えつけ御前の奏樂演奏全部を中央放送局から全國に中繼放送することゝなつた、之迄絶對にラヂオ放送に出なかつた延壽太夫の喉がこの日初めてラヂオで聞かれる譯である、プログラムは次の通りである

一、能樂　「鷺」仕手寶生英雄　側寶生新、連武田喜永その他
二、長唄　「勸進帳」唄吉住小三郎、唄吉住小三藏、唄小十郎三絃稀音家六四郎以下
三、清元　「隅田川」清元延壽太夫、榮壽太夫、志壽太夫以下
四、踊り　「京鹿子娘道成寺」踊り片山百合子(片岡博士令孃)唄、三味線、雛
五、洋樂　(イ)オルガン獨奏ラインベルゲン作、ソナタ作品九十八、教授眞篠俊雄(ロ)管絃樂ベートベン作英雄、シンフオニー作品五十五(ハ)管絃樂附ピアノ獨奏、ベートベン作ピアノコンツエルト作品七十三(ニ)獨唱、合唱及び管絃樂、シューベルト作、變イ長調

首相に畏き御下問

牛塚府知事謹話

【東京二十二日發電】天皇陛下には二十二日正午各地方長官を召され宮中豐明殿で御陪食仰付られたが牛塚東京府知事は退下後謹んで語る

陛下には御食事中も御側近くに列した濱口首相に向はせられいとも御快活に「大分地方長官も新顏の人が多くなつた樣だ」とか「議會が濟んだから鎌倉へ行くのか又は歸省でもしますか」などの御尋ねがありました御食事後も千種間で今回は御下問でなく四十數名に上る各府縣知事より言上する各府縣各種事業狀態を御直立の儘約二時間の長きに亘つていとも御熱心に御聽取遊ばされた、濱口首相始め召された一同聖恩の畏さに今更の如く感激しました

滿洲問題に關し當局と意見交換

上京中の大平副總裁

來る廿五日東京出發歸任

【東京特電二十二日發】上京以來殆ど連日關係官廳その他各方面の人々と會見しつゝある大平滿鐵副總裁は二十一日は午前中江木鐵相と會見したのを始め、午前午後に亘り俵商工、田中文部、町田農林、井上大藏の四大臣、順次訪問して滿鐵および滿洲諸問題につき色々意見を交換するところあり、更に二十二日は午後三時松田拓相を、同三時半吉田外務次官をそれぐ訪問し外交關係その他につき意見を交換した、二十三日は更に午前中に濱口首相を官邸に訪問し仙石總裁の動靜および滿鐵の業績、滿洲の近狀などにつき報告かつ今後の方針につき意見を交換してその指示をうける筈であるが、總裁の上京目的たる昭和四年度の決算並に昭和五年度豫算實行の見込に關する政府筋への報告もすみ、且つその諒解を得るに至つたので詳細な計數については近く上京する神鞭理事及び在京中の竹中經理部長より說明せしむることにして來る廿五日東京出發京都に立ち寄り同地自邸に二、三泊のうへ廿八日若くは廿九日京都發朝鮮經由にて歸任の豫定

米大使挨拶

來る廿七日歸國

【東京二十二日發電】駐日米國大使ウイリアム、キヤスル氏は二十二日午前十時半外務省に幣原外相を訪ひ二十七日歸國の途につくにつき別れの挨拶を述べた

吉林有志視察團

來月二十四日來連

吉林省農會長譚廣霖氏外劉永吉縣教育局長、沈同實業局長、王濟江縣實業局長、李吉林省立農事試驗場長等在吉林の教育、實業界有志十名の日本實業教育視察團は去る十七日から朝鮮經由、內地及び北海道における教育並に實業の實際を視察來る六月廿四日入港の熊野丸で大連に來る筈であるが、當地に三泊し滿鐵本社、文化協會、中央試驗場、衛生試驗場、滿蒙資源館、連鎖商店、星ケ浦、栗屋農場等を視察更に二十六日は旅順に向ひ關東廳を訪問、博物館、師範學堂等を見學、白玉山及び各戰跡を觀察する由であるが二十七日朝離連途中熊岳城農事試驗場を視察して歸吉すると

獨實業團歡迎

奉天當局準備

【奉天特電二十二日發】來支以來各地で異常なる歡迎を受けてゐるドイツ實業家支那視察團々長ヘヒシリツヒ、レーツマン氏(ドイツ工業聯合會理事)以下十餘名は來る二十五日大連より來奉する豫定であるので農務會、商工總會、男女基督教青年會、教育會、辯護師公會、外交協會等は盛大なる聯合歡迎會を催すべく目下準備中である

長春普通校生徒 突如同盟休校す

些々たる誤解さる

【長春特電二十二日發】普通學校生徒は學校の教育方針が兎角日本人學校と差別的だとて不滿を懷いてゐたが同校五、六年生徒約五十名は廿二日に至り突然同盟休校を行ひ一名も登校せず學校當局は極力說諭に努めてゐるが今の處登校の模樣が無い、右原因は全く些々たる誤解に基づいてゐるのであるが、普通學校生徒は年齡十八九歲のものが多く他の小學校と事情を異にしてゐるので學校當局と生徒との軋轢には種々複雜なる原因あるらしく且つ外部からの煽動者がある模樣であるから可なり注目されてゐる

獨婦人は自活の專門技術がある

歐亞連絡の車から

岡帝大教授の土產話

【ハルビン廿一日發電】廿日の歐亞連絡列車でばら栽培法を研究して歸朝の途にある岡本勘次郎氏、三菱造船所永田技師夫妻、ベルリンで植物學を二ケ年半研究した岡秀猶帝大教授、同氏夫人たつ子さん、原田步兵少佐等が來哈した

×　×

夫が植物學研究に留學してゐるのを幸ひベルリン滯在中寫眞とタイプライターを稽古しました、最初は單に興味的にしてゐたのが段々專門化しまあ普通の寫眞術は習得して來ました、日本と比較して進步した點もあるでせうが、日本の進步程度を全然知らぬので判りませぬ、妾の考へとしては將來日本婦人は夫ばかりに頼らず矢張り自活して行ける程度の技能をもつてゐることが必要だと思つたのが動機で寫眞を習つたのですがドイツ婦人はその點になるといづれも相當の專門的技藝を有してゐるやうで感心しました

進步した佛の薔薇研究

岡本勘次郎氏談

三ケ年間英佛でばらの研究をして來た、昨年はフランスで開催された薔薇の會議に出席したが香水の本場だけに仲々色々の研究が積まれてゐるのに驚いた、本年はアメリカでばら會議があり植物學的研究と共に將來益々斯界の研究は發達を遂げるでしやう

ペルー邦人約一萬

原田步兵少佐談

南米から歐洲を廻つて來たが目的はスペイン語の研究であつた、ブラジルの邦人もコーヒの暴落で困つてゐる、ペールには邦人一萬七八千居住してゐるが一定の專門的職業のないため生活に惱んでゐるものもあり將來邦人の海外へ向ふものは何か特別の技能を有してゐることが先決條件だと思ふ

華商倒產續出

【遼陽廿二日發電】遼陽の華商就中油房、特產物商綿絲布商等の大手筋を始め中流商人の多數が舊年末に銀價安と商況不振に禍されて倒產したが近く五月節句取引に際し倒產を豫想さるゝもの百三十餘戶の多きに達し苦境を切拔けか投出しかと云ふ瀨戶際にあるもの三十餘戶あると

司法官辯護士會長會議

司法官、辯護士會長會議は來月六日から五日間司法省において開會さるゝが、關東廳管內からは土屋高等法院長、安岡檢察官長及び五泉關東州辯護士會長等出席することに決した

赤化宣傳書籍の密輸入激增

支那官憲取締に苦心

【ハルビン特電二十二日發】支那側官憲ではロシヤから發送されてゐる赤化宣傳用のパンフレツト、雜誌、書籍等の印刷物に對して嚴重取締つてゐるが

大部分は

密封した郵便物或は列車を利用し甚だしきは立派な密輸入者があつて國境を徒步で突破し密輸入して來る列車で發送するものは次から次の驛へと連絡員がゐて遞送する、かうした赤色書籍の洪水は東北省から支那、日本、南支と流れ行き到底堰止めることはできない、特に最近はロシヤの書籍といふわけで非常な好奇心にかられ原書を讀んで興味を感じやうとする

熱度が高

くなつて來たのと「ロシヤの書籍を飜譯すれば金が儲かる」と飜譯成金を夢見る青年プロ作家が多くなつて來たことも亦その最大原因で後者には特に日本人が多いやうで當地日本側警察署でも取締方法を考究してゐる

共產黨の跋扈に惱まされる南支

國民政府も持て餘す

去る十八日上海において擧行された同文書院三十周年記念式に參列中であつた滿鐵參事三浦義臣氏、成發東主宗像金吾氏等の一行は廿二日入港榊丸にて歸連したが一行は交々語る

一同は夫々同文書院と關係があつたので三十周年記念式に參列旁々第一期院長根津一氏の胸像除幕式に參列して歸つたものだが何分あちらに居つたのが短時日なので大してお話するやうな事はない、只揚子江一帶の如きは共產黨員が跋扈し殊に漢口の如きは共產黨員でないものは人に非ずといつたやうな有樣でこれが撲滅に躍起となつてゐる國民政府のお役人達もむしろその勢に辟易してゐる始末である、南京まで行つたが政府のお膝下でも同じ事だ、その被害を一番被つたのは土着の農民で湖南省邊りの農民は何れも墳墓の地を捨てて逃げ出さねばならぬ破目に陷つてゐる、その結果として一番豐かな湖南省邊りは全然收穫がなく四千五百萬圓許りの[illegible]米を輸入したといはれてゐる

奉天附近鮮農に種籾代貸付

【奉天廿二日發電】本年度の奉天領事館管內における水田耕作は昨秋の水害により種籾代なく居留民會及びその他の關係會社では種籾代を今秋收穫期まで貸付ける模樣であるが地主と小作關係は今年は圓滿に進んでゐると

養鷄講習會

滿洲農事協會主催の養鷄講習會は左の如く開催の筈

▲講師　千葉縣茂原養鷄場主農學士小杉方也氏
▲開催地及會期　大連(自六月二日至同月四日)熊岳城(自六月六日至同月八日)撫順(自六月十一日同月十三日)公主嶺(自六月十六日至同月十八日)
▲講習時間　午前九時至午後四時
▲講習種別　一般養鷄講習會(大連及撫順)養鷄技術者養成講習會(熊岳城及公主嶺)
▲聽講料　無料
▲申込期日　五月三十一日
▲申込所　大連市紀伊町八五滿洲農事協會

世界一周旅行

來月六日大連發

最近にツーリストビューロー大連支部にては第二回世界一周旅行團の計畫を發表した處內地朝鮮及び臺灣の各地方から十二名の參加者を得て愈々六月六日午前九時大連驛出發、齋藤ビューロー員東道にてシベリア經由約百日の旅程で世界一周の途に上ることゝなつた立寄る主なる個所はベルリン、ウインナ、ヴエニス、ローマ、ネープルス、パリー、ブリユツセル、ロンドン、ニユーヨーク、華府、シカゴ、西イエローストン、ロスアンゼルス、サンフランシスコなどで九月十五日橫濱歸着の豫定である、團員の顏ぶれを職業別に見れば織物商、銀行業、會社員、醫者、油清酢商、官吏、無職各一人、書籍商、羅紗商各二人及び新聞社長夫妻で最高年齡五十九歲、最年少者二十二歲である

大連局移轉

六月一日と決定

大連郵便局並びに無線電信局は六月一日から監部通大山通の角に竣工した新廳舍に移轉する由

人事

▲西山左內氏(關東廳財務部長)　上京中の處二十六日入港のばいかる丸で歸任の筈
▲一宮銀生氏(大日本製業株式會社々長)　二十二日二十時三十分着列車で來連ヤマトホテルに投宿
▲都城商業學校視察團一行四十六名　二十二日出帆うらる丸にて內地へ
▲鹿兒島商業學校一行七十四名　同上
▲香川縣師範學校一行七十五名　同上
▲京都師範一行百五十二名　同上
▲三重縣龜山町實業視察團　同上
▲李元著氏(熱河省政府委員)　二十二日入港榊丸にて來連

安樂椅子

廿一日大藏省を訪問した大平滿鐵副總裁、井上藏相と別れて秘書官室に到りイザ入らうとする刹那、リノリウムの油に辷りあの廿一貫の巨軀をスッテンコロリ、危ふく仰天しやうとして肱をつき、その際右上膊を打つて大きな黑痣をつくつた▲その後で曰く「何しろ僕はこの通りの肥滿性だから若しや腦溢血でもやつたのではないかと思つてヒヤリとしたよ、でもまア大したこともなくて良かつた▲滿洲のためこれから大いに働かうといふ際だまだ命は惜いからネ」と大きく笑つた【東京特電二十二日】

特產

定期後場(銀建)

▲大豆(保合)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七一〇〇	七一〇〇	七一〇〇	七一〇〇
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 [illegible]車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕(保合)(單位厘)

限月	寄引	高値	安値	大引
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 二千枚

▲豆油　出來不申

▲高粱(混保)(單位厘)

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四十一車

▲包米　出來不申

現物後場(銀建)

	寄付	大引
混保大豆(後込)	七一五〇	七一五〇
大豆(裸物) 出來高	三十車	
普通大豆(袋物)	七〇六〇	七〇六〇
出來高	十車	
豆粕	二三二〇	[illegible]
出來高	三千枚	
豆油	出來不申	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

錢鈔

定期後場(單位錢)

期	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近四十萬圓　遠期九十五萬圓

現物後場(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金二千圓　銀對洋一千圓

商品

後場

綿糸(低落)

銘柄	約定期	値段	梱數
綿助	十月限	一五〇五	一〇

出來高 十梱

麻袋 出來不申

神戸帳場(廿二日)

大豆現物	[illegible]
大豆先物	[illegible]
豆粕現物	[illegible]
豆粕先物	[illegible]
滿洲小麥	[illegible]
豆油現物	[illegible]

東京株式(長期)

銘柄 / 後場寄 / 後場引 — [illegible]

東京株式(短期)

[illegible]

大阪株式

銘柄 / 後場寄 / 後場引 — [illegible]

大阪綿糸

[illegible]

大阪期米

[illegible]

滿日地方版

奉天

來る六月十日頃 水泳プール開き
廿五日迄に改造完成

本年も水戀しの時期が目睫に迫つて來たので滿鐵社會課ではプールの準備に取掛り目下濾水設備と不要の深さを淺く改造中であるが來る廿五日までには完成し直に入水を行ひ昨年の六月五日プール開きと少し後れ十日頃から開始される豫定である猶今年は西側入口を閉ぢ東側公園入口に改める筈で濾水設備完成の曉には全部の水が常に變り例年に比し各點に於て一新される譯である

人質拉去の馬賊
元陸軍の上尉副官

馬賊のため人質として拉去された遼陽縣城北大路煙臺農熊慶龍(三〇)の家族に對し十九日夜運河附近の宵か赤の燈火を目標に身代金現洋の二萬元を持參すべしと脅迫狀を送り來たので遼陽縣第二公安分局から巡警四名現場に赴き大捜査の結果その共犯張子雲を逮捕し更にその主犯者たる煙臺生れ王家義(三一)が現場より逃走し奉天に來り松島町二番地中央旅社に潜伏中を逮捕したが嚴重取調の結果左の如くお金欲しさに馬賊の狂言を演じた事が判明した

王は元東北陸軍第四旅五十三團部上尉副官で昭和二年十一月軍人をやめ原籍地遼陽縣城北大路に歸り來り徒食中金錢に窮して遂に惡心を起し同地に居住前記熊慶龍が本年四月二日馬賊のため拉置されたことを知り之を奇貨としてその家人から金品を奪取するため張子雲と共謀して馬賊に化け四月二十八日奉天に來り千代田通五番地飲食店成泰館に王義民と詐稱して投宿本月十五日熊の家族に前記脅迫狀を送りその始末となつたもので人質として拉去された熊はまだ本溪湖あたりに拘禁されてゐるらしいと

放蕩の末 狂言自殺
放蕩の末狂言のカルモチン自殺

市內青葉町五番地無職新川治人(三一)假名は十九日朝十一時半頃外出し同日午後三時半ごろ何處で飲んだか前後不覺に醉ひつぶれて歸宅し刀を振つて義姉の綾子(假名)に暴行する始末に綾子は之を諭したところ新川はそのまゝ家を飛出し青葉町藥種商大陽堂から睡眠に使用するのだと稱して廿五瓦入りのカルモチン一罐を買ひ求めて歸り同日午後四時頃家人の隙を見てその十瓦を嚥下した暫くして新川の樣子が變になつたのを實兄が見て驚き直に滿鐵醫院に入院せしめた處前記始末が判り應急手當の結果生命は取止めたが原因について聞く處によれば新川は各所で遊興し散財する世間でも不評判の放蕩兒であるが新川は自殺の意志はなかつたといふから全く狂言の自殺を企てたのではないかと云はれてゐる

町の便り

奉天駐剳隊では軍隊慰安のため廿一日午後一時から營庭に於て安來節、手品等の餘興を催した

◇

第八回春季和風會三曲演奏會は廿四日午後六時から春日小學校講堂に於て開かれる

◇

四平街日進街三丁目二十九番地安慶勇治內縁の妻中原こと(二七)は去る十三日奉天柳町大川某方に所用のためと稱して來奉したが大川方には寄らず同日は奉天滿洲旅館に一泊し大連に向つたまゝ姿を消した模樣があるので目下捜査中

◇

露國ウイムスカ縣生れ住所不定行商人ガリフーリン(四八)は去る十日遼陽より來奉し浪速通り日升棧に投宿中千代田通り二十三番人ミヲノフ方の商品價格二百六十圓を行商のため持ち出したまゝ歸宅しないのでその筋へ捜査願ひを出した

◇

救世軍青年部總長堀少佐は五月二十四日來奉同日から三日間毎日午後七時から市內稻葉町救世軍會館に於て活動寫眞並に幻燈を映寫するが入場料大人十錢小人五錢、プログラムは世界各國に於ける救世軍社會事業の狀況、米國司令官エバンゼリンブース氏來朝の光景、救世軍青年部の働き、キリストの生涯等であると

◇

來る廿四日から旅順に於て工大と花々しき對抗競技を試みる滿洲醫大選手一行三百五十名は廿一日夕奉天神社に參拜し必勝を祈願し八時半發列車で遠征の途についた猶應援團一行は廿二日夜出發の筈

人事

▲林總領事　廿一日朝安東へ
▲太田關東長官　廿一日朝過奉安東へ
▲吉田土耳其大使　廿一日朝來奉同日安奉線にて內地へ
▲中村東亞土木社長　廿一日朝安東へ
▲增田關東廳衞生課長　廿日過奉歸旅
▲立川奉天署警視　廿日歸奉
▲三谷憲兵分隊長　同上
▲小杉書伯　廿日大連より來奉
▲孫傳芳氏　廿日北平より來奉

宮殿下に伺候し奉て
涙ぐましい國民性の發露に感激した
立川奉天警察署長代理謹話

【奉天】秩父宮殿下二度の御來奉に際し御警備の大責任を果した奉天署長事務取扱立川俊三郎氏は語る

宮殿下が奉天に御假泊中先づ何事もなく濟んだ事は何より喜しい、遠く故國を離れた奉天に於て宮殿下をお迎へし御警備申上げてゐるものは勿論在住邦人も擧つて赤誠溢れる奉迎送をなしてゐた事、殊に滿鐵保線丁場その他沿線小驛に於ても邦人は殘らず國旗を掲げ身を淸めて御召列車に對し奉り遠くから頭を下げて拜禮してゐたのを見て日本人が如何に皇室に對する赤誠の觀念が充ちた美しい國民性を發揮したかを痛切に感じ涙ぐましくもあり非常に心強く思つた、尙ほ殿下には他の學生と同樣何時も御嚴格に御活潑に在らせられた事は見るも畏多いことであつた

神冥の加護
四方田ヤマトホテル支配人

【奉天】御假泊所ヤマトホテルの四方田支配人は謹んで語る

今回始めて秩父宮殿下の御假泊を忝うして限りなき光榮と恐懼してゐます、御滯在四日間その間何事もなく重任を果した事は神護と喜んでゐます、殊に殿下にはこのヤマトホテルの部屋が非常に御氣に召し御機嫌麗しく拜されたのはホテルとして非常に光榮と思つてゐる次第であります

又御渡滿以來始めて御理髮の光榮に浴した笹野ホテル理髮主は謹んで語る

今まで宮殿下に對し奉り御理髮の光榮に浴したのは賀陽宮、閑院宮兩殿下その他御三方ですが今回の如き無上の光榮と思つてゐます、殿下には至極御平民的にわたらせられ後を少し刈つて呉れとまで仰せられました

御菓子下賜
權太氏に

【鐵嶺】秩父宮樣に拜謁して光榮と感激に滿ち溢れてゐる權太親吉氏に對し更に二十一日宮樣より御菓子の御下賜あり權太氏は恐懼措くところを知らず一家の慶びは譬ふるに物もない程である

權太氏祝賀宴
廿五日萬安にて

【鐵嶺】秩父宮殿下御來鐵に際し光榮に浴せる權太親吉氏を主賓とし近親有志者相寄り來る二十五日氏の爲めに一夕祝賀の宴を張り喜びを共にしたいといふ、出席希望者は會費五圓會場は萬安であると

公司の事業一般と附屬地の事情を御說明申上た
鮫島氏謹話

【本溪湖】秩父宮殿下に御謹話申上げた煤鐵公司總辦鮫島宗平氏は謹んで語る

煤鐵公司事務所階上において殿下に御謹話申上げた內容は煤鐵公司の事業一班でありました、記念碑前では煤鐵公司工場を俯瞰して概況を申上げ滿鐵附屬地の事情に就いても大體申上げた次第でありましたがたゞ恐懼の至りであります

長春

北滿見學團殺到
毎日一組乃至二組宛

北滿見學團の殺到する時期となつたので昨今長春を通過する見學團は殆ど毎日一組乃至二組もあるが廿一日の如きは香川女子師範生徒八十名が十三時十分に釜山中學生徒百二十名が十九時三十五分鞍山中學生徒六十五名が九時三十分に長春を通過し雜沓を極めた、尙目下南滿方面見學中の長春西廣場小學校生徒五、六年生徒七十七名は二十五日歸校すると

邦人浮浪者退去處分

長春警察署高等係りは秩父宮殿下御來長に際し一定の職なき邦人浮浪者十一人を收容し取調中であるが尙引續きこの際退去處分にすると

馬賊を逮捕

二十一日朝范家屯警官派出所に於て强盜嫌疑者一名を逮捕したとの報に接し本署より池田刑事急行本署に護送して取調中であるがこ奴は昨今附屬地內外を荒し廻る馬賊の一味らしいと

徵兵檢査
廿二、廿三兩日

長春に於ける本年度在留地徵兵檢査は廿二、三兩日午前八時から室町小學校で行はれる第一日は長春、家屯、吉林、哈爾賓各領事館及び四平街警察署管內の壯丁七十名第二日は公主嶺、長春警察署管內の壯丁七十五合計百四十五名であると

中野師講演

滿鐵社會課の招聘で渡滿した臨濟宗鎌倉圓覺寺監督中野五蘂禪師は廿一日午後二時來長したので長春敎化聯盟では午後七時半から滿鐵俱樂部で講演を乞ふた

吾等の町を語る
哈爾賓
ニーチボと沒法子
飾窓の陳列品を例に禪說法
總督府事務官 松島親造氏談

「此の 町が血のやうな赤色で染められるッて――さあ、世界がソウエートの共產主義化したならばだが、資本主義の力が強い時代ぢやあの」と松島事務官の思想側面觀から町の解剖

◇

「もの は欲しい欲しいと想ふてゐる間が花で、恰度人間は常になにものかを織してゐるやうなものでの、其の總てが正しく、不純でないならば其の社會、其の町は健全な發達を遂げるものだナ、ソウエート聯邦と支那の交驪で成程考へりや思想的には赤くなる影響はだけれど心配することはない、支那は非常に資本主義を尊重する國なのだからの」

松島さんのの は定石のダメをしてゐるらしい

◇

「あの ヘルビンの鐵路、キタイスカヤを歩いてみると解る、そら、多數の群衆が用事もないのに呑氣さうな顏をしてペーブメントの上にダンスをしてゐるだらう、其の多くの人間は慾の皮の張つてゐないものはないのだ、寶石屋に洋服屋、秋林、松浦、熊澤のショーウインドに首を突き出した人間の顏面筋肉の跳躍を靜觀してみるとだ、どれもこれもこの種一粟か――と云つた厚い硝子窓を透して彼等の心はウインド內のピカ〱光る寶石に吸ひつけられてゐるのだナ、女の多くは新調の衣裳を硝子越しに覗つめて自分のものゝやうに喜んでゐるのだらう、綺麗な衣裳を覗てニタリと笑つてゐるぢやないか」

◇

「結局 精神の慰安と滿足を求めて毎夜の如くウインド覗に散歩するのだ、そして欲しい々々と思ふ湧き立つ心を抹殺し自己催眠に罹つてゐるのだナ――僕だつてさうだ、あの洋服が欲しいな、欲しいなと思つて三日も四日も同じ店のウインドを覗つめる、そして其の品が陳列棚に依然として控へてゐると先づ安心して其の日は歸るのだが、其の時はソツトポケットの財布に手が當つてゐるのだが、金が足らないので其のうちにと思つて、戀人でも寢かした若々しい氣持で歸るのだネ、處が、何時の間にか其の品がウインドから姿を消して誰かの手に渡つた時、棒抗で頭をガンーと毆られたやうに失望と蒸驪が襲ふて來る、畜!面白くもねえと云ふやうな反抗心がブッブッ頭を擡げて來るのだ、こいつが勸道を脫線すると他人のものは己のもの、己のものは己のものとコムニチックの氣分が起るものだの」と心鏡に映つる像をしつかり掴むことが特殊地帶、國際的町の存在であると喝破

◇

「此の 町はニーチボと沒法子の色彩が濃ひからの、商人でもよく其の獸を呑み込むとだナ、大日本式のウインドぢやロシヤ人は滿足しない、彼等は現實生活を樂しむものだ、ウインドの中に小川があり鯉が飛び柳枝縮戯の風景をバックに、もの言はぬマネキンを立たしても彼等の心にはピントが合はない、それよりか出來るだけ彼等の心理をチャームする實物を陳列することだよ、あれらは成るべく刺戟性を實感で行かうとしてゐるのだからナ、だからこの町の思想的潮流もそれによつてよく判るだらうと思ふ」

◇

「專賣 特許の鮮人が赤くなる?テ、人間だもの色々變るだらうが、この町に住んでゐる者はさう過激ぢやない、露領にゐるものでも生きんが爲めに宗旨變へしてゐるものも多からう、恰度硝子越しのウインドの品に心を惹かれてゐるやうなものサ」と禪門の高僧にでも接してゐるやうな、洒脫で、剴切な明答一正に涼風一味である

鐵嶺

初年兵
六月一日到着

鐵嶺守備隊第二回の入營初年兵八十八名は來る六月一日十二時四十分着列車にて到着すると

乘馬野遊會

來る二十五日は經濟緊縮委員會の全市民龍首山野遊會につき旅團司令部岡田副官が發起人となり市民有志の乘馬外乘を試み龍首山上で解散野遊會に出席するやう計畫を樹て參加希望者を募つてゐるが計畫は

午前九時旅團司令部前に集合憲兵隊馬場に於て約十分試乘出發驛北踏切を通り製糖會社を迂廻水源地を經て柴河左岸を溯り龍首山に至る

午前十時半解散の豫定

乘馬は旅團で準備する服裝は隨意主なる方面へはそれ〲案內狀を出したが參加希望者は廿三日午後三時までに發起人に通知を乞ふと

緊縮茶話會

緊縮委員會月例の茶話會は明廿四日午後四時半より苗圃に於て開催する由今回は特に修養團大連支部理事岩井氏を聘し講演を請ふと

鞍山

公衆衞生の爲めに
懸賞で第二回蠅捕デー
二十五日から三十一日まで

鞍山警察署地方事務所では第二回懸賞附蠅取デーを二十五日より三十一日まで七日間執行すると、捕つた蠅は日本形マッチ箱一個約二百匹蠅取紙は同數附着したもの一枚を金五錢にて買取り抽籤券一枚を呈し、六月二日午後一時より消防隊に於て抽籤を行ひ買取金及び抽籤賞金は六月七日消防隊に於て引替するが賞金は左の通である

一等五圓一枚、二等三圓二枚、三等一圓十枚、四等五十錢三十枚五等二十錢五十枚

畜犬豫防注射
廿四日から

鞍山警察署、地方事務所では狂犬病豫防注射を左記日割により施行する畜犬主は當日漏れなく接種されたく未濟の犬は野犬と見做し撲殺すると

廿四日　市內一般　消防隊
廿六日　市內一般　商務會事務所
廿七日　櫻桃園　櫻桃園事務所
廿七日　立山　立山派出所
廿八日　大孤山　大孤山派出所
廿九日　千山　千山派出所
廿九日　湯崗子　溫泉會社事務所

海軍記念日の祝賀會
實業協會會堂で

鞍山地方事務所では二十日午後二時より會議室に於て署、局長、各區長その他關係者を招集し來る二十七日海軍記念日當日正午より實業協會會堂に於て會費一圓を以て盛大なる官民合同祝賀會を開催すべく打合せ會を開いた

驛員露營旅行

鞍山驛では十八、十九の兩日に亘り太田驛長始め多數の從事員が千山に露營旅行した

製鐵所見學一束

△二十一日大連伏見臺小學校來鞍
△二十二日大連朝日小學校同上
△同　朝鮮光州中學校同上
△同　大連常盤小學校同上
△二十三日金州小學校同上
△同　旅順第一中學校同上
△二十四日大連嶺前小學校同上

撫順

守備隊兵の交代
三十日と六月一日に

沿線警備の重任にあつた撫順獨立守備隊兵四十五名は滿期除隊となり三十日午後六時四十分發にて歸鄕、右と交替の入隊兵約五十名は六月一日午後二時四十五分着撫の筈、一般の送迎を希望すと

强盜志願の男

市內永安大街二〇狄野洋行方ボーイ張某(二七)は惡友に唆かされ强盜志願で兩日前主人の留守に三階戶棚に施錠してしまつてあつた裝塡したまゝの露國式廻轉七連發拳銃及び實包七發を竊取高飛びした、尙同家ではそれと相前後して十八金片側金時計一個、金鎖一個その他計時價百五十圓のものを竊取された

電車と衝突 自動車粉碎

自動車と電車が衝突自動車は滅茶苦茶に粉碎したが運轉手その他は微傷だに負はなかつた奇蹟事件が二十一日午後三時二十三分市內西五條高松屋前十字路で突發した、本村茂夫の運轉する永安橋を午後三時十七分發の一六二號電車が大和公園に向ひ前記時刻高松屋前に差掛つた際西五條通を千金大街方面より進行し來つた撫五四號山縣要助(三二)の運轉士の自動車とが衝突したもので過失は何れにあるか目下取調べ中

三人組强盜

二十日午後七時四十分管外千金寨支那町後新市街大把頭姜占元(四〇)方に三人組强盜侵入家人に拳銃をつきつけ金票二百圓を强奪逃走犯人不明

常習の電線泥棒
三名を逮捕す

撫順の特殊犯罪たる電ドロは近來巧妙を極めフイダー線とかケーブル線の如き金目のものばかり切斷する傾向が著るしくなつたが、二十日午後一時四十分新場柏堡路上に怪車を曳き行く三名組を誰何取調ると、山東生れ現千金寨西平康里無職李春亭(二三)同、馬登波(三二)同李奎五と云ひ未逮捕五名と共謀期間中フイダー線その他時價金八百圓のものを竊取した事を自供したが犯行の主なるもの次の如し

△本年四月十九日午前一時塔灣採砂場附近で送電用ケーブル線二百米時價二百二十圓のものを

△同五月十二日同じく塔灣で送電用フイダー線百八十米時價三百二十圓のもの外數件計八百圓のものを竊取したものである

煙臺坑の五十萬噸
出炭準備完成

特殊炭唯一の產地たる煙臺坑年額五十萬噸計畫の豫立が今や殆どなつた、かつて瓦斯爆發の爲傷いた坑道も完全に修理され茲より約二十五萬噸、新に開鑿された茨兒山新斜坑も本年の需要期には本採掘し得る筈で双方合して前記五十萬噸の需要に應じ得る計算である

…の春季大會を催し餘興として長唄、琴曲、手踊り、寶探しなどがあつた

營口

料理屋組合慰安會

營口料理屋組合では二十日午後四時から營口座に於て藝妓、酌婦、仲居等從業者の慰安會を開きお手のもの手踊其他盛澤山の餘興後活動寫眞の映寫ありて十二分の慰安を得同十時頃散會したと

匪賊の殘類一名
娘々祭で逮捕さる

去月十三日花園街で突發したる匪賊事件の片割れ王殿發(三〇)は逃走後行方不明であつたが去る十七日大石橋娘々廟祭において同志を語らひ雜沓に紛れて客を裝ひ廟祭出張の販賣店に入込み矢庭に賣上金を强奪せんとしたるを店員等に取押へられ大石橋支那官憲より當地縣公安局に押送されて來たがこれで當時の匪賊は全部縛に就いたわけである

僞造銀貨や變造紙幣
ご用心第一

近頃五十錢の僞造銀貨と一圓紙幣を五圓に變造したるものを行使するものが多いので授受の際充分の注意を要すと

商工會議所役員會

商工會議所では二十二日午後五時から役員會を開き大連に於ける滿洲商工會議所聯合會に出席の同議…

會頭關甲子郎氏の滿鐵消費組合問題に關する經過報告その他の雜件を協議

祝賀會と講演會
海軍記念日の催

地方事務所では十九日有志の參集を求め來る二十七日の海軍記念日に於ける催しに關し打合せ會を開きたるが協議の結果、市民の祝賀會と海軍將校の講演會を催すこととしその筋に對し將校派遣の依賴電を發した

輸組出張販賣

營口輸入組合にては來る二十七、八、九の三日間西大廟の大祭に際し組合商店の景品付出張販賣を催す筈

宗祖降誕會

營口本願寺では二十一日午後一時から宗祖親鸞上人降誕會並に婦人…

四平街

功勞警官に謝意

去月三十日花園街の匪賊事件の際負傷せし德江巡査及び殊勳者隋、郭の兩巡捕に對し當地居住民より謝意を表することゝなり義金募集中のところ二十一日それ〲三氏に對し記念品を贈呈した

市民協會の家族會
大仕掛けに開く

四平街市民協會の家族會は四平街公園元神社跡を會場とし會員家族數百名を迎へて愈々來る六月一日華々しく開催されることゝなつた當日は辛黨のため斗樽數挺、甘黨のため善哉、饂飩、關東煮等の模擬店を設け各自の嗜好に應じ飲み放題、食ひ放題、この外會場の背後に舞臺を設け花界の美形連が賑やかに三味や太鼓で囃し立ていろ〱の舞踊を大道具、大仕掛で演じ大に興を添へんといふので、各料亭ではその出し物の稽古に大童である、又一方運動部員はこの機會に健脚振りを發揮せんとて愈グラウンドに於て各種の運動競技を演ずべく若人達は腕が上にも血を沸かし當日の至るを期待してゐる

安東

海關襲擊問題は
近く日本側から交涉

新義州居住の一鮮人が安東支那海關吏に慘殺された爲め江岸海關派出所を襲擊せし事は既報の如くであるが、慘殺されたる鮮人は新義州彌勒洞居住張錫宗(三三)と言ひ鮮人が派出所を襲ひたる事實を調べて見るに、張の親族がその死體を派出所に運んで交涉しやうとすると海關吏がこれを追ひ拂はんとしたので、親族の者達が死體を派出所の机上に載せたるに、海關吏は死體の頸に繩をつけて表にほり出して了つたので、親族の者の後より續いてゐた鮮人の群衆が「人間を犬のやうに扱ふとは不都合だ」と既報の如く騷動を起したもので、いづれ近く眞相判明次第日本側より支那側に嚴重交涉する筈である

飼犬の狂水病
豫防注射 廿六日から四日

安東警察署では狂犬または野犬の橫行に鑑み滿鐵衞生係と協力し來る二十六日から二十九日まで消防隊構內に於て飼育犬の狂水病豫防注射を行ふ事となつた注射料は無料であるから愛犬家はこの際豫防注射を勵行されたいと

安東產婆會

十六日午後六時半から四番通七丁目中原產婆宅に於て五月例會を開き鈴木博士、春野醫院長、犬丸醫學士等顧問醫から助產上に關する講義を受け終つて茶話會を催した

蠅取器設備慫慂

安東署では嚴に蠅驅除デーを催し蠅の驅除に努めたが更に蠅の根滅を期すべく管內の料理店、飲食店、旅館、理髮館等を精細に調査し蠅取器の設備を慫慂しつゝあるが、十七日までの備へ付は總數九百五十二個で一千個を突破する見込である、營業別及び個數は左の通り料理店一九一個▲飲食店二三〇個▲飲食物販賣業者二一八個▲理髮業者五〇個

安東養鷄組合

養鷄の普及並に品種の改良等を目的とした安東養鷄組合は六道溝北二條通りに事務所を設け顧問には三井物產池上常太郎氏並に門間勤業係長等を、組合長には柳田宗三郎氏を推しシーズンに入ると共に大々的活躍を開始したが、事業の內容は一、種鷄の供給二、雛の供給三、種卵の供給四、食用卵の供給五、その他

滿洲各地の傳染病は減少

滿洲各警察署並に民政署管內に於ける本年四月までの傳染病患者は總計六百六十一名で筆頭は何んと云つても大連の百二十二名、次が撫順の百十六名、安東は第五位で三十八名となつてゐるが昨年に比較して非常に減少してゐる

川上學務課員來安

安東に第三小學校又は大和校分校の新築を中止し朝日校を增築してこれに大和校の高等科を移すべく滿鐵本社に要請せるは既報の通りであるが、右增築工事その他安東に於ける學務關係事業費査定のため川上學務課員は二十日朝來安各方面の實地調査をなすところあつた、同氏の歸連報告により朝日校增築工事が決定着工せらるゝものと見られて居る

臺所道具展
廿五、六兩日

南滿瓦斯、南滿電氣兩支店並に德光、頭川その他輸組、商協加盟店舖聯合の臺所道具展覽會は來る廿五六兩日にわたり公會堂に於て開催の筈であると

撒水車增加

安東市街主要街路に對する撒水は去る十日から二臺の撒水自動車を運轉し用を辨じてゐるが、盛夏の候となれば更に十數輛の小型撒水車を配置する事になつてゐると

防穀令影響薄
關東廳からの照會で
安東商議が二十日附回答

滿洲防穀令實施後の狀況調査方について本月十四日附を以て關東廳內務局長より安東商議に照會ありて商議は二十日附を以て大略左の通り回答を發した

省政府より當地海關宛防穀令實施方の命令ありしもその後露支紛爭の終息と共に右防穀令は殆んど立消えとなつて發令當時より今日迄安東としては賣買取引上についても輸出上についても殆んど何等の影響を受けざるものと認む

公主嶺

公取狀況
五月中旬中の

公主嶺取引所における本月十一日より二十日に至る取引狀況は商品ボンヤリと中旬に入れる斯界は依然無材料ながら當限の納會を控へ大豆、高粱共利喰前投或は乘替商內に相當喰合を見せたるも商狀は無關心に過ぎ十四日納會後商況一段と不況に推移せる跡大連の銀安を移して幾分强氣に現はれしが頭閊え伸び惱みの折柄支那における金の輸出銀の輸入禁止を傳へたるも何等市況に反映する所なく高粱は現物の睨りを承け稍硬調に現はれたるも伸が鈍く重各品一齊に凡化の繼越旬した本期間中の取引高は左記の如し

大洋建大豆六十五車と高粱三百車の計三百六十五車にして大豆高粱の公定相場、最高最低調

大洋豆建大豆

限月	最高	最低
五月十五日限	二、一一五〇	二、一〇四三
六月十五日限	二、一六四〇	二、一五〇〇
七月十五日限	二、二〇三七	二、一八一三
八月十五日限	二、二二七〇	二、二二七〇

大洋建高粱

限月	最高	最低
五月十五日限	一、二九七五	一、二八三四
六月十五日限	一、三七二四	一、三〇七五
七月十五日限	一、四〇二九	一、三二九八
八月十五日限	一、四一五五	一、三九二八

參謀演習團

參謀本部第三次參謀演習旅行實施の現地戰術專攻のため畑少將外一行十六名は十九日十九時五十五分着の列車にて來公丸福旅館及び大和京の家に分宿該演習視察のため御差遣の蓮沼侍從武官は二十日十一時五十一分當驛着の北行列車にて來公丸福旅館に一泊二十一日十五時二十七分發の列車にて一行と長春に向け出發した

滿鐵運動會
六月一日擧行

當地滿鐵社員の大運動會は毎年風雨に妨げられるので本年は六月一日午前八時より公園に花々しく開催するので目下各選手は練習に餘念がない

開原

鮮人相撲大會
六月一日に

朝鮮農村にては古來五月端午の節句に素人相撲大會を催す風習であるが、當地在住朝鮮人側では來る六月一日の端午を卜し普通學校北側の空地にて相撲大會を開き大に氣勢を擧げる由で、當日は附近農民の參加もあり、また普通學校にても應援して運動競技をなすといふから定めし盛況を呈さう

憲兵志願者
四名とも合格

去る四月二十日當憲兵隊にて試驗を施行せる開原守備隊の憲兵志願者步兵一等卒松澤三郎、藤澤稔、川合直利、貴田豐秋の四名今般憲兵採用試驗に合格し來る六月一日より向ふ四ヶ月間旅順關東憲兵隊本部に於て教習を受くる事となつた

滿期除隊兵四十名

開原守備隊の滿期除隊兵渡部上等兵以下四十名は來る三十日除隊する事に決したが出發歸國の時刻は未定

開原デー打合會

二十二日午後三時地方事務所會議室に於て開原デー開催に關する打合協議會を開催

市況振興策懇談會

二十三日午後三時より地方事務所會議室に於て地方委員及實業會常議員は市況振興策につき懇談會を開催

青年團二次座談會

開原青年團では廿三日午後七時から地方事務所會議室にて第二回座談會を開催

大瀨戶氏榮轉

開原取引所大瀨戶麟次郎氏は今回奉天取引所に榮轉近日中出發赴任の筈であるが、後任として大連より高野貞次氏が着任した

俳優厭世自殺

開原大街六五ノ一七賜春里內玉果班樂玉術方抱俳優、原籍河北省安陽縣城內郭須紅(二〇)が苦悶しつゝあるを家人が發見二十日午前九時頃滿鐵醫院に入院せしめたるが診察の結果同日午前二時ごろ阿片を嚥下自殺を計りたるものと判明、手當の甲斐なく同日午後四時死去した原因は失戀の結果厭世したものらしい

瓦房店

素謠會開催
廿八日倶樂部で

瓦房店松風會にては滿鐵社會課後援の下に來る廿八日午後四時倶樂部に於て名人梅若宗家の高弟觀世流天野兩師範を招き素謠會を開催する、多數來聽を希望する由

遼陽

海軍記念祝賀會

遼陽官民有志は恒例に依り廿七日正午から公會堂にて海軍記念祝賀會開催に付參會希望者は廿五日迄に地方事務所又は町內區長迄申込まれたく會費は金五十錢である

子供相撲の土俵開き廿七日

遼陽地方事務所構の遊園地に子供相撲土俵が出來上つたので海軍記念日當日午前十時から小學兒童多數を招き土俵開きを催すべく社會係で準備中

ロータリー大會に使して

官憲ですら日本には無知

(下)

シドニーにて　太田雅夫

五月十日 シドニーに入港ロータリアン代表數氏に出迎へられて上陸、其の中に在留邦人唯一のロータリアン三菱の高橋五郎氏の姿も見えた、濠洲政府は吾等一行のために特に稅關無檢査といふ前代未聞の特典を與へてくれる、午前十時ホテルオーストラリヤに投ず、井上總領事を始め吾等一行の濠洲訪問を機に日濠取引者間で組織された日濠協會、在濠支店長級の人達の會である互讃會、三井三菱、正金等その他より公式の招待攻めに遭ふ、在留邦人各位の歡迎と歡待には感謝の言葉もない、殊にロータリアン高橋氏が獻身的に日濠兩者間に奔走せられた努力には實に感心した、十一日當地ロータリーのレギュラーミーテングの吾等の一行の歡迎會には家族同伴の參會者二百餘名の盛會にて席上奉天クラブよりの木魚の贈呈あり、これは彼等外國人の好奇心をそゝり質問百出應接の遑もないほどであつた

五月十八日 から二十日まで連續して行はれた大會の詳報は省略するが、大會の前後を通じ極めて好意を以て吾等は遇され全く日濠兩國のコンフアレンスの感あり、吾等一行の舉措は固より極めて愼重を念じ、非常なる成功裡に閉會を告げたことは欣快に堪へなかつた、即ち十九日目タウンホールに於けるデモンストレーションの夜には「君ケ代」の奏樂に三千の市民總起立で吾が國歌を合唱して與れ、實に嚴肅な光景を呈した、また同夜日章旗に從ひ井上總領事の、令孃二人が和服姿にて會場中央に進みし際、日本代表岡崎氏の家族が同じく日本服裝で會場最前列に到着の際の如き何れも萬雷の如き拍手が起つた、又は濱口首相のペーパー朗讀、北島氏のグリーテング、東京クラブの日章旗捧呈式の如き等々、すべて涙多き邦人の感激は想像するに餘りあるやに思はれた、吾々一行は大會終了の當日を以て一先づ其の團體を解散し、各自自由行動を取ることゝなり地方に出掛ける者、又はニユージーランドに渡るもの又はジヤバに急行する者等あり、小生は橫濱の野村氏と共に

メルボルン 地方に出掛けた、濠洲政府は特に小生のために汽車、電車のパスを發行し鐵道及び地方觀察に關し特別の便宜を與へられたが、唯彼等政府官吏又は實業家連中が、日本及び滿洲の事情に通曉せざるには一驚を喫した、殆どその大部分が滿洲は支那の領土なりや、ロシヤの領土なりや、將日本の領土なりやとの質問を發する有樣にて、滿鐵はロシアの鐵道か支那の鐵道かと聞く者の如きはまだ罪輕き方にて小生に向つてさへ「貴下は日本人か」など と直接聞かれたには閉口した、彼等は眞に滿洲の事情には盲目同然で、社會の耳目たるべき新聞記者さへ滿鐵をロシヤの鐵道と思考せる者がある、然しながら漸次了解するに從ひ滿洲の事情を聞きに來訪する者も生じ、滿洲の農業、工業、乃至ミルク、バター等の賣込等につき聞合はせに來る者等あり此の點に就ては幾分か滿洲乃至滿鐵の紹介ともなり幸ひ使命の幾分かを果すことを得た、殊に各會社に於てミスターオータは態々滿洲より代表として來訪せしことを紹介せられし際の如き、盛なる拍手を以て迎へら非常なる面目を施した

シドニー市 は人口百三十萬、支那人二千、邦人二百弱(六七十名が知識階級他は洗濯屋)土人は數十名、殆ど全部が歐米人にて日濠貿易も左程密接ではないが、吾が國は羊毛、小麥を輸入し雜貨絹物等を輸出し年々二億近くの金額に上つてゐる、今や濠洲全體を通じて羊毛の値段は半減し非常の不景氣にて、もし此の狀態が此處二、三年も續けば濠洲は破產の外あるまいと稱せられてゐる、何分三百萬平方哩に六百萬人の人口のみ故一平方哩二人の割、それが主として都市に集中し田舍に殘つて農牧に從事する者僅に百二十萬人位、一向產業的開發は遂げられず、それかとて外國の移民は絕對に嫌つてゐる故濠洲の前途は他所事ながら寒心に堪へざるものがある、殊に昨年から勞働黨が聯邦內閣を組織せし以來固く勞働者の移入を阻止するの方針支持し、何時迄も所謂短い時間を働き高い賃銀を取ることのみ考慮し、勞銀の如き一週(四十八時間)四磅七志位各州にて異るも法律で大體の生活標準に準じたる賃銀を定め、もし故無くして解雇〻する場合には直ちに同盟罷業に移る等(ニユーカッスルの炭坑の如き一年の罷業を繼續し、勞働政府はこれに失業手當を支給しトレード・ユニオン亦醵金してこれを應援せる如き)要するに濠洲の脅威は勞働者團體の鞏固とこれをバックとする勞働黨ではなからうか、これ等の勢力を支持せる以上地方の開發、產業の發達は到底期するに由もなく、無限の曠野は徒らに放置せられ荒廢に屬せんのみかとも考へられる、結局、濠洲には日本が參考とすべき何物もない只「然るに拘らず」濠洲各州政府は競つて鐵道、道路公共施設、水利事業等に相當の資金を投じ、其資源はこれを公債に募り、今や四苦八苦の態にて(これは地方開發の目的以外に勞働黨勢力擴張の具に供せらるゝ場合多きかと聞く)餘り感心は出來ぬ、滿洲邊り積極的に經營をする必要はなからうかと考へられた

因みに氏は四月三日發のナイヤガラ丸にてニユージーランド、布哇經由桑港に向つた筈

特別議會觀戰記

二旬に亘る朝野の攻防戰

(下)

東京支社　一記者

議會の品位は

松田拓相に言はすれば「解散後の特別議會は何時もアンなものだ!」そのアンなものゝ怒號、叫喚、亂暴、狼藉が衆議院では當然とされて居るだけに、議會の品位と云ふことがクタ〳〵考へられる。立法の府である、言論の府である、「院內の辯論は自由である」とは云ふけれど、それは法律上の制裁を受けぬだけの話。若し無責任な放言をなした場合、或は常識以上の亂暴な行動をなした場合、社會上の制裁を受ける。その人は必ず政治上或は院內で直ちに直接行動、訴へなくても、或は形式的「懲罰事犯」に附せられなくとも、然う云ふ非常識な蠻が到底無事に濟む筈はない。亂暴な放言に對して「議會の體面に關するッ」と猛り立つよりも、寧ろ自然の制裁に待つ方が、餘程效果的であり、且つ品位を保つ所以ではないか。

混亂の責任者

議會が濟むと政民兩派共直に黨幹事長の名を以て「議會混亂の責任」を互に反對黨になすり合つた。臭いもの身知らず、世の中にこれ位滑稽な話はない。獨角力や獨喧嘩は狂人でない限り出來るものではない。相手にするから出來る亂暴、相手があるから出來る橫暴だ。喧嘩兩成敗、非は無論双方にある。院外の第三者から見れば與黨も野黨も、共に混亂の責任者だ。その外の何者でもない。お互に責任をなすり合ふよりも、何故お互に自制し合つて、院內の風儀を矯正し暴力、混亂を根絕する方法を講じないのか。自家に歸れば紳士であり、慈父であり、鄉里に歸れば黨の選良である。先づ互に自黨內の亂暴者から擯斥してかゝれば之れを消滅することは譯はない。擯斥どころか幹部自ら煽動し重用する現狀では何れも過を責める資格はない。

秩序維持運動

「理窟は然うでも人間は感情の動物だ」と所謂「議場心理」を語つて、自制の不可能を說く人が多い。然しこのまゝ年中の行事の如く、院內の亂暴狼藉が繰返へさせられるとすれば折角の普選議會も「暴力政治の機關」たるに過ぎない。自ら「議會政治」を否認するものである。明かに憲政の逆轉である。國民輕侮の的としての存在でしかない。一國の風教に及ぼす影響が尠くない。事は極めて少さいやうであるが、この際院內の「秩序維持運動」が如何に必要であるかが思はれる。政界廓清運動の一ツの要件として今後國民の注意を惹くであらう。

經濟論不徹底

金解禁の善後策と不景氣對策及び失業救濟問題が特別議會における「經濟論議」の中心であつた。これには野黨も隨分主力を盡した。が何うもまだ不充分であつた。それと云ふのがその根柢に於て、具體的對案を有して居ないためである。徒らに他の缺陷のみ指摘して「揚足取り」の弊に陷り、自己の確乎たる政策を示さなかつた。殊に失業救濟に於てその感がある。現內閣が失業救濟に不誠意である事實は暴露しても、自分に果して何れだけの誠意あるやを疑はしめる。若し確乎たる成案があるならば、例の闇から闇へと葬り去られた「經濟決議案」を何故議會劈頭提出し、堂々政府と政策の爭ひをしなかつたか、政府の缺點のみ擧げ結論をつけやうとするからこそアンナことになる。

旗印がない!

無產黨派も、只大衆への呼びかけ許りで何等「實現の可能性ある具體案」を提示しなかつた。何うで「近くは實現出來ぬ」と云ふ諦めかは知らぬが既に「合法的議會制度」を容認する以上それでは不徹底だ。要するに與黨、野黨を問はず現在の政黨政派には、具體的政治運動の「旗印」がない。少くも往年の普選運動位の具體的「旗印」がなくてはならない。議會を「揚足取り」と「暴力混亂」の試演場たらしめて居るのも、根本原因は其處にある。

◇―新刊批評―◇

▲山水百記(故田山花袋著)一小僧から身を起し苦學力行、獨學を以て明治二十二、三年頃にドーデー、ゾラを讀破して自然主義文學の急先鋒となり出世作「蒲團」を公にしてから現在まで文壇一方の雄としてあがめられ、桂園派の歌人として或は若き漢詩人として早くから名を知られてゐた故花袋は、また紀行文の雄として故桂月と並び稱せられ、日本全國はおろか滿洲にも數回訪れたことがあつた、殊にその晚年は專らこの旅行文に專心してゐたやうである、その溫顏を思はせるやうな溫みと深みを持つた文章は確かに一異彩であつた、本著は四國、中國山陰、九州、近畿、紀伊、關東奧羽、と日本本土あらゆる所の名所約九十ケ所の紀行文である海、海岸、山、川、湖、島等の悲しくも今は遺著となつた本著を、靜かな自然を樂しむ人に、そして花袋の人格を崇敬する人々に是非一讀を奬めたい(四六版四百三十頁定價一圓八十錢、東京市日本橋區本石町聚文館發行)

▲明治大正外交秘話(戰記名著集)大瀧鞍馬氏の執筆、讀み易い大衆的な體裁である、「外交奇談」の中には清の元勳李鴻章が七十五萬圓で露國に已の節を買收されたといふ話、日露談判の隱れたる審曲劇としての佛外相と獨帝カイゼルとの面白い駈引、かつての歐洲大戰の時米國にあつて獨逸の無名大使の如き役割を演じて辣腕を振つた怪傑リンテルンの密謀、その巨船ルシタニア號擊沈の裏に秘められた話等々、十篇、何れも興味滿點のものを蒐せ「東西外交秘譚」では日清戰爭當時における日本が生んだ第一の外交官たる陸奧宗光伯の命を懸けた外交日露講和談判における小村壽太郎侯と露國の代表ウイッテ伯との駈引、その間を縫つて行く名探偵の活躍等、其他四篇の物語を載せてゐる、肩ぐ凝りを感ぜずに面白く讀める本(四六版五百二十二頁豫約本東京神田錦町一戰記名著刊行會發行)

家庭とコドモ

滿洲に於ける教育者養成機關
果して當を得てゐるか……◇ (中)

奉天　春仙生

師範學校の昇格では、千八百九十年に州立のアルバニイの師範學校が一年制の師範大學に昇格したのが嚆矢であつて、其後ミシガン州の州立師範學校も昇格して大學になつた。近年に至つて、師範教育向上の必要を認める輿論と、猛烈なる運動の結果、師範學校の昇格するものが甚だ多く、千九百二十六年には州立の師範大學が九十校あると報告されてゐる。

◇

對岸のカリフォルニア州の如きは、數年前州立の師範學校を全部師範大學に昇格させた。他の州には今尚多數の師範學校があるが、此等も漸次昇格することであらう。我國でも初等教育者の資格向上の必要は夙に識者の認むる所となり師範學校を三年制の專門學校に昇格せしむべしとの叫びは既に發せられたのである。然しながら日本の財政が國民周知の状態であり、如何とも致し難く、怨みを呑んで時機の到來を待つてゐる次第であつて、東京、廣島の兩高師の大學に昇格した事は、師範學校昇格の前提とも見られるのである。

◇

兎も角師範教育の改革は早晩起るべきであつて、中學校卒業生の入學する二部を師範學校の本體とすべしとの意見もある。先年岡田文相が萬難を排して師範學校に專攻科を置いたのも、現代の師範教育を充分であると考へないからである。かの理想的教育を行ふ事の出來る宮内省設立の學校でも、師範學校の卒業生に、初等教育者として充分な資格があると認めてはゐない。現に學習院初等科及び女子學習院の初等科には、多數の高師卒業生が教鞭を執つてゐる。筆者が參觀した頃には、學習院初等科には技能科でない教官の中に唯一人の師範卒業の經驗を積んでゐる人がゐた丈で、他は皆高師出身であつた。高師等の附屬小學校を始めとし、現在でも高等師範の卒業生で初等教育に從事してゐるものは、相當多數にある。

上述の樣な實情であるから、日本の第一線であり、外國との關係の密接な滿洲、從つて優良な國民を造らなければならぬ滿洲に、日本で裕福無比の滿鐵が、教育者養成の爲に、唯一つの教育專門學校を設立したからとて何の不合理があらう。關東廳にせよ。滿鐵にせよ。施設創立の當時には止むを得なかつたとするも、今日に於ても尚内地の地方税で教育した教師を無償で貰ひ受けねばならぬ理由がどこにあるであらう。よろしく自ら優良な教師を養成すべきではあるまいか。斯く言へばとて、吾人は現在の教育專門學校を謳歌するものではない。教專は其の特殊學校たる色彩を今一層濃厚にする事が肝要である。

◇

教育學、心理學、倫理學等の教育者に必要な科目を今少し力強く授けねばならぬと思ふ。或は此の方面に教授の増員を行ふ必要があるかも知れぬ。社會學も學校衞生も一通り教へて置くべきである。自然に覺えても來ようが、卒業すれば衞生の知識は早速入用であるので、大家から其の要點を教へて貰ひ、新卒業生の方がこんな點でも新知識である位にして置けば、卒業後無難でよい。何といつても兒童の身體が第一に注意さるべきもので、ダルトン案などと、窓を背にして暗い所で細い文字を書かせてゐる教師の氣分が判り兼ねる

不良少年の問題
各家庭に切望す

司法次官　小原直氏談

我國にて識者の研究考慮すべき社會問題は數多くあるが、不良少年の教化保護と言ふことも亦その一つである。此の問題は獨り少年自身又は其の家庭のみの問題に止まらず、國家、社會の重大問題として考慮研究さるべきものである。歐米各國に於ても彼の世界大戰後著るしく

◇…不良少年の數を增加したる爲識者間に國家社會の重大問題として之等不良少年發生の防止、犯罪の撲滅の唯一の策として教化、保護を加へることが研究され現にこの方法により着々と其の成績を擧げて居るが、我國に於ても大正十一年法律第二十一號を以て少年の罪を犯したる者又は罪を犯す虞のある者に對し教化保護を加へることを發布され、之等の者に教化、保護を加へる少年審判所が設置さるるに至つた。然しながら此の少年審判所の數は種々なる事情に因り未だ少く其の教化、保護に因る效果を

◇…全國的に及ぼすことの出來ぬのは甚だ遺憾であるが、早晩その數を增加し全國的に教化保護による效果の増進を圖る考へである。少年審判所は勿論審判をする所には違ひないが、不良少年の犯罪の處置については特に教化保護の精神に基き徒らに牢獄に繋ぐことをせず、先づその不良化した原因を探究して爲さるるのである。即ち遺傳體質等の先天的原因に據るものであるか、又は家庭の缺陷、交友の不良、教養の不備

◇…活動寫眞の感化、其他自己の境遇等の後天的即ち社會的原因に據るものであるかどうかを探究して爲さるるのである。が此處に不良化した原因を探究して驚くことは先天的原因に據る者は比較的に少く寧ろ後天的即ち社會的原因に據る者が多いことで此の現象は誠に國家、社會上寒心に堪へぬものである。此處に於て吾人は各家庭に於ける子女の監督の上に一段の注意を切望して止まぬ。

五月祭座談會 (四)

出席者　村岡樂童、今永茂、中壽新一、青山給夫、石森延男

石森記

A、最後に一同が國歌を合唱したが、群衆の中に、歌ふ人は少なかつたのは遺憾だ。

E、あれにはおどろいた。どうしたんだらう。甚だしいのは、脱帽を忘れた人もあつた。

B、これはどうしても「君が代講習」をしなければいけない、このごろ東京でもやかましい問題なんだ。

D、國歌は、できるだけ精一杯にうたひたい。粗野に陥らない程度に。それが大人になると、唇も明けないで口の中でうたふ。

C、最後の萬歳はよかつたね。誠意のあふれた聲がほしい。

一同、たしかによかつた。

D、あゝした全體的一齊行動が、もつとあつていゝな。

B、"外でのピアノはいけないよ、きゝめがない。もちろんオーケストラでもいけない。これは全く失敗。どうしてもブラスでなくちやだめ。來年はブラスバンドをこしらへなくちやだめだ。

C、これは市の仕事として存在させたいものだ。

E、種目と種目とのつながりを、もつと利用しなくちやあきるよ。蓄音機をかけるとか、瀟洒な假裝行列をやるとか、ページエントをやるとか。

D、いゝね。あれだけの人が集まつてゐるんだから、なんかしら群衆の氣息といつたものを美しく醱酵させたいな「合唱歌」をこしらはうといひだしたこともこゝらに意義があつたんだが。

大チヤンノモウジウガリ (109)

ハルミチ作　ジラウ畫

チムル ガ ザウガリ ヲ ジブンタチニ マカセテクレ ト タノンダノデ 大チヤン ト ヲヂサンハ ドジンドモノ ザウガリ ヲ ケンブツスルコトニ シマシタ、ヤガテ ドジンドモハ ミンナ ヒタヒ ヲ アツメテ ナニカ サウダンシタト オモフト ワカレワカレニ クサムラ ノ ナカヘ カラダ ヲ カクシマシタ、

ドジンドモハ マタタクウチニ ザウ ヲ マンマルク トリマイテ シマヒマシタ、ヤガテ「ワーツ」ト イフ トキノコヱ ガ オコリマシタ、ソレト イツシヨニ クサムラノ ナカ カラ サカンニ ヤリ ガ ナゲラレマシタ、ヤリ ハ ヒユーツト ウナリナガラ トンデイキマス、

カメラ遍歴　沙河口淨水池の巻 (下)
附…水道の話

馬欄河、王家店、龍王塘の三水源池の中で現在使用してゐるのは馬欄河と龍王塘との二ケ所だけで自然流下による唯一の水源池である王家店の水は大部分使ひ果し餘すところ僅になつたので今は動力故障等の萬一の場合に備へるため大切に保存されてゐる。

◆　◆

王家店の水源池は海拔二百八十尺の高所にあるから沙河口淨水場まで一直線に自然流下で流れて來るが、龍王塘水源池は水面が僅に海拔九十三尺であるため電動ポンプで龍王塘の中方にある海拔三百六十二尺の太白山貯水池に一旦押し上げられ、こゝから水は自然流下で臥ケ浦の背面にある龍ケ丘淨水場に到達する、こゝでパイプは二本に分れ一本は原水をそのまゝ沙河口淨水場に送り、他の一本はこゝで淨化した水を西部大連方面に供給してゐる。

◆　◆

沙河口の淨水場には王家店の水も龍王塘の水も馬欄河の水も全部集つて來て一旦沈澱池に入る、水中に含まれた挾雜物の大部分は池底に沈澱し、上澄の水は混藥室に流れ込む、こゝで石灰と硫酸礬土が加へられ上下に攪拌されながら流れて行く中に水中の不純物は化合物を形成して混藥沈澱池ですつかり沈んでしまふ、こゝまで來れば見るからに美しく澄んではゐるがまだ浮游物や多少の挾雜物が含まれてゐるのでこゝの水は更に濾過室に導かれこゝで始めて完全に淨化させる、もう飲んでもいゝ水だ、しかし、海拔僅か二十七尺しかない沙河口淨水場の水には各戸の水道栓から迸り出るだけのパワーがない、そこでこゝの水を電動ポンプ五臺を以て海拔二百五尺の伏見臺低區配水池に押し上げ、こゝから大連市内方面に送水される、南山麓郊外土地日の出町方面への送水は伏見臺低區配水池から更に電動ポンプで海拔三百五尺の高區配水池に押し上げられ十分パワーをつけて配水される

◆　◆

とにかく、谷間に溜つた雨水が淨化された水道の水となつて我々の家庭に供給されるまでには隨分多くの手數がかゝつてゐる、それが一噸僅か十六錢で供給されやうといふのだから安いものである、しかし安いからと言つて無駄遣ひはいけない、大雨でも降つて水源池の水が豐富になるまでは節約をしなければならぬ（寫眞説明＝上は沙河口淨水場の送水ポンプ、下は混藥室）

探偵小説 **女妖** (96)

江戸川亂歩 作　横溝正史　伊藤幾久造 畫

過去の影(三)

千家篤麿がガタリと卓子の上に置いた黒い包——それを龍三は不思議さうな顏で眺めてゐた。

「何ですね、それは……？」

「御自分で手にとつて御覽下さい。確か見覺のある筈です」

篤麿は意味ありげに龍三の顏を眺める。

龍三はさう言はれると、氣味惡さうに、卓子の上の物と、相手の顏を見較べてゐたが、やがて、そつとその黒い包を引き寄せると中を開いてみた。と、忽ち、

「あつ！」

といふ低い叫び聲が彼の口をついて出た。見ればそれは一口の短刀である。しかも、あの春巣街の事件の折柄、死美人の胸にさゝつてゐたあの短刀ではないか。

「コ、此の短刀は……？」

龍三は何故か眞蒼になつた。

「御存知でせう。この短刀こそ、あなたの奧樣——あの春巣街で不慮の死を遂げられた奧さまの胸にさゝつてゐたものです。そして、あの事件の直前まで、この短刀は確あなたの手許にあつた筈です」

篤麿のその言葉は、まるで冷たい針のやうに龍三の胸をさす。龍三はそれを耳にすると、灰のやうに顏色を失ふのだつた。

「デ、——デヘ、君は、君は、あの女を殺したのはこの俺だといふのかね？」

「さア、さうはつきり言ひ切るわけではありませんがね、何しろ、この短刀が犯行の直前まであなたのお手元にあり、そしてこの短刀で殺されたのが、あなたの以前の奧さまだといふ事を考へ合はせれば……」

「嘘だ！嘘だ！」

龍三は拳を固めて、激しく卓子を叩くと、やつきとなつて呶鳴りつける。

「俺は何も知らん。第一、あの女が生きてゐた事も、つい此間迄知らなかつたくらゐなのだ」

「さう言ふ逃げ口上は通りませんよ。警察でもあなたに幾分疑ひをかけてゐる。何しろ兇器が、犯行の直前まであなたの手許にあつた事が分つてゐるのですからね。然し、その動機——犯罪の動機といふものが分らないので、今以上、あなたに對する疑ひを深める心配はありません。しかし、しかしですよ。若し、あの女がかつてあなたの奧さんであつた——いや、現在でも法律上、あの女が立派にあなたの奧さまであるといふ事が分れば、その結果はどうなると思ひますか」

「然し、然し——俺は何も知らん。あの女が生きてゐたなんて、そして春巣街なんかに住んでゐたなんて、俺は夢にも知らなんだのだ」

「然し、さうは警察では考へますまいよ」

千家篤麿は、冷たい、嘲るやうな調子で言ふのだつた。

「一體、あの女が何んの爲に、再び巴里へ歸つて來たと思ひます。言ふまでもなく古い、結婚證書を種に、もう一度、あなたの奧さんに直らうといふ肚だつたのですよ。だからこそ、安藤婆あさんにも、近いうちにパリ一隨一の大金持ちと結婚すると吹聽したのです。それ位の考へがあつた彼女が、パリへついてから二ケ月もの間、あなたに一言の挨拶もなかつたとは決して警察では思ひません。必ず歸つて來たことをあなたに通知して、もう一度結婚し直す事をあなたに迫つたらうと考へるのが至當でせう。さう考へて來ると、總ての辻褄が合ひます」

「一體君は誰だ！何者だ！」

突然龍三は立上ると大聲で叫んだ。

「假面をとれ！假面を！俺は知つてる。俺は知つてるぞ。君が何者であるかを！君だ……君だ……」

さう言ひかけたが、そのまゝ龍三はよろ〳〵とよろめいて、椅子の上にバッタリと倒れた。

安東神社に御參拜の秩父宮殿下

軍部、滿鐵扈從者にそれぐ御下賜品

滿洲御見學恙なく終らせられて　秩父宮殿下御休養

【安東特電二十二日發】領事館に入らせられた秩父宮殿下には御小憩後一時より陸大生と共に大津採木公司參事の「採木公司に就て」の講話を約二十分、御聽取ありて御日程を終らせられ關東廳および關東軍側の扈從者にそれぐ御下賜品あり滿鐵側扈從者は二時半より伺候し御下賜品を拜受した、秩父宮殿下には御室にて御休養、五時前、仙石滿鐵總裁の伺候を受けさせられ拜謁を賜はり滿洲に御名殘りの夜を御過し遊ばされた御模樣に拜す

御見送り申上げた後、八時十分發臨時列車で奉天へ向ひ二十六日まで滯奉、支那側と交驩し二十七日より二十九日まで撫順三十、三十一兩日鞍山初巡視して歸連の豫定である

御下問に奉答し御下賜品を拜受　仙石總裁きのふ伺候

【安東特電二十二日發】仙石滿鐵總裁、秩父宮殿下に伺候のため山崎文書課長、鍋島秘書を帶同して二十二日十六時三十五分安東驛着列車で奉天より來安、驛長室に小憩の後直ちに領事館に伺候して殿下に謁を賜はり御機嫌を奉伺した、殿下には御滿足氣に總裁を勅はらせられ茶菓を賜つて總裁と御對座あらせられ四時五十分より六時二十分迄御來滿以來御研究の滿蒙並びに滿鐵問題關係、各方面に亘つて種々御下問あらせられ滿蒙問題は滿洲に來て初めて判るとの意味の御言葉を拜し仙石總裁はそれぐ奉答申上げ御下賜品を拜受、午後六時卅分直に投宿したが二十三日は殿下御出門前に領事館に伺候して御禮を言上、安東驛に……

李鍵公子殿下　安東を御出發奉天へ

【安東特電二十二日發】陸軍士官學校生徒と御同行の李鍵公子殿下は廿一日午後三時士官學校監事清水少將、御附武官中山騎兵大佐、堀場李王職御用掛を隨へさせられ新義州より御來安、地方事務所にて御小憩の後四時軍部の自動車を先驅として鎭江山安東神社及び表忠碑に御參拜あり、四時卅五分領事館に秩父宮殿下を御訪問、約五分間御對面のうへ地方事務所に於て畑軍司令官、宇佐美領事、上田駐屯地司令官、井上地方事務所長等に謁を賜ひたるのち午後五時より公會堂において高野大尉、三宅參謀課長の講話を御聽取、八時四十五分一行と共に奉天へ向け御出發相成つた

滿倶對商業　野球試合戰績

滿倶對大連商業の野球戰は廿二日午後五時半中央公園滿倶球場で多數の觀衆を迎へて擧行、七回表滿倶の攻撃を終つた時日沒となり結局三對一六回でコールドゲームとなる、閉戰同七時十分、球審顯原、壘審山口、滿倶先攻

大商	0	0	0	0	0	1	
回數	一	二	三	四	五	六	
滿倶	2	0	0	1	0	0	

滿倶一回目に上條の三壘打、芥田の單打、一敵失に二點、四回一壘打、一四球、綠川吉野の單打に一點を加へたに反し、大商は六回工藤、梅本兒の單打と二敵失に一點を返しただけ

	大	商								倶	滿								
	白谷	工藤	梅本	因	堀	梅原	德永	石口	藤本	藤部	弟田	野條	田岡	須川	田田	枝玉	田	吉上	芥片	高綠	和野	藤見	疋

本壘打三本

【フイラデルフイア廿一日發電】ベーブルースは今日のヤンキース對アスレチツクで本壘打三本を飛ばした

大汽新船「長春丸」來卅日神戸で進水式

【東京特電二十二日發】大連汽船の上海航路に就航せしむる新造客船長春丸（四千噸）は豫て三菱神戸造船所において建造中の處竣工するに至つたので來る卅日神戸において進水式を擧行の筈で先般來上京中の安田大汽社長はそれまで他の用件も濟むので廿九日夜發西下すると

撫順油頁岩工場の火事　七名輕傷を負ふ

【撫順特電二十二日發】オイルシエール來溜工場コークステル油受室より廿二日午前十時ころ失火し重油約二噸を燃燒し同十二時鎭火したが、邦人一名、華人六名の輕微な負傷者を出した、損害約一百五十圓、原因は目下詳細取調中であるが當時蒸溜室屋上排氣孔にンダ附用焜爐を使用してゐたゝめ故障を生じこれが修繕作業中、多分これに瓦斯が引火したらしい

南洋探檢家　竹下君來連　歸國の途次

南洋探檢家竹下康國君（三七）は二十二日入港の第二十一共同丸にて靑島より來連したが、氏は去る昭和三年一月十八日母國名古屋を出發一度大連に立寄つてボルネオ、スマトラ、シヤム等南洋各奧地まで……

トロフイー御下賜　東久邇宮殿下

【東京廿二日發電】東久邇宮殿下は極東大會庭球選手權保持國に大トロフイーを御下賜になることゝなり二十二日宮家から大會に傳達された

度選手室には三色に棉引車のついた國民旗をユニオン、ジヤツクと並べて揭げ日本青年館屋上には日、支、比國旗に並んで大三色旗が揭揚されてゐたが國旗觀念のやかましい在留英人から却々文句が出て屋上の三色旗は降されたり揭げられたりしてゐたが遂に二十二日朝は青年館屋上には日、支、比三國々旗に並んで三色旗は姿を見せずポールのみが意味あり氣に立つやうになつて了つた、これでまた一悶着が起き兼ねまじき模樣があるので主催者體育協會でも心配苦慮してゐる

印度國民旗に在留英人が苦情　一悶着起るまじき形勢に　極東大會主催者苦勞

【東京二十二日發電】比、支、印三國選手を迎へて極東大會主催者側にも並ならぬ苦勞を重ねてゐるが中でも今年新らしく迎へて印度選手は母國が排英運動の眞最中である爲め主催者側では殊に國旗掲揚、國歌奏樂等の問題に就いても細心の注意を拂ひ英國大使館とも打合せた結果開會式の場合は國旗はユニオンジヤツク、國歌は「ゴツト、セーブ、ザ、キング」と英本國のを用ゐその他の場合は印度の國民旗で良いといふ事になり印

極東競技大會の採點法決定　野球は一回戰を原則

【東京二十二日發電】今次極東大會各競技採點法は左の如くである

陸上水上個人競技　一等五點、二等三點、三等二點、四等一點

水上リレー　一等十點、二等六點（出場チーム二國の時は一等のみ）

混成競技　一等十點、二等六點、三等四點、四等二點

庭球　デ盃システムに依り豫選試合勝者が選手權維持國と挑戰す、豫選者はチヤレンジラウンドで破れても第二位

野球、籠球、排球　一回戰を原則とするも一勝一敗の時は決勝を行ふ

チヨツキの裏に約二千圓のヘロイン　密輸の常習者埠頭で御用

廿二日午後二時入港した上海定期船榊丸（齊埠）してドヤくと上陸する船客中、埠頭玄關口において、トランクを提げた大兵の一日本人を迂散と見た水上署司法係員は直ちに呼止め該トランクを開いたところ、ヒ樣の白粉が在中するのを發見して有無をいはさず引つ捕へ本署に連行取調べると、背廣服のチヨツキの下に羽二重地で作つた袋を利用しその中にヘロイン約七百六十五匁現金に換算して二千八百圓のものをグルぐ卷いてゐるのを發見したが同人は原籍長野縣上伊那郡生れ市內逢坂町一四二番地熊谷淸一郎（五七）にてさきに銃砲火藥法違反による前科を有する強か者で常に大連青島大連上海の間を來往して密輸の常習犯と認められ今回も青島より一仕事しての歸路御用になつたもので水上署では共犯者あると見込みをつけ徹底的探査の手を延ばすと

支那女優章遇雲　一行きのふ華山丸で來連　近く大連で開演する

支那では珍しい女優さん、しかもその美貌と端麗な容姿で平津の好劇家をうたらせてゐる梅蘭芳の愛弟子章遇雲の一行が近く大連においてその古典的な演戲を見せると、いはれてゐるが廿二日午後六時半入港の華山丸でまづ章遇雲以外五名が先發して來連した、公開日數その他不明であるが、他の一行は近日來連落ち合ふ事になつてゐる

講談社の意氣

宮內省御下命の光榮に感激した大和天覽試合』の安いには驚かぬ者なし。これこそ講談社の美擧といふべし。其の上面白い本だ！

日本大相撲　八日目の勝負

【東京二十二日發電】大相撲八日目勝負左の如し

常陸島	（上手投げ）	太郎山
寶川	（はたき込）	綾の浪
劍岳	（櫓投げ）	綾櫻
大島	（渡し込み）	瀨川
藤の里	（寄り出し）	若瀨川
若常陸	り	吉野山（捻）

荒熊	（寄り倒し）	古賀浦
眞鶴	（押し倒し）	錦山
出羽岳	（寄り切り）	鏡岩
信夫山	（寄り切り）	雷の峰
清水川	（打ちやり）	新海
玉碇	（下手投げ）	錦洋
天龍	（痛み分け）	若葉山
和歌島	（打ちやり）	能代潟
武藏山	（すくひ投）	豐國
玉錦	（寄り倒し）	大の里
常の花	（押し切り）	朝汐
宮城山	（掬ひ投げ）	常陸岩

（打出し五時四十分）

佛庭球大會　原田安部組勝つ

【オートイ（パリー郊外）二十一日發電】フランス庭球選手權大會△ミツクス、ダブルス第一回戰

原　マーシヤン夫人（佛）　四—一　ノールネ、ベルツ夫人（獨）

チルデン（米）、アウセム（獨）　二—〇　安部、クロード・アネツト夫人（佛）

△ミツクスドダブルス四回戰

倚男子ダブルス四回戰にて原田、安部組は左のスコアーにて勝つた

原田、安部　六—七　六—三　七—五　アンリ・デ・モルプルゴ（イタリー）、サルム（オーストリア）

東、庄司兩氏不起訴

【東京二十二日發電】議會最終日公務執行妨害の廉で告發された東、庄司兩代議士は東京地方檢事局で取調の結果單に騷いだゞけで告發事實なく廿二日不起訴に決定した

四國選手招待

【東京二十二日發電】第九回極東大會副總裁田中文相は催の日支比印四國選手、役員歡迎招待會は二十二日午後三時より上野精養軒に開かれ選手、役員等八百名は新綠の不忍池畔に面した大廣間にてパーチーに歡を盡した、田中文相より一場の挨拶を述べ岸會長、比島代表ファガス氏、支那代表張伯苓氏、印度代表ムカージ氏等の答辭あつて午後四時散會した

角力協會長　後任に尾野大將

【東京廿二日發電】日本大角力協會長たる陸軍大將福田雅太郎氏は今回樞密顧問官に任ぜられたので會長を辭し後任は陸軍大將尾野實信氏を最適任と認め廿二日角力協會理事會で滿場一致會長推薦に決定した

船接觸事件審判

既報洮南丸、ありぞな丸接觸事件に關する海事審判は廿二日午前九時より埠頭ビル海事審判室において行はれたが木村理事は洮南丸船長杉本義藏氏に戒飭を求刑した、因に判決言渡しは廿六日午前十時

主人の娘と戀の道行　主家の金を盜み

主人の現金を盜み出しおまけに主人の娘までも引張り出し戀の道行としやれ込んだのは好かつたが新義州署の手配で當地水上署の手でマンマと取押へられた鮮人原籍朝鮮平安北道義州府鄭昌（二三）は己の主人の娘鄭（一七）に戀慕遂に情を通じて一層逃げるならこれまでをと主人の金七百二十圓を拐帶、安東より海壽丸にて來連市內大黑町に潛伏中を二十二日水上署司法係りの手で御用、身柄は近く護送の筈

カーダンパー試運轉　きのふ甘井子で

滿鐵甘井子埠頭は目下トランスポートの組立中で大體八分通りの完成をつけ石炭積込用のカーダンパーは米人技師の手によつて先程組立を終り近く同技師も離連することゝなつたゝめ技師の希望により廿二日正午カーダンパーの試運轉を行ふことゝなつたが石炭積込船としては撫順丸を新埠頭に廻航七百五十噸餘を積込むことゝなつた尚見學者としては大連埠頭及び鐵道部の工務運轉貨物配車係等から三十餘名が午前九時ランチで出發甘井子に向つた、因に撫順丸に積込んだ石炭は大連埠頭に於てバンカーとして他汽船に積換へられる筈である

支那名士や富豪に強要　吳佩孚氏の軍資金名義で

最近吳佩孚氏の代表と稱する男が大連市中に入り込み支那、知名士や富豪を訪問し、吳氏再起の軍資金調達の名義で多額の金錢を強請し歩く者あるを大連署高等係井上特務が探知し搜査中のところ、何れか姿を晦まし未だその正體を現はさないが、同人のため多額の金を騙取されたもの多數あり、要視察人として引續き搜査中

福岡縣人會

大連福岡縣人會は五月二十五日午前十一時より星ヶ浦に於て春季總會を開き相生會長逝去後、空席のまゝなる新會長の選擧及副會長その他幹事の改選を行ひ正午より同海岸水族館東側に家族懇親會を催し模擬店、餘興に（博多仁和加、手踊等）氣勢を擧げるが當日は定めて盛況を呈するであらう、なほ會費は一名一圓五十錢、家族は五十錢十二歲未滿無料、申込は山縣通り福昌公司內川邊議司宛へ（電話七一七一番）

本社見學

旅順第一小學校男女生百十六名は折田訓導に引率され廿二日本社を見學した

日活現代劇臺本より　この母を見よ（九）

畸面座同人構成

下宿の表——
陰氣な雨が降つて居る。
雨にぬれた惡い道、買物から歸つて來た倭子は入口で郵便屋に出會ひ、一通の手紙を受け取つた。

婦人會館職業相談部

倭子の瞳は急に輝いた。雨の降りしきる中で、振へる手で封を切つた。

就職紹介通知書

往き來の人は誰も彼も雨傘を差し、外套で寒氣を防いでゐる、倭子は何等さうした身を守る物を着けてゐない。

それにも拘らず、天氣のいゝ恩いなぞはまるで自分に關係した事ではないやうに頭を上げ、眼を輝かして居た。

破れた襖を開き乍ら倭子は微笑んだ。

微笑みながら、部屋の閾を踏いだと云ふよりは跳越えた。

そして兩手を開いて歡呼の聲を立てゝ飛びついて來る中子を、何にも云はず強く胸に抱き締めた。

それから強く自分の唇を相手の頰に押しつけた。

私はね　ナ子ちやん仕事を得られましたのよ

涙が、嬉し涙が……

お父樣のお蔭でね　お父樣のお蔭でね

倭子はやつとそれだけ云つた。まだ云ひたかつたが口が利けなかつた。

お父樣！　ありがとう！——

中子は小さな兩手でほてつた母の頰を愛撫しながら叫んだ。

下宿の女房が階段の蔭からその樣子をのぞいて居た。

そして羨そうに壞れた鏡を持つて二階に昇つて來た。

奥樣！　鏡がなければ御不便でせうから……

倭子の今の氣持ちは全てのものを善意に解釋させた。幾何かの金を出した。

室代の中に加へて下さい

春の樣な氣持ちが、倭子と中子を驅かして行くのであつた。

久しぶりでの樂しい晩餐。

お魚だわ〳〵　あたし大好きなのよ

中子は嬉しさに躍り上つた。

倭子は實際仕事を得たのであつた。一月も待つた後、職業相談部へ十回以上も無駄足をした後、灰色の着物を着たあの女の掛員から家庭教師の口の見付かつた事を知らせて來たのだつた。

ほんの少しにしか當らないその收入の道が倭子には金鑛でも掘當てたやうな思ひをさせた。

今ゐるその小さい部屋で、これまで同樣、或ひはそれ以上諸雜費を節約する事に努めたなら、それだけの收入でも子供と二人どうにか生活の立たぬ事もなかつた。

倭子は生活する事かできるのである。

就職第一日

倭子は朗かに大氣を呼吸しつゝ大地を踏みしめて立つた【寫眞は瀧花久子、松平千鶴子】

滿日文藝

滿日柳壇 「ピクニック」

大連　木の丸
夕燒を背負つて歸るピクニック
白靴も交つて輕いピクニック
普蘭店　登志朗
ピクニック戀人と遇つて邪魔な母
旅順　泥船
水筒へ貰ひ水してピクニック
皮口　秋水
ピクニック年甲斐もなく手をつなぎ
旅順　柳月
ピクニックわらびを摘んだ手の香ひ
絶頂へ遠くピクニック疲れ果て
大連　青々庵
プロ仲間トラックで行くピクニック
ピクニック飲んで喰つたが丘の上
峯天　奇峯
ピクニック隣の子供借りて行き
ピクニック何の寫眞にも妻が居り

春季川柳大會

六月一日午前十一時より市內ラヂユーム溫泉に於て春季川柳大會を開催す、滿日柳壇投句者は奮つて來會あれ、會費金壹圓也（食事、賞品あり）
◇宿題「店、外、鳴」各四句來る廿五日締切
◇送先　大連市久方町五本社宛のこと
◇講演　若蛙、月南兩氏、席題當日發表

主催　大連川柳社
後援　滿洲日報社

旅順　松風
魔法瓶初陣をするピクニック
飛行機へ箸で差すピクニック
大連　農失
戀仲は花のない方へ足をむけ
ピクニック娘は別なあてがあり
沙河口　哥壽美
健脚だからと水筒背負はされ
ピクニック此處はお國の何百里
旅順　都一
ピクニック二〇三へ來て皆んな泣き
大連　春小寢
ピクニック馬鹿々々しいが先に立ち
ピクニックちと恥しい女連れ
沙河口　喜市
ピクニック魔法瓶へ舌を燒き
カメラマンちと腹の立つ要塞地
ピクニック踊りは近消考へる

滿日勝繼聯珠（十五）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜　第十回（その三）

先　上木　三山
中村ひさ子

▲隨意打（五號瀧花月）
△白（二十六）後「い、ろ」又は「は、に、ほ」の勝
【四段井村永治講評】

黑（十五）は失著である（十六）に引かねばならぬ。然して白に「イ」と絕對に止めさせ黑「ロ」に見せ、白「ハ」黑（十五）に見せ以下白「ニ」黑「ホ」白「ヘ」黑「ト」と運び後容易の追詰筋があつた。黑此の機を逸し甘々と白に乘ぜられたのは惜しい
▲感想　上木曰く」（十）は十二の方が面白いとは思つたが以下聯か五目攔く手が込むので休めにしたが（十一）以下定跡を引かれ一寸困つた。

夕刊 滿洲日報 五月廿二日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

海軍條約文の審議を政府愈よ法制局に命ず

樞府結局承認するものと觀て

違憲論議は斷然拒否

【東京廿二日發電】政府は對海軍關係も漸次好轉し樞府も結局ロンドン條約を承認するものと見て大體樂觀的態度を持し二十一日法制局に條約文の審議を命じたが、六月十八日歸朝の若槻主席全權より詳細說明を聽取した後直に樞府御諮詢奏請の手續を執り 夏休み（七月二十日）以前に樞府通過の運びに漕ぎつける意嚮である、而して樞府には將來國防に遺憾なからんことを望む程度の決議を附帶せしめられるやも知れぬが、政府の致命傷となる如き決議は附けまいと見てゐる、しかしながら對海軍關係が意外に惡化すれば樞府も統帥權問題に關し政府の措置を遺憾とする決議を附することになるやも知れず、かゝる場合は政府は自から 憲法干犯の罪を默認する結果とならぬやう斷然之を否認 せねばならぬのでかゝる時の對策についても豫じめ充分な下準備に努めることゝなつた

統帥權問題に關し海軍三巨頭密議

岡田參議官は調停役

【東京廿一日發電】財部海相は二十一日午後一時半臨時閣議散會後海軍省に入り直に大臣室で加藤軍令部長と第二次會見を行ひ會見中途岡田海軍大將も加はりこゝに海軍 **三巨頭の** 鼎坐密議が時餘に亘つて行はれた後海相は霞ヶ關官邸に入り山梨次官を招致して再び岡田大將と統帥權問題に關し凝議し、一方加藤軍令部長は末次々長と部長室において協議を遂げる等軍部內は極めて緊張せる空氣が漲つたが、會見の內容につき仄聞するに第一次會見において財部海相が加藤軍令部長に對し即答を避けた統帥權問題に關する態度については海相は依然明答を避けたのみならず非公式軍事參議官會合の點についても軍令部長の督促に對し海相は開催日の決定を **留保した** もの如く諸種の情報を綜合するに統帥權問題に關する財部海相の態度は閣員の一人として政府從來の方針を支持せざるを得ざる立場に在ると共に他方において軍部大臣として軍令部の統帥權擁護の主張にも共鳴せざるを得ざる地位に在るものにして海相はいづれに與するを得ざる苦境に在り、而して岡田大將はこの間の極めて機微なる關係に處して海軍內部に醜き葛藤の惹起することなきやう奔走してゐるが、結局海相の態度が如何に決定するにかゝはらず非公式軍事參議官の會合は徒らに之を遷延するを得ざる事情に在るので近くこれを開催し之に依り軍事參議官全體の意嚮を **右か左か** に明かにすることになれば財部海相も始めて軍事參議官會議の大勢に從つてその態度を決定すべく而して今日の形勢を以てすれば軍事參議官會議の大勢は軍令部長の主張を強く支持しつゝあるものゝ如くであるから軍部の擒らざる强硬主張は政府に取り俄に樂觀を許さゞるものがあると見られてゐる（寫眞上から岡田、加藤、財部三大將）

理非を糺した後態度を決定

財部海相語る

重要會見後

【東京二十二日發電】別項の如く加藤軍令部長と會見した財部海相は海相官邸で大要左の如く語つた

先程加藤軍令部長と會見した必要があれば又明日會見するかも知れない、歸朝後海軍大臣として軍縮會議の後始末に關し殘された問題は三分の二は濟ましたが三分の一は殘つてゐる樞府御諮詢は若槻全權歸國後だと思ふ統帥權問題に關しては海軍の爲め私から兎や角言ふ事は避けたい、而してこの問題につき政府對軍令部間に意見の相違があるといふが私は理非曲直を糺した上態度を決めたい、軍事參議官の非公式會合は成るべく早く開きたいと思つてゐるが未だ日時が決定する迄には至らない今度の問題を繞つて誰がどうなるかといふ人事問題は絕對秘密で何とも言へない

地方長官に酒饌下賜

有難き御言葉に一同恐懼

【東京二十二日發電】天皇陛下には目下會議のため上京中の池田北海道長官外各府縣知事に對し御慰勞の御思召に依り二十二日正午宮中において御陪食仰付られた、光榮の池田長官、牛塚東京府知事等はこの日フロックに威儀を正して正午前陸續と參內豐明殿に參入御陪席を差許された濱口首相、安達內相、一木宮相、大塚警保局長、丸山警視總監等七十三名御席を拜受、正午天皇陛下には陸軍櫟式御通常禮裝を召され諸員最敬禮中に朝香宮鳩彥王殿下扈從、鈴木侍從長以下供奉豐明殿に出御一同に對し酒饌を賜はり御陪食仰付られ終つて千種間にて畏くも打寬ろがせられ賜茶の裡に種々御下問あり、地方長官一同有難き御言葉に恐懼し午後三時近く退下した

研究會の說明要求拒絕

【東京二十二日發電】貴族院研究會政務審査部は軍縮條約に絡む各種問題につき濱口首相が滿足な說明を與へてゐないため財部海相の

財部海相東郷元帥と會見

【東京廿二日發電】財部海相は廿一日午後加藤軍令部長、岡田參議官と會見後午後五時麴町の自邸に東郷元帥を訪問して軍縮問題、統帥權問題について會談した

大角司令長官

財部海相に進言

【東京二十二日發電】橫須賀鎭守府司令長官大角岑生中將は軍部對政府の重大關係に鑑み二十一日午後上京海軍省に財部海相と會見所見を進言し更に午後六時より加藤軍令部長を私邸に訪ひ一時間餘に亘る重要協議した

盜犯防止法

六月十一日實施

【東京二十二日發電】特別議會を通過した盜犯等防止及處分に關する法律は二十二日の官報を以て公布されたが、實施は二十日後の六月十一日となる

地方長官會議

【東京二十二日發電】二十二日の地方長官會議第三日は前日に引續き內務省に開會安達內相より失業對策と國產品愛用に關し訓示した【寫眞は廿日第一日正午首相の午餐會後散步に階段を降りる閣僚並びに地方長官連】

支那側の要求をロシヤ側一蹴す

東鐵の電信權交渉

東鐵電信、電話の管理權については露支交渉を開始してゐたが、チニソフ東鐵ロシヤ側代表の回答は大要左の如くであると

第一條 支那側の要求する東鐵取扱の商業電報は四月十八日の理事會決議に基き東鐵で收發しても中國電報當局に交付し支那の當局が辦理し東鐵とソウエート鐵道間の交換公務電報を支那電報局に同樣交付せよとの提案は討議することが困難でから東鐵とウスリー鐵路使用公務電報の規程により處理する、故に東鐵と支那電報當局との間に附議せず、支那側提案第一條を左の如く改訂する

凡そ中國特區からソウエートへの往復商業電報は東鐵に受發したものに論無く或は東支から發信したものも私信電に係るものは支那領內にありては支那電政當局が處理する

第二條 電信機具其他一切の附屬品買收は本年一月十八日の理事會の議決案にその原則に關し未だ明記されず將來本路の電線或は其他の鐵道事務設備は支那電政當局に移交し管理に歸せしむ

但し買收價格其他の提案は本會議に附議すべからざるものなれば支那側提案細目二項は削除す

第三條 東鐵の電信檢閱權は露支兩國間における國際電報協約の一に該當し管理局長の職權外なれば削除す

第四條 東鐵及支那電信局の料金を統一することは理事會の決議により普通一オンス二十二哥、乃至六十六哥を徵收し東支と支那電政局とにより專門委員會を組織し分配案を決定する

第五條 中國電政當局とソウエート郵傳委員會との電報取扱に關する業務の協定は管理局長の職權外なれば原案は削除す

第六條 東支鐵道沿線一帶大驛における往復の私報及び一切の國際電報は支那電政當局が局を設けて辦理し、小驛における往復の私電は中國電政當局から委託し東鐵が代辦す、その委託驛は支那電政が規定を作り通知する

第七條 電線使用料金は專門委員により決定

第八條 東支鐵道が代辦した特別區間の商電はソウエート領事を通過せぬものは國際電報料を徵收し支那電政當局の規程により東支代收を通知す、電信使用料は委員會が之を規定す

第九條 收入料金の決算は翌月十五日前に報告す

第十條 本案は四月十八日の理事會決議により東支の取扱電報は中國の電政當局の隨時檢閱に應じられない

とあり支那電政委員の提案は理事會の決議を補足したに止まり一歩の進展も見せず僅かに東鐵取扱の商電、私電と料金を統一したのみに絡り全く根本からの骨拔案に訂正され支那側の眼目であつた管理權は一蹴された形である【ハルビン特信】

南北兩軍の決戰は六月上旬となろう

考城、蘭封方面にて

【南京特電二十二日發】中央軍は隴海、京漢兩方面から進擊しつゝあるが、專門家の觀る所では京漢線の進軍は馮軍が牽制し開封の西考城、蘭封方面に中央の主力と山西軍主力との戰鬪が行はれる、この主力の戰鬪は六月初旬であらう南北の勝敗この一戰で大體決定するであらうと

津浦線を中斷か

山東方面の北軍作戰

【北平特電二十一日發】北軍は十四日馬牧集を棄て十八日遂に歸德を南方軍によつて奪取されたことは事實であるが、しかも未だ主力戰ではなく、南方としては防戰、攻戰共に歸德を占領せねばならぬ立場にあり、孫殿英の雜色軍が追擊の犧牲となつたもので、未だ山西の主力は開封、蘭封、野雞岡に在り、兩軍の隴海線における主力決戰は蘭封のあたりで行はれるものと見られてゐる、北軍の作戰として傳へられてゐる所に據ると、先づ隴海線にて雜色軍を先頭として中央軍の精銳を疲勞させ、その後主力を向けてこれを壓倒しやうといふにあり、蘭封においては必らず、これを喰ひとめ追擊に十分見込みありといはれてゐる、又石友三軍をして極力、濟寧、滋陽を奪取せしめ津浦線を中斷し、山東を反蔣軍の手に入れ、一片蚌埠を衝いて南方主力の退路を斷つと云ふ作戰であると

南京政府は戰捷氣分

【南京廿一日發電】一昨日前線より歸來した蔣介石氏は今朝胡漢民譚延闓氏等中央要人に宛 中央軍は二十日確實に歸德を占領し隴海線方面の第一次總攻擊は大成功裡に一段落を告げたから廿二日歸京する 旨打電し來り國民政府部內は戰捷氣分に滿ちてゐる

大沽封鎖決行か

東北艦隊副官の赴青

南京政府は大沽封鎖を行ひ山西軍に一泡吹かせんと目下廟島列島長山列島に屯する東北艦隊抱き込みに躍氣となつてゐることは屢報の如くであるが、東北艦隊司令沈鴻烈氏副官臧晙志外三名は廿一日夜來連即日旅順を訪問し廿二日出帆天津丸で青島へ赴いたが赴青の理由に關しては口を緘して語らなかつたが新聞紙が報ずる所は萬更嘘でもないとの意味をほのめかしてゐた仄聞するところによると、張學良氏は艦の修繕費に藉口して二百萬元を受取りこれに代るに人民保護の名によつて大沽封鎖に當る事となる模樣である

反英運動の幹部逮捕

【ボンベイ廿一日發電】本日三百名の警官隊は當地における印度國民協議會場を襲擊し國民協議會の提唱者にして議長たるフナリマン氏、副議長にして國民協議會々報主筆たるチョクシー博士を逮捕した、群衆は警官隊に向つて投石し幹部一行をトラックに乘せ護送せんとするのを妨害したが警官側は棍棒を振つて群衆を解散させた、この騷ぎの爲めに十數名の負傷者を出した、なほ九十五名の義勇隊はワダラ鹽倉庫を襲擊したが官憲の爲め全部逮捕された

印度軍隊出動

義勇隊三百負傷

【ボムベー二十一日發電】ダラサナの暴動鎭壓のためボムベイより印度軍隊四百名が同地に派遣されたが、廿一日朝義勇隊と對戰し義勇隊側は三百三十名の負傷者を出した

ガ氏令息逮捕

【ボンベイ二十一日發電】今朝ダラサナ村製鹽所の襲擊を企てた約二千名の義勇隊と警官隊との間に衝突起り多數の負傷者を出し且つガンヂー氏令息マニラル氏始めその他義勇隊の幹部が逮捕されたが、それよりやゝ遲れてダラサナ村にて反英運動の指導者女流詩人ナイヅ女史も逮捕された

モ氏の辭職理由

【ロンドン二十一日發電】辭職したランカスター公領尚書サー、オスワルド、モスレー氏は辭職の理由につき左の如く述べた

自分の辭職は政府の失業對策と自分の意見と全然相容れぬためと政府の失業救濟委員會が現下の事態救濟の方法として自分の提出した二ツの選擇案を無下に拒絕したゝめである、今後裏面に在つて一黨員として勞働黨に忠誠を盡す考へであるが、前回の總選擧に國民の前に誓約した黨の政綱と合致すると自己の信ずる政策の採用を黨に要求する權利を保留するものである

軍縮協定は成功

あれだけの保有量を得たのは我國民的背景の力だ

齋藤情報部長語る

財部全權と共に歸朝の途についた外務省情報部長齋藤博氏は全權より一足遲れ滿鐵仙石總裁を初め滿鐵、關東廳要路と會見し廿二日出帆うらる丸にて內地へ歸還したが船中聊を通じると

大體は哈爾賓で話した幾度もいふ事だが會議は國民全體の信賴通りなれば成功だと思ふ、英米にしたところで今次の會議で日本が保有量をあれまで主張し得た事を全く國民的背景の力だといつてゐる、草刈少佐の事件も詳細は判らぬが何等根據のあつたわけでなく、全く一個人の行爲であらうと思ふ、故小村壽太郎侯のポーツマス條約に對しても當時は世論喧ましいものがあつたが時日が經て冷靜になると成功だと云はれるやうなものさ すぐ歸るつもりだつたのが色々會ひたい人達も居つたので長引いてしまつた

と語つた齋藤氏は恰度同船した民政黨代議士鵜澤宇八氏と談笑し乍ら定刻出帆した

英國の建艦計畫

海相下院にて發表

【ロンドン廿一日發電】イギリス海相アレキサンダー氏は廿一日下院において政府の建艦計畫を說明し「政府は三隻の潛水艦建造開始を撤案する」旨を發表したが右は一艦に建造一時中止となつてゐたものである、海相は尙「既に六時巡洋艦一隻驅逐艦二隻の建造着手命令を發したが更に驅逐嚮導艦一隻驅逐艦二隻の建造入札は目下考慮中であると發表した

東北省の赤化取締嚴重

【奉天廿二日發電】東北省における赤化宣傳防止のため當局は血眼となつてゐるが東北政務委員會では左の如き處罰條項を附し各地の官憲に通牒を發したと

一、赤化宣傳主謀者は無期懲役に處す

二、事情を知りながら赤化宣傳に參加せるものは懲役十ヶ年に處す

三、宣傳員を保護し又は援助したるものは一年以上十ヶ年以下の懲役に處す

張學良氏誕生祝

【奉天特電二十二日發】六月三日は張學良氏の誕生日に當るが張氏は一切の祝賀を謝絕したゞ北陵の別莊において少數の近親側近者と小宴を催すに止めると

ラ公領尚書辭任

【ロンドン二十一日發電】ランカスター公領尚書サー、オスワルド・モスレー氏は失業救濟政策に關し勞働黨政府と意見合はず二十一日遂に辭表を提出した

浦鹽に暴動起る

沿黑龍州の農民坑夫等も不穩

哈市ロシヤ人重大視

【ハルビン特電二十二日發】浦鹽に十九日暴動勃發しロシヤ官憲ゲ、ペ、ウと衝突し沿黑龍州もその結果如何で危險だと傳へられスウチヤン、スパスク、イマン地方にも赤農民と石炭坑夫がストライキを起し官憲と揉み合ひ多數の重輕傷者を出したといひ、當地ロシヤ人間では重大視してゐるが、これは露支正式會議を控へて支那側が宣傳してゐるのだとの觀方と一つはスターリンの產業五ケ年計畫のため政治經濟に最左翼の急角度を來しレーニン主義への逆轉に堪へす農民が叛旗を擧げ約三千のパルチザンが蜂起し各村落と呼應して暴動を起したのであらうとの說があるが眞相判明せず

辭令（廿二日附）

第二遣外艦隊司令官 海軍少將 伊地知淸弘
海軍軍令部出仕を命ず
海軍少將 津田靜枝
第二遣外艦隊司令官に任ず

人事

▲北代眞幸氏（鎭江海關長）暇乞のため廿二日市內各方面歷訪、廿二日出帆天津丸にて任地へ
▲岸本廣吉氏（大連海關長）新任挨拶のため同上
▲江野澤恒氏（新聞記者）二十二日滿連絡下り機にて平壤より來連
▲志岐信太郎氏（志岐組主）同上京城より
▲水口博司氏（會社員）同より機にて大阪へ
▲櫻井學氏（遞信局長）二十一日夜本溪湖へ
▲米內山震作氏（關東廳財務課次席）二十二日旅大往復
▲石本憲治氏（滿鐵情報課長）沿線出張中の所廿二日朝歸任
▲前川良三氏（大連新聞取締役）廿二日出帆のうらる丸にて內地へ
▲中田重治氏（ホーリネスト教會日本總監督）同上
▲鵜澤宇八氏（民政黨代議士）同上
▲齋藤博氏（外務省情報部長）同上
▲篠崎嘉郎氏（大連商議書記長）同上
▲原田孝七氏（奉天取引信託專務）同上
▲川邊惣作氏（旅順署警部）同上青島へ
▲三浦和一氏（駐奉天副領事）同上上海へ
▲澎恭克氏（コロンバイル王國代表）部下五名と共に蒙藏會議出席のため同上南京へ

大觀小觀

低氣壓の中心は、依然、軍令部を離れず、統帥權問題を繞つて暗澹たりといふところ。

◇

海軍將星、右往左往、雲間を飛ぶこと激し。

◇

樂觀、悲觀、時に宣傳、逆宣傳あり、暗雲、低迷して容易に去らんとせず。

◇

そのうち、來月十八日には若槻全權の歸朝あるべく、いづれとも問題の解決は、それまで持ち越し

◇

ただ問題を研究するはよし、これを政爭の具としては困る。

◇

南北の主力戰、漸く展開しつゝあり、勝敗の決、果して如何。

◇

南が勝つも、北が勝つも、ただ軍閥の抗爭のみ。國民革命、國民生活を去ること遠きは、支那のため長嘆息の外なし。

天氣豫報

廿三日（北西の風）晴
滿潮 午前六時五十五分 午後六時五十五分
干潮 午前零時三十分 午後零時四十分

鴨綠江をお渡り 義州の戰蹟御視察

彈丸の跡今尚殘る統軍亭お成り

再び安東へ御歸還

【安東特電二十二日發】國境の御一夜は明けて風薫る今二十二日、秩父宮殿下には國境を越えさせられて義州に成らせられたが、御出發に先だち殿下には領事館にて朝鮮側の上原二十師團長、大村鐵道局長、森岡警務局長、外山憲兵司令官、中村參謀長、石川平北知事、井上稅關長 永島新義州法院檢事正に單獨謁見、また新義州側有資格者三十五名に列立拜謁を賜つた、午前八時

殿下には 自動車に召されて領事館を御發、鴨綠江鐵橋を渡らせられ新義州を御通過、朝鮮側官民、鮮人兒童等の奉迎裡に約六里の義州街道を朝鮮の風物を賞でさせられつゝ義州の支那と趣きを異にせる城門に入らせられ、鴨綠江を眼下に見下す舊城に立ち、風光と史蹟に富んだ朝鮮風の今なほ彈丸の跡殘る統軍亭に九時十分成らせられた、こゝは日露の役に我が第一軍の砲兵陣地となり對岸の

九連城に 露兵が據つて頑强に抵抗した地である、殿下にははるか下流の對岸に九連城を眺めさせられつゝ鴨綠江を御俯瞰、十六ミリを御手にされて御撮影、日露役に參加した野砲二十六聯隊長杉生隊長の「鴨綠江の戰鬪」および上原師團長の「鴨綠江岸の守備」の講話を御聽取、御晝餐後再び自動車にて新義州を經て鐵橋を渡らせられ安東に御歸還、安東側鐵橋の江岸に立たせられ午後零時二十分より東洋一の

大鐵橋が 十字に開く樣を大村鐵道局長の御說明にて御興深げに眺めさせられ、又附近の江岸に着いた名物の筏を御覽あつて同一時前領事館に御歸還遊ばされた

仙石滿鐵總裁 けさ安東へ向ふ

【奉天特電二十二日發】秩父宮殿下を安東まで御見送りの途、二十一日來奉した仙石滿鐵總裁は二十二日午前九時發列車で安東に向つた、尚總裁は二十三日十三時五十分歸奉の豫定である

五品疑獄の豫審終結し 原田耕一 田邊三槌 兩氏愈よ公判へ

けふそれぐ決定書送達さる

暴露されたその亂脈

昭和四年末大連財界に所謂五品疑獄として一大ショックを與へた五品前理事長原田耕一、商品信託專務田邊三槌兩氏にかゝる業務上横領事件はその後大連地方法院川畑豫審判官の手で審理中であつたが、三ケ月目の二十二日漸く豫審終結、公判に廻されると同時に、各被告に對し豫審決定書が送達された、決定書は頗る長文のもので これを要約すれば左の如く當時の五品取引所の亂脈極まる營業振りが遺憾なく暴露されてゐる

決定

大連市博文町十二番地 元株式會社大連株式商品取引所理事長 原田耕一(五二)

大連市水仙町四十四番地 元大連商品信託株式會社專務取締役 田邊三槌(五九)

右被告人兩名に對する業務上横領被告事件に付豫審を遂げ決定すること左の如くである

主文

本件を關東廳地方法院公判に付す

原田は情を知りつゝ 田邊の横領を默認

假拂損失金七萬四千圓の穴埋めに

理由

第一 被告人原田耕一は大正十二年頃より大連商品信託株式會社の專務取締役たりしが、昭和二年三月頃大連株式商品取引所の理事長に轉任し昭和五年一月廿五日まで就職し、相被告人田邊三槌は大正十二年頃より右商品の支配人たりしが昭和二年三月ごろ被告人耕一が五品取引所理事長に轉任するや、其後を追ふて商品信託會社の專務取締役に就任昭和五年二月十日迄就職し何れも其職務上所屬會社の現金及有價證券等の保管事務に從事し居りたるところ、昭和二年三月ごろ商品信託に於て其の資本金三百萬圓を金一百萬圓に

減資 した直後にして拂込資本金二十五萬圓と公稱すれどそのうち十萬餘圓の固定せるものあるのみならず 錢金の內金七萬四千圓は被告人耕一時代の假拂損失金ありし爲め實資金は僅々六、七萬圓に過ぎざる狀態にあつて資金の缺乏に其極に達してゐたので、茲に於てか被告人兩名は相談の結果、前記七萬四千圓を補塡せんがため商品信託に於ては右金額を五品取引所に假拂付名義にて整理し、五品取引所に於ては之が代償として金十萬圓を

商品 に融通するとし預入名義で同額を支出し、共に利息を附して昭和二年五月廿八日より之が實行を爲しつゝあつた、一方態不振の五品取引所では傳統的希望たる錢鈔合併を企畫し五品株の市價を錢鈔株のそれより以上に保持すべく盛んに投機を行ふと同時に東京、大連兩市場に於ても五品株の釣上げに策動し、被告人三槌に其情を告げ之が資金は爲に五品より商品信託に融通し來りたる預入名義の金額を增加し、其金額と共に更に五品所有の有價證券を擔保に供し正隆銀行及び滿洲銀行等より資金の借入を爲しこれを以て充當せんと企て被告兩名は

共謀 して

一、昭和三年十二月三日より四年十二月九日までの間前後二十二回に亘り被告人耕一は五品取引所內に於て所有の錢鈔株一萬六千九百九十二株、價額約三十九萬九千七十二圓及び滿興株一萬五千株、價額約二十三萬八千圓を被告三槌に交付して横領し、三槌は之を正隆、滿銀兩行に擔保として提供、以つて會員の借入前記原田の株式上場の損失に充當した後、其頃錢鈔四千六百株、滿興株八千株を受戾して五品取引所に返還した

二、昭和二年五月廿八日より四年十二月十一日までの間前後二十五回に亘り被告人耕一は五品取引所內にて所有の現金七十五萬五千圓を商品信託に預入名義にて被告人三槌に交付横領し、三槌は之を受取つて耕一の前記同樣の支拂に充當した後、其頃金六十九萬圓を五品に返還し

三、昭和に年十一月廿八日より四年十月十五日までの間前後十一回に亘り三槌は耕一の資金缺乏した際其業務上保管せる商品信託所有の現金十二萬八百四十三圓(正隆、滿銀の預金)を耕一のため引出し、之を前記同樣の償務に充當して横領し、耕一は其情を知りつゝ之を默認其頃全部之を返還した

錢鈔合併の 運動費や謝禮に

社金を引出し費消す

第二 被告人原田耕一は五品取引所の理事長として現金及有價證券等を其業務上保管中單獨し

一、昭和三年十月二十六日より翌年七月十三日までの間前後七回に亘り東京株式市場に於て大澤龍次郎株式店に委任し五品株の上場を爲すに當り、其資金として五品取引所所有の現金十五萬圓を五品東京出張所主任小今井元喜に送金、同人の手を經て大澤龍次郎に交付して横領した後其頃全部之が返還を爲し

二、昭和二年十月十五日より三年七月十二日迄の間前後三回に亘り五品所有の東株五百株(價額九萬三千五百六十二圓)を五品東京出張所に保管中、妄りにこれを東京株式市場に於ける五品株賣買の證據金代用として大澤龍次郎に交付して横領し、其後昭和四年十月初頃缺損のため賣却處分せられ其充當殘金三千六百一圓四錢は之を五品取引所に返還し

三、昭和三年二月中旬ごろ當時廣島縣に於て衆議院選擧に立候補せる門田新松が選擧運動員に窮したる結果、當時選擧應援のため廣島へ滯在中の白川友一の手を經て被告人に對し運動費の融通方を懇請あるや、被告人は之を承諾し同月十七日五品所有の正隆、滿銀兩行の當座預金各一萬圓づゝ合計二萬圓を引出して同日之を岡山縣滯在中の白川友一宛送金横領し、其後同年十二月頃元金のみは之を返還を受けた

四、昭和三年九月廿八、廿九の兩日に四回に亘り五品所有の現金四千九百九十九圓十五錢を東京出張中送金せしめて之を費消して横領

五、更らに同年十二月七日五品取引所內に於て五品所有の現金五千圓を引出し、內金二千圓を當時五品取引所の建築請負監督者たる平井大次郎に對して期限內に於ける請負落成の謝禮として支拂ひ、內金六百圓を右建築請負人たる長谷川組に賞與として支拂ひ、殘金二千四百圓は其頃市內に於て費消し何れも横領した

六、昭和四年四月十五日五品所有の現金二千圓を妄りに引出し、うち一千圓は大連新聞社長寶性確成に對し、當時五品錢鈔合併問題に付き五品側に有利なる態度を執つて異れるやう依賴した謝禮として交付し殘額一千圓は横領費消した

七、同年六月十八日五品所有の現金一千圓を妄りに引出し錢鈔との合併運動費に費消横領し

八、同年七月八日臼井能吉に對し五品株の上場を委託するに當り其證據金代用として五品所有の錢鈔株一千株(價額二萬四千圓)を臼井に交付して横領

九、同年七月十三日前後二回に亘り五品所有の現金四千五百圓を妄りに引出し錢鈔合併の運動費に費消横領

十、同年十月八日豫ねて五品取引所が正隆銀行に對して有する十個年据置金二十五萬圓の預金證書を擅 引出して横領、之を以つて被告人田邊三槌をして正隆に擔保に供せしめてゐた前記第一の末項記載の錢鈔及滿興株の受戾を爲さしめたるものである

豫審免訴言渡し

被告人原田耕一及び田邊三槌の前記行爲は各犯意繼續にかゝるもので之を法律に照すに兩名の所爲は刑法二百五十三條、第二百五十二條、第六十五條、第五十五條に該當し同法第二百五十三條所定の刑期範圍內に於て處斷すべきものなるを以つて、刑事訴訟法第三百十二條に依り公判に附されたものである、而して原田耕一が昭和二年九月十四日二千圓を假拂の形式により五品より受取り元五品理事たりし森上高明に贈與し會社帳簿上は自己の交際費として決濟し更に同四年二月六日二百圓を自己の交際費名義で受取り東京出張員加藤某の退職金として贈與、何れも之を横領したこと及び昭和二年十月三十一日五百圓と昭和四年三月十四日千圓を取引所交際費名義を以て引出し費消横領したとの公訴事實と犯罪の嫌疑なきも連續犯として起訴せられたが特に豫審に於ては免訴の言ひ渡があつた

けさ旅順に乘込んだ 奉天醫大補仁軍

二十四日から旅順工大軍と對抗競技を行ふ奉天醫大軍選手百四十名は十川監督に引率され二十二日九時五分着列車にて靈陽有志及び先輩多數の出迎へを受け旅順に乘込んだ【寫眞は旅順驛に勢揃ひの一行】

日本チーム陣容

【東京二十一日發電】極東大會日本代表野球チームは今春リーグ戰の覇者慶應を中心に腰本監督により左の如く組織決定二十一日各發表された

投手 宮武(慶) 若林(法) 永井(慶出) 上野(慶) ▲捕手 岡田(慶) 伊達(早) ▲一壘手 山下(慶) ▲二壘手 田部(明) ▲三壘手 水原(慶) 森(早) ▲遊擊手 村尾(慶) ▲外野手 井川(慶) 楠見(慶) 桝(明) 佐藤(早) 土井(慶)

日本大相撲

九日目の取組

【東京二十二日發電】日本大相撲夏場所九日目の取組左の如し

駒泉 綾の浪 荒熊 若常陸
太郎山 沖つ浪 吉野山 幡瀨川
大島 常陸島 藤の里 山錦
古賀浦 寶川 眞鶴 若瀨川
綾岬 出羽岳 和歌島 信夫山
鏡岩 清水川 雷の峰 劍山
玉碇 武藏山 常陸石 新海
朝汐 玉錦 能代潟 豐國
大の里 天龍 常の花
若葉山 宮城山 錦洋

岩石落下し 三名壓死

寺兒溝の慘事

二十二日午前九時ごろ寺兒溝東方海岸埋立工事の作業場に於いて埋立用岩石採石のためダイナマイトで穴を穿ちたる八尺四方の厚さ二尺(十二噸)の岩石斷層が落下し來り作業中の寺兒溝一四番地大倉土木の苦力再相新(三五) 長泰(三二) 王樹一(二七)は下敷となり見るも悲慘な壓死を遂げた、大連署から新妻警部補檢視したが原因は自然的龜裂によるものであると

州內庭球大會 審判員決定す

各試合とも接戰を豫想

本社主催第十四回關東州內庭球大會は旣報の如く百二組の未曾有の參加チームをもつて二十五日午前八時より北公園滿鐵コートおよび露西亞町コートの四コートで擧行されるが、斯界一流選手は勿論金州旅順等よりも選手馳せ參じ名實共の大會となり、接戰を豫想されて佐藤大石組(滿鐵庭球部)小寺築地組(大商俱樂部)下重上田組(中央俱樂部)川原菊地組(遞信俱樂部)沼田野口組(滿鐵庭球部)齋藤關谷組(滿鐵庭球部)下重吉丸組(中央試驗所)信太山組(遞學會)等優勝候補チームに擧げられてゐる、なほ本社は左記斯界の權威者に當日の審判を依賴することとなつた

▲審判長 渡邊通業氏▲審判員 扶間富貴氏、林勝美氏、岡島吉氏、黑澤忠治氏、川原貞夫氏、笠原謙三氏、笠原靜治氏、川上謹一郎氏、津田信遠氏、本源藏氏、芦原榮太氏、岩下敬二氏、三科五郎氏、宮田多喜男氏、樋口茂氏、杉本忠良氏

金州南山の 招魂祭

廿六日に執行

金州民政支署では來る廿六日南山において日露戰役戰死者の招魂祭を執行するが、當日は一般の參拜者の便宜を計り滿鐵にては大連、旅順および瓦房店以南の各驛から金州まで二、三等に限り往復二割引(遺族五割)をなし、滿電バスにても割引乘車券を發賣すると

マンホール中に 大男の慘死體

頭部を眞ツ二つに割られた

加害者は二名らしい

廿二日午前八時ごろ市內日新街廿四番地道路中央、深さ約三メートルのマンホールの中に兩足を縛され黑の短衣、白のシャツを以て頭部を包まれ、胴體に一糸も纏はぬ鮮血にまみれた大男の慘死體あるのを掃除に赴いた土木課苦力劉維忠(二七)が發見しこの旨小崗子署に屆出でたので、同署よりは猪股司法主任刑事隊と共に現場に急行し今村檢察官事務取扱、山本警察醫立會のうへ死體檢視を行つたが被害者は廿七八歲の遊人風の男にて頭部を鈍器樣のものにて眞二ツに割られたうへ、支那帶にて首を締められたのが致命傷らしく、兇行の模樣及び五尺七寸餘の大男を同所まで運んだところより見て加害者は二名らしく、小崗子署では被害者の身元につき目下極力調査中である

極東大會 野球戰日割

決定發表さる

【東京廿一日發電】極東大會野球戰日割は廿一日左の如く決定發表された(開始時間は午後二時半)

▲二十四日、支那對比律賓▲二十五日、日本對比律賓▲二十六日、日本對支那▲二十七日(休み)▲二十八日、支那對比律賓二回戰▲二十九日、日本對支那二回戰▲三十日、日本對比律賓二回戰

長春の觀光局に 二人組拳銃强盜

賣上金を奪つて逃ぐ

【長春特電二十二日發】二十一日午後九時五十分ごろ長春日本觀光局ツウリストビユウローに强盜二名おし入り通路を裝ひて案內中、賊は突然ブローニング拳銃をもつて支那人店員に一彈を浴びせ右腕に貫通銃創を負はしめ、飛鳥の如く計算臺を飛越て會計係に拳銃を突つけて强迫し机の抽斗にあつた現金現貨一千九百十五圓を强奪して逃走した、急報により警察當局は非常召集を行ひ全市に亘つて非常線を張つたが賊は早くも逃走しまだ縛につかない

腐爛死體漂着 二十一日午後五時ごろ西埠頭海岸に日本人二十四、五歲位の男の溺死體あるを屆出により水上署より係員出張檢視したるに死後九ケ月を經過したものらしく高貴織の袷にネルの襦袢、藍色の錦紗の兵古帶を締め黑の朱子足袋を穿いてゐたが全身腐爛して何者とも判明しなかつた

樽木八郎氏夫人 大連汽船株式會社鳳城丸船長樽木八郎氏夫人久枝(四三)さんは自宅に於て病氣靜養中藥石效なく二十一日午後五時二十五分死去した、葬儀は二十三日午後三時途中葬列を廢し西本願寺に於て執行すると

定期船香港丸 廿三日午前八時半大連港外着豫定

艶色生膽秘譜（十四）

伊藤松雄作　河原緑鳥太郎畫

お庫燒打（四）

「駄目だッ……」
裏窓を細目に覗くと、そこにも御用提灯がゆらめいてゐる。
「うーむ、止むを得ん、やつつけやう」
「よし、油斷するな」
伊牟田尚平、大刀をひきぬく。
これがキッカケで、主人喜助は帳場内の行燈をフッと吹き消した。
「左近殿……」
「先生……」
「ではぬからずたのみましたぞ、後は氣づかひなく大事決行に急がれい、さ、これが今宵の血祭ぢや……」
相樂總三、いきなり土間にころかしてあつた手先の繩をきるや、
「えいッ……」
一聲の氣合に、ハッと氣づいて戸外へ逃げださうとした職人體の男、一足とびのいた處を、無言に斬る。
「うーむ……」
ガラリ戸をくれば、ドッと喚聲あげる捕手の一隊、御用提灯、一齊にふりかざして……こちらは相樂を中心に六人の武士、背中合せの圓陣つくつて、ぢり／＼と押進む
「いざとなつたらこれぢや」
左近は火藥の充ちた提籃を左手にしつかと握りしめ、右手の太刀嚴麗ゆるぎなく對手に擬しつゝ摺足で進む。
が、對手は限られて家内へ踊り入る氣配なく、
「御用……」
「御用……」
突聲のみかけてゐる。
「よし、組しやすいぞ……」
相樂は底力ある聲音で一同を勵ましました。
「安藤長島、先陣ぢや、ゆけ、つゞいて石谷、われらは伊牟田殿と殿りいたす」
「では、それがしは」
左近は額から滴りおつる熱い汗をふるひおとして訊いた。
「おみは大川端へ急ぐのぢや」
「えゝ？」
「勤めを忘るな……」
「しまつた……」
左近はこの命令にハッとした。三藏の姿がまだ見えないからである。
「あッ、三藏め何をしてゐることやら」
途端に先陣承はつて暗中へとび込んでいつた安藤長島、どッと鬨上げ來る捕手の群を一氣に白刃ひらめかしてバタ／＼と斬る。
「それッ……」
自ら雄々しくも叫んで石谷、飛龍の如く白刃ひらめかしてつゞく
……
「さ、この間だ、左近殿……」
「はッ……」
顧みればもう相樂も伊牟田も姿は見えなかつた。
「チエッ、遲れたか、が、お庫燒打の勤めはおろそかに出來ん……」
裏口の一隊も表へ廻つたらしい
窓口からヒラリとびおりた途端である。
「御用……」
いきなり暗闇からビシリ腕にこたへる十手風。
「うぬッ……」
左近は右手の大刀をふるつて空を斬つた。
「御用……」
「御用……」
足許から俄に起る聲々。
「しまつた、伏勢か……」
左手には火藥入れの提籃、右手に大刀。裏口は狹い。
表の喧騒が次第に遠のいていつたは味方が捕手を追ひ散してゐるからでもあらう。
「さア來い……」
右手の大刀を正眼につけ、ヂリ／＼と暗中を進む。
瞬間、フワリと肩先へとびついた怪物。
「げッ……」
身をすくめるとそれはどこからとび來つたか一匹の猿、双手にもつた眼つぶしの紙袋をヒヨイ／＼と對手の捕手めがけて投げかける
「おお、出來した、今宵の同志か助勢をたのむぞ」
左近は忽ち氣強くなつた。

キネマと演藝

捨丸一行の萬歳が　來月二日來連

砂川捨丸一行の來連はかねて噂されて居たが、來月二日來連、歌舞伎座にて約六日間興行する事に決定したが、同一行は約四十名の大一座で、中に最も興味を引くものは捨丸の外、新吉原藝妓の新舞踊丸一一座の曲藝、橘右近の追分け等であるが、なにしろ大阪道頓堀に於て興行する時と殆ど同一メンバーである事ゆえ來連のあかつきは相當な景氣を見せる物と豫想されて居る

高等音樂院の舞踊試演會　二十四日協和會館にて

大連高等音樂院舞踊科に催、日本コロムビア蓄音器株式會社後援の民謠童謠舞踊の家庭化を計るを目的とする舞踊試演會は來る二十四日（土曜）午後七時より社員倶樂部協和會館に於て催されるが當日のプログラムは次の如く決定した伴奏は全部コロムビアレコードによるとの事である（全部コロムビアレコードにて伴奏）
（第一部）―一、風船賣二、落葉の兵隊三、鐵びんみこし四、石の地藏さん五、箱根八里六、ふるさと七、かなりや八、夕やけ小やけ九、赤い帽十、鈴太鼓十一、村の水車十二、鳩十三、風車十四、街の小雀十五、あんよのうた十六、子守唄十七、見張番
（第二部）―一、春の行進曲二、赤い靴三、あしたは御天氣四、お山のお猿五、土人の市六、アイヌの唄七、ちんころ兵隊八、尺取虫九、一寸法師十、きんしゆく節十一、兎踊り十二、印度の王様十三、船乘の唄（振付木村三郎）

義江主演のトーキー『ふるさと』を見て　その大衆的興味と藝術價値

あの狹い不完全な大森のスタヂオで製り出された國產發聲映畫――しかも野外撮影までなした國產トーキー「ふるさと」――こう考へて見ただけでも此の發聲映畫は最初から難產の運命を背負つて居たと云はねばならない。しかも其の結果は、母子共に健全と云へよう。此の映畫の藁本は――もつと一歩つき込んで云へば此の映畫製作の動機は、云ふまでもなく「藤原義江」と云ふ人の商品價値を主體として、極めて商業政策的に試みられたものである。從つて此の條件がある以上、觀客の期待は勢ひ「藤原義江」の唄のもつ抒情的雰圍氣へ傾くに違ひない。此處にトーキー「ふるさと」の危險性はあつたのである。なぜなれば單に「其の抒情的雰圍氣」をそのまゝに享け入れる所の、所謂、高級と稱せられる觀客層、或ひは少なくとも「令女界」趣味の一團にのみ此の映畫をわけるならばともかく、映畫の全觀客層の眞ン中に飛び込んで行つて、藤原義江といふ吸引力を無視しても、猶全觀客層にアッピールするにたゐ、百パーセント、映畫觀、しかもトーキーでなくてはならないからである。此の難關をくぐつて生れた「ふるさと」を銀幕上に再生して見かつ聽いたが吾々は、此の點を第一に頭におき、藤原と云ふハンデイキヤツプを除外しても「よく出來た映畫だ」「現在の日本科學の可能範圍に於ける最上のトーキーだ」そして「面白い」映畫だと、うなづき得る程、成功した物と認め得るのである（續）

噂話

かねて噂されて居た通り浪速館ではいよ／＼來る二十三日よりマキノの二番落ちをも上映する事となり▲先づ第一番には現在帝國館に上映中の「涙」の向ふを張つて月形マキノ時代の「涙」を上映せんものと計畫中▲なんだかんだとうるさい映畫界に、一變態的な存在を示して居る吉田席の御主人、新聞に書かれた噂に驚いて某館々主に面會に行つたとのこと▲さてこの驚き方が「シマッタ」か「コレハ／＼」か、どちらかわからないさては又うるさい事▲一昨日帝國館家主の河合氏が關東廳に出頭して來てから又一つ噂がふへた▲曰く「帝國館は映畫館をよして寄席鶴花月席となる」との事▲なる程それなら或る程度の改築ですもうし經濟もてようとの事▲映畫街多事

ラヂオ

大連 JQAK（五月二十三日午後七時）
▲兒童科學講座「蝙蝠の話」神明高等女學校 前田政次郎
▲ピアノ獨奏 ポロネーズミリタリー（作品四〇ノ一）ショパン、木村三郎
▲アルト獨唱 歌劇「ラファヴォリタ」中のレオノーレの歌（おゝフェルナンドよ）ニッエッテイ 四家文子
▲ヴァイオリン獨奏 （イ）子守歌ヤーネフエルト（ロ）ペルペテユオモビーレポーム（杉山長谷夫）ピアノ伴奏（木村三郎）
▲落語「甲府ゑ」櫻川歌助
▲支那劇「連營棊」連東倶樂部々員
▲料理献立
▲天氣豫報
▲ラヂオ體操

東京 JOAK（五月廿三日午後六時廿五分）
オリンピツクの夕
▲獨唱管絃樂 獨唱内田榮一、AKオーケストラ、指揮平野主水 一、極東大會參加國々歌（イ）日本（ロ）支那（ハ）アメリカ（ニ）イギリス二、極東大會の歌獨唱
▲講演（一）日本選手の必勝を期して、第二副會長平沼亮三（二）各種競技の豫想其他、陸上（山岡愼一）水上（小野田一雄）野球庭球（清水善造）
▲獨唱と管絃樂 獨唱内田榮一、AKオーケストラ、指揮平野主水（一）箱根の山（二）マーチングスルージヨジアメリカ（三）オリンピアの勝利者（マイヤー作）
▲講演 各種豫想其の他、蹴球（竹腰重丸）籠球（藥師寺尊正）排球（多田德雄）ホッケー（佐藤武雄）拳闘（渡邊雄次郎）

特產積取競爭 幾分緩和さるか

川崎汽船會社の太平洋同盟加入で

久しく問題とされて居た川崎汽船の太平洋同盟加入は去る五月一日から愈々加盟を見たので、從來の同盟會員たる郵船、商船、ダラー、アメリカンメール、シービーエス、バーバーの六社に川崎を加へた七社から各二萬五千圓宛の現金或は公債を提供し以て內部の不正運賃競爭を防止すると共に新に日本太平洋同盟を組織し五月一日から運賃同盟を行つて居る、而して滿洲物產の對米輸出に就航する大連關係の加盟社は從來の郵船、商船、ダラーの三社に今回川崎を加へて四社となつたわけであるが、これ迄同盟外の船會社が割安の運賃になつて不當なる競爭を敢てした結果運賃市況を愈々軟化せしめてゐたのは否定し得ざる事實であり、現下の如き海運界悲況深刻なる時に當つて更に不正なる運賃競爭を演ずることは益々市況を惡化するものであるから今回の川崎汽船加盟は幾分不當競爭を緩和することゝなると共に、川崎としても運賃契約制參加商主全般の極めて廣い範圍から貨物の吸收ができるわけである、かくて當地川崎代理店たる國際運輸會社では岡崎支店長代理か須賀川商船店支長代理と同件、二十一日午後關係方面に對して加盟の旨挨拶する所があつた

毛織輸出を促勵する

日本商議總會へ出席の 篠崎書記長談

廿二日出帆のうらる丸で大連商工會議所書記長篠崎嘉郎氏は急遽東上したが目的は來る廿六、七、八三日間東京において開催さるゝ全國商工會議所會議に出席の爲で滿洲よりの出席者中庵谷忱氏は既に奉天商工會議所代表として陸路出席したので篠崎氏もこれに間に合はすべく匆々のうちに出發したもので語るところによると

「あちらの大會が終了次第直ぐ歸る、六月の四、五兩日大連において開催される全滿商工會議所聯合總會に出席しなくてはならないから急ぐよ、別にとり立てて言ふ樣な事もないが自分は主として日本內地の產業振興殊に毛織物輸出と云ふ事には目覺めてもつと努力して貰ひたいと提議する つもりでゐる、要するに最近支那人間に毛織物の需要が多く、原產地ではないが日本がこれに目をつけもつと合理的な斯業發展策を講じたら好い結果を得ると思ふ、どちらかと云ふと英米に壓倒されがちの同業の發達促進を建議するのである、次に關稅問題だがこれは奉天から提案するだらうからこれを示持するつもりでゐる、尚昭和製鋼所問題に對しても油斷なく內地の情勢を見てくるつもりである

哈爾賓の金融經濟

四月中の狀況

【承前】尚未だ市場に出現せぬが豐眼なるカバルキン商會が食用豆粉の製造に着手して居るのは大豆界多難の折柄注目に値する、因に當月當地重要特產物布度大洋相場左の如し

	一日	十五日	廿九日
小麥	一、二〇ゾル	一、二八ゾル	一、三二ゾル
	二、二七	二、二〇	二、二九
大豆	一、五一	一、五八	一、五六
豆粕	一、一九	一、一〇	一、一八
豆油	三、三〇	三、四〇	三、三一
大洋	五六、一〇	五六、六五	五六、四〇

當月輸入界は大體前月同樣の不振狀態に經過したが松花江開航期となり、建築期到來となつたから江岸向雜貨建築諸材料の荷動きを見たが、銀安特產界不況時局不安其他の影響にて從前の如き活氣なく麻袋の如きも大連內地在荷薄と原產地高とにより相場强調なりしとは云へ、出來高少く、茶砂糖の如きも市況舊年の如くならず、歐米仕入地との連結復舊捗々しからず地場金融の多難と相俟つて輸入界は無爲の狀態に彷徨し居れるものゝ如くで、小賣界は基督復活祭前後被服履物食用品其他の販賣に活躍し百萬元內外の賣上げを見た見込である、此方面亦市況充分と云ひ難し、銀鑛業の聯合により銀塊相場安定を見たる結果、哈大洋亦よく持續し、月中五十五圓六十五錢乃至五十七圓二十五錢方の變動を示したるが大體五十六圓臺を往來し對米對英關係又同樣安定を續け、歐米財界多難なるも、未だ金融市場に波動を及ぼすに至らざるものゝ如くである、當月流入資金六百五十萬圓前月と大差なく、同業者預金增減なく金融界は引續き警戒狀態に在り特筆すべきものがなかつた

春蠶掃立終る

今年は順調

大連民政署管內の春蠶種は十九、二十日の兩日間で掃立を終つたが今年は天候も順調なので桑の發芽狀態も頗る良好だとの事である。因に飼育戶數は七十戶で掃立枚數は百六十枚であると

輸組共同仕入に大汽か五割引き

尙ほ六月毎に延戾し

大連輸入組合では組合員の輸入貨物を纏めて取扱ふことにより運賃の低下を圖るべく各汽船會社と折衝中なることは屢報の通りであるが今回大連汽船との間に之に關する契約を締結するに至つた、その內容を仄聞するところによれば次の如きものと傳へられる

組合員の輸入貨物は大阪の指定運送店扱とし、航路は大連汽船の阪神、大連間(定期月三回、不定期四五回)名古屋、大連間(定期三回、不定期三四回)積に限る割引率は商品により差別あるも平均して定額の約五割引とし、この外に六ケ月毎に延戾あり、その率は慣例に從ひ秘密とし、單に會社と組合間に於て打合せ計算の上組合員に交附する即ち五割以上の特惠的割引にして組合員の營業改善上資するところ勘からず、大いに歡迎されてゐるので旺に利用されるであらう、なほ大連輸入組合の成績をみた上で各地輸入組合もこれに見習ふことになつてゐると

經濟聯盟大連側態度協議

組合問題會議所案に對し

滿洲經濟聯盟の大連側評議員は二十二日午後三時より協議會を開き最に全滿商議協議會にて決定した滿鐵消費組合問題對策案に對し如何なる態度をとるべきかにつき協議を爲すと

代行權を運合新會社へ附與

期限滿了の翌日

新設朝鮮運送會社の鐵道局直營事業其他の代行は來る五月三十一日朝鮮運合參加店組合作業部との契約期間滿了の翌六月一日より新會社に於て前記營業を代行することゝなる模樣で、右代行開始 同時に指定運送取扱人として無賃乘車證の交附及び百分の十以內の割戾等其他特權を附與される筈である

紀州柑橘の共同販賣所

切崩運動も効果薄

大連市中央卸市場に年々八、九十萬圓の蜜柑を上場し、同市場賣上年額の約三分の一を占むる紀州柑橘輸出聯合會では屢報の如く昨秋來、大連に直營の共同販賣所を設立することを目論み、大連市とも略諒解を遂げたがその後設立準備捗して近く愈々正式に設立される模樣である、この形勢を看取した大連市に於ける指定商十一名は狼狽してその中四氏が同地に赴き切崩し運動に狂奔してゐるが到底効を奏し難いものと一般に觀られてゐる、右につき一由組合事務長は語る

紀州で計畫してゐる共同販賣所はいはゞ大量商品を生產者より直接消費者に供給せんとする原始的物々交換の部類に屬するものであるから到底うまくゆかないだらうと思ふ

埠頭貨物在貨

廿五萬五千噸

大連埠頭保管貨物の十九日現在高は二十五萬五千百六十七噸で前月同日よりも一千九百九十六噸の減少である、これを各種別により列擧すれば左の如し(單位噸)

△混保大豆一〇五、四四五△大豆二五、三三九△混保豆粕二六九二九△豆粕七二二五△混保豆油三一〇△豆油二、一四六△高粱二、六九八△小豆二、九二一△包米二、四九九△吉豆二、四七〇△小麻子二、五三〇△落花生七、七九七△其他の雜穀及種子一、五一四△石油七、三〇五△其他油脂類三、三九五△麥粉二三八一△砂糖一、〇二九△金屬品原料三、六四一△金屬製品類二、六四六△銑鐵六、一三九△土及鑛石石材一、三三二△セメント一、三三九△木竹材三、〇五六△麻袋五、五二九△紙類一〇六二△其他雜品四、三五二

日本勸業證券

京城に支店設置

東京麴町區に本店を有する日本勸業銀行の姉妹會社たる日本勸業證券株式會社は勸儉貯蓄獎勵し債券の普及と小農、小商工業者に對する簡易金融の便を圖る目論見で京城に支店設置を總督府に申請中の處十九日附を以て許可となつたが當局に於ても其の設置を有望視してゐる

昨年中の—英米に於る外國起債額

前年より大激減

昨年中に諸外國が米國金融市場に於て起債した額面總額は七億六百八十萬七千弗で之を一九二八年の十四億八千七百八十六萬二千弗から見ると五割以上の激減である、又英國での起債額は五億四千百四十七萬弗で一九二八年の七億六千八百三十萬弗大戰前の數字に恢復して來た——に比較すれば、是亦三割の著減を示してゐる

◇

處で前記英國の數字はスタチストの調査で純手取金であるが、米國の統計は商務省の調査に係るもので、其の內には借替用の起債額三千二百萬弗を含んで居り、又額面價格であるから、之を引受價格に直せば結局六億七千百二十三萬八百六弗となり、英國の五億四千百四十六萬八千百五十三弗に比較して、米國の方が約一億三千萬米弗の超過と云ふことになる

◇

比起債額を國別にして見ると次表の通りである

△英國に於て起債

國別	政府	民間
歐洲	[illegible]	[illegible]
南米	[illegible]	[illegible]
東洋	[illegible]	[illegible]
アフリカ	[illegible]	[illegible]
北米	—	[illegible]
其他	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

註、東洋とあるは濠洲、ニユージーランド、印度

△米國に於て起債

國別	政府	民間
歐洲	[illegible]	[illegible]
南米	[illegible]	[illegible]
東洋	—	[illegible]
アフリカ	—	—
北米	[illegible]	[illegible]
合衆國	[illegible]	[illegible]
合計	[illegible]	[illegible]

◇

前述の如く英、米兩市場に於ける起債額が三割も、五割も減退したのは全く兩國に於ける金融の梗塞、金利昂騰に基因する、即ち一九二九年中の米國金融界を見るに投機熱沸騰したゝめに外國の公社債を顧みる者は極めて少い有樣であつたが十月、十一月の株式反動後は再び外國債券に對する投資が復活して歲末にかけて激增した、ロンドンでもニユーヨークの影響を受けて金融難に陷つたので、諸外國共に募債を手控へた、現にドイツの如きは之が爲めに同國の財政上にも、產業上にも今以て資金の缺乏に困つてゐる。

◇

カナダの起債額を見ると、米國に於ては二億八千九百六十九萬三千四百弗で、前年より約一割を增し、又英國でも六千七百七十五萬六千二百二弗に達し前年度より約四割の激增を示したのは注目に値する、之に反してヨーロツパ諸國の借入金總額を見ると、米國市場に於て一億四千百九十七萬二千弗英國市場では八千七百五十四萬五千弗にして、之を前年度に比べると前者六億五千九十一萬六千弗後者一億九千十九萬五千弗を何れも減少してゐる。

◇

歐洲の內でもスエーデンの起債額は一番大きく、米國市場での借入六千四百六十七萬一千三百弗に達したが、反對にドイツは米國に於て二千九百六十二萬五千弗、英國に於て一千三百萬弗の少額に過ぎなかつた、蓋へつて南米各國の昨年度における借入金も非常に減退して居り、米國での起債額一億七千四百九十五萬二百弗で、前年度の三分一になり、又英國からでは七千五百十六萬二千四十九弗前年度の七割に過ぎなかつた。

蘇聯盟新關稅率表(一)

ソウエート聯邦の對外貿易は英露通商條約の締結によつて一進境を開き、今また露支正式會議の開催にて久しく一定の軌道をもたなかつた露支通商條約も近く締結されんとしてゐるが、ソウエート聯邦の現行關稅率はいかなる狀況にあるか、一九三〇年一月二十三日新に實施した稅率表は英、支通商條約の締結とも關係深く左に其の條項を記してみやう

一、一般輸入品稅々率

イ、輸入を許可せられたる商品

第一章 食料品

第一條 各種穀粒、大豆、豌豆、菜豆、其他一切の豆類及種子並に栽培材料……無稅

(註)種子及栽培材料の輸入は蘇聯內外國貿易人民委員會に於て蘇聯農務人民委員會と協議の上定めたる規定に據り之れを許可するものとす

第二條 麥麴糖、粕、壓搾粕、麩、乾草、麥藁、糠、粹等家畜飼料……無稅

第三條 米、麥粉、碾割麥、麥芽、馬鈴薯粉及デキストリン、レイオコ、サゴ等の如き馬鈴薯粉を以て製したるもの……價格の二〇%

第四條 野菜、果實、蜜柑の皮、レモンの皮、マンダリンの皮、オレンヂの皮、續隨子の蕾、オリーブ、各種菌(但し第九條記載の罐詰のものを除く)各種のクルミ、栗、土耳古產のイナゴマメ……價格の二〇〇%

第五條 華尼剌拉、サフラン、胡椒、小荳蔲、罌粟、ミツパクサ、オレンヂの乾果、肉荳蔲、生薑等の如き香料及藥味……價格の八〇〇%

第六條 コーヒー、コヽア、キクヂサ及コーヒー代用品(一)生コーヒー及コヽア粒……價格の五〇〇%(二)煎られたる若くは粉碎されたるコーヒー及コヽア並にキクヂサ及コーヒー代用品にして包裝の儘消費者の手に移るもの……一旺に付き一五留

第七條 茶(一)葉茶及板狀茶、但し本條第四項に示されたるものを除く……價格の一五〇%(二)煉瓦狀黑茶及同品製造原料たる黑茶にして「イ」太平洋岸諸港を經て北支國境通過のもの……價格の一〇〇%「ロ」其他の港灣及國境通過のもの……價格の一六〇%(三)煉瓦狀綠茶「イ」太平洋岸諸港並に北支國境通過のもの……價格の一四〇%「ロ」其他の港灣及國境通過のもの……價格の二二〇%(四)板狀下等綠茶にしてタチク、ツルクメンスク及ウズベク各社會主義ソウエート共和國に輸入せらるゝもの……價格の五〇%

(註)重量一籽乃至夫れ以下の包裝に依り輸入せらるゝ下等綠茶に對する關稅は右の三倍の稅率を課するものとす

第八條 甘蔗またはビート製砂糖(一)生砂糖……價格の八〇%(二)其他の砂糖……價格の一五〇%

第九條 蜂蜜、葡萄糖、糖蜜、シロップ、菓子、チョコレート、果物を原料とせる菓子、ネストレ、クフニケ、ゲルクレスの如き小兒用ボンボン、燒菓子、生姜入煎餅、ビスケツト、マツア(猶太人のパン)麥粉製オプラート、チユーインガム等、コンデンスミルク及罐詰ミルク、罐詰類一切、精製したる唐辛子、醬油其他の味付にして包裝の儘消費者に供給せらるゝもの……一旺に付一〇留

日清汽船減配

四分配當決定

【東京二十二日發通】日清汽船會社は二十一日株主總會を開き配當年四分(二分減)案を可決した

佐賀縣物產卽賣會

佐賀縣立商品陳列所長松村松平氏は同縣下物產の海外宣傳のためこの程來連、當地佐賀縣人會の後援のもとに明二十三日より二十六日まで三越樓上に於て佐賀縣物產宣傳卽賣會を開催することゝなつた陳列品は實に一萬點餘に達し、有田燒きの如きも今回は稀な低廉で賣出すと

上海爲替情報

【上海廿二日發電】一般支那人は課稅不安に金戾り賣人氣なるも銀の實勢よりにて直キ尚早く見込めば買はれ高値保合を續けるものゝ如し、銀課稅は目下輸出業者及び國民間の一部に反對あり、直に實施不可なるも支那の現狀は銀の暴落で國民の購買力減少につれ引續き內亂に輸出不振で國力の疲弊益々甚しく世界唯一の銀貨國として尚銀の下げ已まらねば國民政府は早晚何等かの對策を執らねばならぬ故、今後金高値は飛付き買ひ警戒を要すと思ふ

【第二信】今朝銀安に上放れて寄付き福興永の買に上げたるも、爲替圓大連筋磅マカリ滙豐外銀筋の買に伸び惱み寄鼻より三井、三菱爲替買ひ殊に目立つ金志豐永、大連筋好く賣り外銀の爲替賣氣を移し恒興福昌買りに急落あと安値志豐永買に戾したが戾り賣人氣旺盛志豐永の賣りは三井の利喰にして三井はその變りとして爲替を買ひたるものと觀測さる

上海標金

寄付	高値	安値	大引
五二二兩〇	五二四兩五	五一五兩五	五一七兩二

黄

◇…母國における金解禁實施以來國外流出の正貨は既に二億圓を突破しトリック的在外正貨も大半を減失し外債借替も第二國辱公債とまで稱せられそして金融資本家の外債投資を誘導し從々正貨の流出を懸念さる。

◇…多年の公私經濟の濫費と金解禁對策としての緊縮節約の具體化は急速度の財界不況を現實化し加ふるに世界的不況は益々深刻に吾財界を脅かし歐洲戰亂後のパニツク、關東震災及び昭和二年度の金融恐慌より以上に一般の不況は深刻に進展せんかの現狀にある。

◇…母國における不景氣が當地以上に深刻なるは最近內地より歸來者の異口同音に齎す觀察である、植民地なるが故にそして邦人の大半が俸給生活なるが故に可なり不景氣から緩和されてゐる在滿人は比較的惠まれた者と思はねばなるまい。

市況

今日の相場

▲五品 先限七圓四十錢
▲新株 錢鈔先三十錢安
▲綿糸 九月一五二圓三
▲綿布 氣乘薄く見送る
▲麻袋 氣配現二七錢五
▲大豆 强保合商狀大引
▲豆粕 六月限二圓三三
▲豆油 氣乘り薄見送り
▲高粱 當限六錢方低落
▲鈔票 期近六五圓四五
▲大洋 九十八圓十五錢
▲小洋 百八十一圓四〇

特產 仕手關係で高粱低落

今朝の市場は銀市の不勢を眺め三品共に概して强氣配を辿つたが、高粱當限は出廻り增加及び仕手關係で低落した、今日の油坊生產高は四萬七千枚で操業工場二十二軒である

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强保合)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	七〇九〇	七一一〇	七〇八〇	七一一〇
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
九月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百二十八車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕(强調)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二三三〇	二三三〇	二三三〇	二三二五
七月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一萬六千枚

▲豆油(保合)單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
六月限	二〇五五	二〇五五	二〇五五	二〇五五
七月限	二〇五五	二〇五五	二〇五五	二〇五五

出來高 六千箱

▲高粱(低落)單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
五月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
六月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
七月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
八月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 九十八車

▲包米 出來不申

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込)大豆(裸物)	七一三〇	七一六〇
出來高	四十車	
普通大豆	出來不申	
豆粕	二三一五	二三二〇
出來高	五萬枚	
豆油	二〇四〇	二〇四〇
出來高	一千三百箱	
高粱	四五〇〇	四五〇〇
出來高	四車	
包米	四三〇〇	四三〇〇
出來高	四車	

定期喰合高(廿二日帳入)

		前日對比(△印減)
大豆	二六四〇車	▲七〇車
高粱	二〇二一車	▲五〇車
豆粕	七六四千枚	▲二二千枚
豆油	一〇一〇百箱	—

錢鈔

◇定期取引(單位錢)

	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近二百四萬圓 遠期二百二十六萬圓

◇現物取引(單位錢)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十一時	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二時	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金十四萬四千圓 銀對洋一萬三千圓

商品 前場

▲麻袋(保合) 產地不動を入れ地場も依然として軟調を辿るので華商側全然買氣無く無味閑散裡に散會した

▲綿糸布(低落) 米棉現物三十錢高先二十錢安大阪三品前場は二十錢乃至三圓二十錢方の續落を入れたると地場銀票安に定期は二三圓方の低落をみせたが利喰物現はれ相當の手合せがあつた

◇定期

銘柄	約定期	値段	枚數
綿助	十月限	一五二六	一〇
同	同	一五二八	一〇
同	九月限	一五二三	一二〇

出來高 百五十梱

株式 內地株低落 當市も軟弱

今朝北濱寄は大林同事、大新六十錢安と小綴んだ、出來高定期八十枚現物四百枚

株

今朝東京短期の新東は昨後場低落のアトを受けて同事と寄つたが北濱は鐘紡の二圓安を筆頭に諸株共軟弱を示したので當市の內地株もこれにつれて軟調を辿り地場株も弱含み商狀を呈した▲大阪の鐘紡は引際更に二圓掃の低落で百五十圓臺に辷り新値から新値へと突込んで行く▲全く紡績界は四方八方惡材料に圍繞せられた形で値嵩を相當に低下した揚句にまたもや賣られるのだから堪つたものでない▲只新東だけは紡績安をよそに見て下溢つてゐたが流石に大勢には抗しかね昨後場から軟調を辿り出した▲諸事業株が一齊に新値を切る時代において新東のみ除外されやう筈がない結局月末へかけて玉整理と共に一と叩き出るのではあるまいかと思はれる。

豆

銀市の不勢を眺め三品共に概して强氣配に推移した▲しかし歐洲方面の買氣はなく一般に手びかへしてゐる模樣であるから目先き弱氣配と觀られてゐる▲高粱は今朝出廻りが三十七車激增し又仕手關係も手傳ひて當限六錢方の急落を示した▲奧地は依然上値を辿つてゐるし又出廻りも氣づかはれてゐるが一般に氣迷ひ狀態である▲しかし先きは一反撥ありさうなものだが▲支那の關稅自主權により大豆は附加稅を徵收され豆粕、豆油は免稅されることは既報の如くであるが▲國民政府に於ては豆粕、豆油にも附加稅を課し支那の油坊業のみにはそれに相當するだけの割戾しか又は其の他の方法をもつて保護するとの風說が出てゐる▲支那のことだからどんな横車を押すか見當がつかない——。

銀

銀輸入稅を課するとか又は課せないとかで大氣迷ひ狀態に推移してゐたが▲又行政院は財政部に對して六ケ月間ためしに三割課稅を斷行せよとの訓令を發したとか▲こうなつてみれば「なんだか、わからないのヨウー」と云ひたくなる▲地場鈔票もどうしたらよいのかサツパリ判斷がつかず氣迷つてゐたところ倫銀の八分の三安を眺め遂に低落した▲銀塊は支那、印度とも賣りで買屋は滿腹狀態であるから依然先き安であらうが▲標金が上伸すれば支那の銀價下落防止策なるものが再燃する▲かゝる混落狀態が落ち着くまで大氣迷ひを呈し相場も落ち着いて出來まい▲何しろ支那では政府のお役人樣が相場に手を出してゐるのであるから平民共は手の下しやうがあるまい。

錢安、鐘紡二圓安、鐘新一圓十錢安、東京短期東新は同事と軟弱を報じたので當市定期新東七十錢安錢鈔三十錢安、五品十錢安、新豆同事、現物五品同事、大新六十錢安、東新一三一錢安、鐘紡九十錢

前場

◇定期 銘柄 五品、新豆、錢鈔、新東、五品(寄・引) 當限 中限 先限 [illegible]

◇現物(甲部) 五品、新豆、錢鈔、新東 寄付 高値 安値 大引 [illegible]

◇現物(乙部) 銘柄 五品、商信、新豆、錢鈔、氷新 [illegible]

大新、鐘新 東新 [illegible]

◇爲替及受渡日步 [illegible]

滿鐵株(保合)

▲東短前場 滿鐵新株 三四圓九〇錢
▲大阪現物 滿鐵親株 六八圓九〇錢

後場(弱保合)

◇定期 銘柄 五品、新豆、錢鈔(寄・引) 當限 中限 [illegible]

爲替相場(廿二日)

正金(銀勘定) 日本向參着賣(銀百)、同十五日賣(同)、上海(向參着賣銀百) [illegible]

正金(金勘定) 倫敦向電信賣(圓)、信用付二月賣(同)、米國向電信賣(百圓)、同九十日拂賣(同) [illegible]

鮮銀(金勘定) 倫敦向電信買、同二ケ月買、紐育向電信買、上海向電信賣 [illegible]

定期 現物 合計 株式出來高(廿二日) 一一〇〇枚 八七〇枚 九八〇枚

市場電報(廿二日)

銀塊及爲替

倫敦銀塊、同先物、紐育銀塊、孟買銀塊、英米爲替、米日爲替、米支爲替 [illegible]

棉花

●米棉(換算不變) 現物、五月、七月、十月、十二月、一月 [illegible]

●印度 ベンゴール、ヴローチ、オムラ [illegible]

大阪株式 / 東京株式

銘柄 大株、大新、紡新、鐘新、日郵船、東新 前場寄 前場引 [illegible]

大阪期米 / 東京期米 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 神戶豆粕 / 橫濱生糸 / 印度麻袋 [illegible]

奧地市況(廿二日)

手形交換(廿二日)

錢鈔

奉天(現物・先限)、長春(現物・先限)、開原(現物・先限)、安東(鎭平銀)、哈爾賓(大洋) [illegible]

特產

▲大豆 開原、長春、公主嶺、哈爾賓 六月限、七月限、八月限 [illegible]

▲高粱 [illegible]

▲小麥 [illegible]

滿洲日報

滿日地方版

奉天

來る六月十日頃 水泳プール開き
廿五日迄に改造完成

本年も水戯しの時期が目睫に迫つて來たので滿鐵社會課ではプールの準備に取掛り目下溢水設備と不變の深さを淺く改造中であるが來る廿五日までには完成し直に入水を行ひ昨年の六月五日プール開きと少し後れ十日頃から開始される豫定である猶今年は西側入口を閉ぢ東側公園入口に改める筈で溢水設備完成の曉には全部の水が常に變り例年に比し各點に於て一新される譯である

人質拉去の馬賊
元陸軍の上尉副官

馬賊のため人質として拉去された瀋陽縣城北大路煙臺農民能㠶龍（三〇）の家族に對し十九日夜運河附近の青か赤の燈火を目標に身代金現洋の二萬元を持參すべしと脅迫狀を送り來ので瀋陽縣第二公安分局から巡警四名現場に赴き大捜査の結果その共犯張子雲を逮捕し更にその主犯者たる煙臺生れ王家義（三〇）が現場より逃走し奉天に來り松島町二番地中央旅社に潜伏中を逮捕したが嚴重取調の結果左の如くお金欲しさに馬賊の狂言を演じた事が判明した

王は元東北陸軍第四務五十三團部上尉副官で昭和二年十一月軍人をやめ原籍地瀋陽縣城此大路に歸り來り徒食中金錢に窮して遂に惡心を起し同地に居住前記能㠶龍が本年四月二日馬賊のため拉置されたことを知り之を奇貨としてその家人から金品を奪取するため張子雲と共謀して馬賊に化け四月二十八日奉天に來り千代田通五番地飲食店成泰館に王義民と詐稱して投宿本月十五日能の家族に前記脅迫狀を送り右の始末となつたもので人質として拉去された能はまだ本溪湖あたりに拘禁されてゐるらしいと

放蕩の末 狂言自殺
放蕩の末狂言のカルモチン自殺？

市内青葉町五番地無職新川治人（二〇）假名は十九日朝十一時半頃外出し同日午後三時半ごろ何處で飲んだか前後不覺に醉ひつぶれて歸宅し刀を振つて義姉の綾子（假名）に暴行する始末に綾子は之を諭したところ新川はそのまゝ家を飛出し青葉町藥種商大陽堂から睡眠に使用するのだと稱して廿五瓦入りのカルモチン一箱を買ひ求めて歸り同日午後四時頃家人の隙を見てその十瓦を嚥下した暫くして新川の様子が變になつたのを實兄が見て驚き直に藤卷醫院に入院せしめた處前記始末が判り應急手當の結果生命は取止めたが原因について聞く處によれば新川は各所で遊興し散財する世間でも不評判の放蕩兒であるが新川は自殺の意志はなかつたといふから全く狂言の自殺を企てたのではないかと云はれてゐる

町の便り

奉天駐剳隊では軍隊慰安のため廿一日午後一時から營庭に於て安東節、手品等の餘興を催した

◇

第八回春季和風會三曲演奏會は廿四日午後六時から春日小學校講堂に於て開かれる

◇

四平街日進街三丁目二十九番地安藤勇治内縁の妻中原こと（二七）は去る十三日奉天柳町大川某方に所用のためと稱して來奉したが大川方には寄らず同日は奉天滿洲旅館に一泊し大連に向つたまゝ姿を消した模様があるので目下捜査中

◇

露國ウイムスカ縣生れ住所不定行商人ガリフーリン（四八）は去る十日瀋陽より來奉し浪速通り二十三番人ミラノフ方の商品價格二百六十圓を行商のため持ち出したまゝ歸宅しないのでその筋へ捜査願ひを出した

◇

救世軍青年部總長堀少佐は五月二十四日來奉同日から三日間毎日午後七時から市内稻葉町救世軍會館に於て活動寫眞並に幻燈を映寫するが入場料大人十錢小人五錢、プログラムは世界各國に於ける救世軍社會事業の状況、米國司令官エバンゼリンブース氏來朝の光景、救世軍青年部の働き、キリストの生涯等であると

◇

來る廿四日から旅順に於て工大と花々しき對抗競技を試みる滿洲醫大選手一行三百五十名は廿一日夕奉天神社に參拜し必勝を祈願し八時半發列車で遠征の途についた猶應援團一行は廿二日夜出發の筈

人事

▲林總領事　廿一日朝安東へ
▲太田關東長官　廿一日朝過奉安東へ
▲吉田土耳其大使　廿一日朝來奉同日安奉線にて内地へ
▲中村東亞土木社長　廿一日朝安東へ
▲增田關東廳衞生課長　廿日過奉歸旅
▲立川奉天署警視　廿日歸奉
▲三谷憲兵分隊長　同上
▲小杉譜伯　廿日大連より來奉
▲孫傳芳氏　廿日北平より來奉

宮殿下に伺候し奉て
涙ぐましい國民性の發露に感激した
立川奉天警察署長代理謹話

【奉天】秩父宮殿下二度の御來奉に際し御警備の大責任を果した奉天署長事務取扱立川俊三郎氏は語る

宮殿下が奉天に御假泊中先づ何事もなく濟んだ事は何より喜しい、遠く故國を離れた奉天に於て宮殿下をお迎へし御警備申上げてゐるものは勿論在住邦人も擧つて赤誠溢れる奉迎送をなしてゐた事、殊に滿鐵保線丁場その他沿線小驛に於ても邦人は殘らず國旗を掲げ身を清めて御召列車に對し奉り遠くから頭を下げて拜禮してゐたのを見て日本人が如何に皇室に對する赤誠の觀念が充ちた美しい國民性を發揮したかを痛切に感じ涙しくもあり非常に心強く思つた、尙ほ殿下には他の學生と同樣何時も御嚴格に御活潑に在らせられた事は見るも畏多いことであつた

神冥の加護
四方田ヤマトホテル支配人

【奉天】御假泊所ヤマトホテルの四方田支配人は謹んで語る

今回始めて秩父宮殿下の御假泊を忝うして限りなき光榮と恐懼してゐます、御滯在四日間その間何事もなく重任を果した事は神護と喜んでゐます、殊に殿下にはこのヤマトホテルの部屋が非常に御氣に召し御機嫌麗しく拜されたのはホテルとして非常に光榮と思つてゐる次第であります

又御渡滿以來始めて御理髪の光榮に浴した笹野ホテル理髪主は謹んで語る

今まで宮殿下に對し奉り御理髪の光榮に浴したのは賀陽宮、閑院宮兩殿下その他御三方ですが今回の如き無上の光榮と思つてゐます、殿下には至極御平民的にわたらせられ後を少し刈つて呉れとまで仰せられました

御菓子下賜
權太氏に

【鐵嶺】秩父宮樣に拜謁して光榮と感激に滿ち溢れてゐる權太親吉氏に對し更に二十一日宮樣より御菓子の御下賜あり權太氏は恐懼措くところを知らず一家の歡びは譬ふるに物もない程である

權太氏祝賀宴
廿五日萬安にて

【鐵嶺】秩父宮殿下御來滿に際し光榮に浴せる權太親吉氏を主賓とし近親有志者相寄り來る二十五日氏の爲めに一夕祝賀の宴を張り喜びを共にしたいといふ、出席希望者は會費五圓會場は萬安であると

公司の事業一般と附屬地の事情を御説明申上た
鮫島氏謹話

【本溪湖】秩父宮殿下に御謹話申上げた煤鐵公司總辦鮫島宗平氏は謹んで語る

煤鐵公司事務所階上において殿下に御謹話申上げた内容は煤鐵公司の事業一班でありました、記念碑前では煤鐵公司工場を俯瞰して概況を申上げ滿鐵附屬地の事情に就いても大體申上げた次第でありましたがたゞ恐懼の至りであります

吾等の町を語る
哈爾賓
ニーチボと沒法子
飾窓の陳列品を例に禪説法
總督府事務官 松島親造氏談

「此の町が血のやうな赤色で染められるツて――さあ、世界がソウエートの共産主義化したならばだが、資本主義の力が強い時代ぢやあの」と松島事務官の思想側面觀から町の解剖

◇

「ものは欲しい欲しいと想ふてゐる間が花で、恰度人間は常になにものかを戀してゐるやうなものでの、其の戀が正しく、不純でないならば其の社會、其の町は健全な發達を遂げるものだナ、ソウエート聯邦と支那の交驩で成程考へりや思想的には赤くなる影響はあるだらう町の浮動した思想にはあるだらうだけれど心配することはない、支那は非常に資本主義を尊重する國なのだからの」松島さんのは定石のダメをしであるらしい

◇

「あのハルビンの銀座、キタイスカヤを歩いてみると解る、そら、多數の群衆が用事もないのに呑氣さうな顔をしてペーブメントの上にダンスをしてゐるだらう、其の多くの人間は慾の皮の脹つてゐないものはないのだ、寶石屋に洋服屋、秋林、松浦、熊澤のショーウインドに首を突き出した人間の顔面筋肉の跳躍を靜視してみるとだ、どれもこれもこの垣一重が――と云つた厚い硝子窓を透して彼等の心はウインド内のピカ〳〵光る寶石に吸ひつけられてゐるのだナ、女の多くは新調の衣裳を硝子越し視つめて自分のものゝやうに喜んでゐるのだらう、綺麗な衣裳を視てニタリと笑つてゐるぢやないか」

◇

「結局精神の慰安と滿足を求めて毎夜の如くウインド覗に散歩するのだ、そして欲しい〳〵と思ふ湧き立つ心を抹殺し自己催眠に罹つてゐるのだナ――僕だつてさうだ、あの洋服が欲しいな、欲しいなと思つて三日も四日も同じ店のウインドを視つめる、そして其の品が陳列棚に依然として控えてゐると先づ安心して其の日は歸るだが、其の時はソツトポケツトの財布に手が當つてゐるのだが、金が足らないので其のうちにと思つて、戀人でも寢かした若々しい氣持で歸るのだネ、處が、何時の間にか其の品がウインドから姿を消して誰かの手に渡つた時、棒杭に頭をガンーと毆られたやうに失望と落膽が襲ふて來る、糞！面白くもねえと云ふやうな反抗心がブツブツ頭を擡げて來るのだ、こいつが軌道を脱線すると他人のものは己のもの、己のものは己のものとコムニテツクの氣分が起るものだの」と心鏡に映つる像をしつかり攫むことが特殊地帶、國際的町の存在であると喝破

◇

「此の町はニーチボと沒法子の色彩が濃ひからの、商人でもよく其の點を呑み込むとだナ、大日本式のウインドぢやロシヤ人は滿足しない、彼等は現實生活を樂しむものだ。ウインドの中に小川があり螢が飛び柳枝檐畔の風景をバツクに、もの言はぬマネキンを立たしても彼等の心にはピントが合はない、それよりか出來るだけ彼等の心理をチヤームする實物を陳列することだよ、あれらは成るべく刺戟性を實感で行かうとしてゐるのだからナ、だからこの町の思想的潮流もそれによつてよく判るだらうと思ふ」

◇

「專賣特許の鮮人が赤くなるぞ、人間だもの色々變るだらう？テ、この町に住んでゐる者はさう過激ぢやない、露領にゐるものも生きんが爲めに宗旨變へしてゐるものも多からう、恰度硝子越しのウインドの品に心を惹かれてゐるやうなものサ」と禪門の高僧にでも接してゐるやうな、洒脱で剴切な明答ー正に涼風一味である

長春

北滿見學團殺到
毎日一組乃至二組宛

北滿見學團の殺到する時期となつたので昨今長春を通過する見學團は殆ど毎日一組乃至二組もあるが廿一日の如きは香川女子師範生徒八十名が十三時十分に釜山中學生徒百二十名が十九時三十五分鞍山中學生徒六十五名が九時三十分に長春を通過し雑沓を極めた、尙目下南滿方面見學中の長春西廣場小學校生徒五、六年生徒七十七名は二十五日歸校すると

邦人浮浪者退去處分

長春警察署高等係りは秩父宮殿下御來長に際し一定の職なき邦人浮浪者十一人を收容したが尙引續き收容し取調中であるが疑はしきものはこの際退去處分にすると

馬賊を逮捕

二十一日朝范家屯警官派出所に於て强盜嫌疑者一名を逮捕したとの報に接し本署より池田刑事急行本署に護送して取調中であるがこ奴は昨今附屬地内外を荒し廻る馬賊の一味らしいと

徴兵檢査
廿二、廿三兩日

長春に於ける本年度在留地徴兵檢査は廿二、三兩日午前八時から室町小學校で行はれる第一日は長春、范家屯、吉林、哈爾賓各領事館及び四平街警察署管内の壯丁七十名第二日は公主嶺、長春警察署管内の壯丁七十五名合計百四十五名であると

中野師講演

滿鐵社會課の招聘で渡滿した臨濟宗鎌倉圓覺寺監督中野五葉禪師は廿一日午後二時來長したので長春教化聯盟では午後七時半から滿鐵倶樂部で講演を乞ふた

鐵嶺

初年兵
六月一日到着

鐵嶺守備隊第二回の入營初年兵八十八名は來る六月一日十二時四十分着列車にて到着すると

乘馬野遊會

來る二十五日は經濟緊縮委員會の全市民龍首山野遊會につき旅團司令部岡田副官が發起人となり市民有志の乘馬外乘を試み龍首山上で解散野遊會に出席するやう計畫を樹て參加希望者を募つてゐるが計畫は午前九時旅團司令部前に集合憲兵隊馬場に於て約十分試乘出發驛北踏切を通り製糖會社を迂廻し水源地を經て柴河左岸を溯り龍首山に至る午前十時半解散の豫定乘馬は旅團で準備する服裝は隨意主なる方面へはそれ〴〵案内狀を出したが參加希望者は廿三日午後三時までに發起人に通知を乞ふと

緊縮茶話會

緊縮委員會月例の茶話會は明廿四日午後四時半より苗圃に於て開催する由今回は特に修養團大連支部理事岩井氏を聘し講演を請ふと

鞍山

公衆衞生の爲めに
懸賞で第二回蠅捕デー
二十五日から三十一日まで

鞍山警察署地方事務所では第二回懸賞附蠅取デーを二十五日より三十一日まで七日間執行すると、捕つた蠅は日本形マッチ箱一個約二百匹蠅取紙は同數附着したもの一枚を金五錢にて買取り抽籤券一枚を呈し、六月二日午後一時より消防隊に於て抽籤を行ひ買取金及び抽籤懸賞金は六月七日消防隊に於て引替するが賞金は左の通である

一等五圓一枚、二等三圓二枚、三等一圓十枚、四等五十錢三十枚五等二十錢五十枚

畜犬豫防注射
廿四日から

鞍山警察署、地方事務所では狂犬病豫防注射を左記日割により施行畜犬主は當日漏れなく接種されたく未濟の犬は野犬と見做し撲殺すると

廿四日　市内一般　消防隊
廿六日　市内一般　商務會事務所
廿七日　櫻桃園　櫻桃園事務所
廿七日　立山　立山派出所
廿八日　大孤山　大孤山派出所
廿九日　千山　千山派出所
廿九日　湯崗子　温泉會社事務所

驛員露營旅行

鞍山驛では十八、十九の兩日に亘り太田驛長始め多數の從事員が千山に露營旅行した

海軍記念日の祝賀會
實業協會會堂で

鞍山地方事務所では二十日午後二時より會議室に於て署、局長、各區長その他關係者を招集し來る二十七日海軍記念日當日正午より實業協會會堂に於て會費一圓を以て盛大なる官民合同祝賀會を開催すべく打合せ會を開いた

製鐵所見學一束

△二十一日大連伏見臺小學校來鞍
△二十二日大連朝日小學校同上
△同　朝鮮光州中學校同上
△同　大連常盤小學校同上
△二十三日金州小學校同上
△同　旅順第一中學校同上
△二十四日大連嶺前小學校同上

撫順

守備隊兵の交代
三十日と六月一日に

沿線警備の重任にあつた撫順獨立守備隊兵四十五名は滿期除隊となり三十日午後六時四十分發にて歸鄕、右と交替の入隊兵約五十名は六月一日午後二時四十五分着撫順の筈、一般の送迎を希望すと

强盜志願の男

市内永安大街二〇荻野洋行方ボーイ張某（二七）は惡友に唆かされ强盜志願で兩日前主人の留守に三階戸棚に施錠してしまつてあつた裝填したまゝの露國式廻轉七連發拳銃及び實包七發を竊取高飛びした、尙同家ではそれと相前後して十八型片側金時計一個、金鎖一個その他計時價百五十圓のものを竊取さ

電車と衝突
自動車粉碎

自動車と電車が衝突自動車は滅茶苦茶に粉碎したが運轉手その他は微傷だに負はなかつた奇蹟事件が二十一日午後三時二十三分市内西五條高松屋前十字路で突發した、本村茂夫の運轉する永安橋を午後三時十七分發の一六二號電車が大和公園に向ひ前記時刻高松屋前に差掛つた際西五條通を千金大街方面より進行し來つた撫五四號山縣要助（三八）の運轉士の自動車とが衝突したもので過失は何れにあるか目下取調べ中

常習の電線泥棒
◇…三名を逮捕す

撫順の特殊犯罪たる電ドロは近來巧妙を極めフイダー線とかケーブル線の如き金目のものばかり切斷する傾向が著るしくなつたが、二十日午後一時四十分新楊柏堡路上怪車を曳き行く三名組を誰何取調ると、山東生れ現千金寨西平康里無職李春亭（三七）同、馬登波（三三）同李玉（二五）と云ひ未逮捕五名と共謀短期間中フイダー線その他時價金八百圓のものを竊取した事を自供したが犯行の主なるもの次の如し

△本年四月十九日午前一時塔灣採砂場附近で送電用ケーブル線二百米時價二百二十圓のものを
△同五月十二日同じく塔灣で送電用フイダー線百八十米時價三百二十圓のもの外數件計八百圓のものを竊取したものである

三人組强盜

二十日午後七時四十分管外千金寨支那町八二新市街大把頭婁占元（四八）方に三人組强盜侵入家人に拳銃をつきつけ金票二百圓を强奪逃走犯人不明

煙臺坑の五十萬噸
出炭準備完成

特殊炭唯一の産地たる煙臺坑年額五十萬噸計畫の職立が今や殆どなつた、かつて瓦斯爆發の爲傷いた坑道も完全に修理され茲より約二十五萬噸、新に開鑿された夾兒山新斜坑も本年の需要期には本採掘し得る筈で双方合して前記五十萬噸の需要に應じ得る計畫である

れた

會の春季大會を催し餘興として長唄、琴曲、手踊り、寶探しなどがあつた

營口

料理屋組合慰安會

營口料理屋組合では二十日午後四時から營口座に於て藝妓、酌婦、仲居等從業者の慰安會を開きお手のものゝ手踊其他盛澤山の餘興後活動寫眞の映寫ありて十二分の慰安を得同十時頃散會したと

匪賊の殘類一名
娘々祭で逮捕さる

去月十三日花園街で突發したる匪賊事件の片割れ王殿魁（二九）は逃走後行方不明であつたが去る十七日大石橋娘々廟祭において同志を語らひ雜沓に紛れて客を裝ひ廟祭出張の販賣店に入込み矢庭に賣上金を强奪せんとしたるを店員等に取押へられ大石橋支那官憲より當地縣公安局に押送され來たがこれで當時の匪賊は全部縛に就いたわけである

僞造銀貨や變造紙幣
ご用心第一

近頃五十錢の僞造銀貨と一圓紙幣を五圓に變造したるものを行使するものが多いので授受の際充分の注意を要すと

商工會議所役員會

商工會議所では二十二日午後五時から役員會を開き大連に於ける滿洲商工會議所聯合會に出席の同副會頭關甲子郎氏の滿鐵消費組合問題に關する經過報告その他の雜件を協議

祝賀會と講演會
海軍記念日の催

地方事務所では十九日有志の參集を求め來る二十七日の海軍記念日に於ける催しに關し打合せ會を開きたるが協議の結果、市民の祝賀會と海軍將校の講演會を催すことゝしその筋に對し將校派遣の依賴電を發した

輸組出張販賣

營口輸入組合にては來る二十七、八、九の三日間西大廟の大祭に際し組合商店の景品付出張販賣を催す筈

宗祖降誕會

營口本願寺では二十一日午後一時から宗祖親鸞上人降誕會並に婦人

安東

海關襲撃問題は
近く日本側から交渉

新義州居住の一鮮人が安東支那海關吏に慘殺された爲め江岸海關派出所を襲撃せし事は既報の如くであるが、慘殺されたる鮮人は新義州彌勒洞居住張錫安（三一）と言ひ鮮人が派出所を襲ひたる事實を調べて見るに、張の親族がその死體を派出所に運んで交渉しやうとすると海關吏がこれを追ひ拂はんとしたので、親族の者達が死體を派出所の机上に載せたるに、海關吏は死體の頸に繩をつけて表にほり出して了つたので、親族の者の後より續いてゐた鮮人の群衆が「人間を犬のやうに扱ふとは不都合だ」と旣報の如く騷動を起したもので、いづれ近く眞相判明次第日本側より支那側に嚴重交渉する筈である

飼犬の狂水病豫防注射
廿六日から四日

安東警察署では狂犬または野犬の横行に鑑み滿鐵衞生係と協力し來る二十六日から二十九日まで消防隊構内に於て飼育犬の狂水病豫防注射を行ふ事となつた注射料は無料であるから愛犬家はこの際豫防注射を勵行されたいと

安東產婆會

十六日午後六時半から四番通七丁目中原產婆宅に於て五月例會を開き鈴木博士、春野醫院長、犬丸醫學士等顧問醫から助産上に關する講義を受け終つて茶話會を催した

蠅取器設備慫慂

安東署では蠅に蠅驅除デーを催し親蠅の驅除に努めたが更に蠅の根滅を期すべく管内の料理店、飲食店、旅館、理髪館等を精細に調査し蠅取器の設備を慫慂しつゝあるが、十七日までの備へ付は總數九百五十二個で一千個を突破する見込である、營業別及び個數は左の通り

料理店一九一個▲飲食店二三〇個▲飲食物販賣業者二一八個▲理髪業者五〇個

安東養鷄組合

養鷄の普及並に品種の改良等を目的とした安東養鷄組合は六道溝北二條通りに事務所を設け顧問には三井物産池上常太郎氏並に門脇勸業係長等を、組合長には柳田宗五郎氏を推しシーズンに入ると共に大々的活躍を開始したが、事業の内容は一、種鷄の供給二、雛の供給三、種卵の供給四、食用卵の供給五その他

防穀令影響薄
關東廳からの照會で
安東商議が二十日附回答

滿洲防穀令實施後の狀況調査方について本月十四日附を以て關東廳内務局長より安東商議に照會ありたるを以て商議は二十日附を以て大略左の通り回答を發した

省政府より當地海關宛防穀令實施方の命令ありしもその後露支紛爭の終息と共に右防穀令は殆んど立消えとなつて發令當時より今日迄安東としては賣買取引上についても輸出上についても殆んど何等の影響を受けざるものと認む

川上學務課員來安

安東に第三小學校又は大和校分校の新築を中止し朝日校を增築してこれに大和校の高等科を移すべく滿鐵本社に要請せるは既報の通りであるが、右增築工事その他安東に於ける學務關係事業費査定のため川上學務課員は二十日朝來安各方面の實地調査をなすところあつた、同氏の歸連報告により朝日校增築工事が決定着工せらるゝものと見られて居る

臺所道具展
廿五、六兩日

南滿瓦斯、南滿電氣兩支店並に聯合組、頭川その他輪組、商協加盟店聯合の臺所道具展覽會は來る廿五六兩日にわたり公會堂に於て開催の筈であると

撒水車增加

安東市街主要街路に對する撒水は去る十日から二臺の撒水自動車を運轉し用を辨じてゐるが、盛夏の候となれば更に十輛の小型撒水車を配置する事になつてゐると

滿洲各地の傳染病は減少

滿洲各警察署並に民政署管内に於ける本年四月までの傳染病患者は總計六百六十一名で筆頭は何んと云つても大連の百二十二名、次が撫順の百十六名、安東は第五位で三十八名となつてゐるが昨年に比較して非常に減少してゐる

四平街

功勞警官に謝意

去る三十日花園街の匪賊事件の際負傷せし德江巡査及び殊勳者隋、郭の兩巡捕に對し當地居住民より謝意を表することゝなり義金募集中のところ二十一日それ〴〵三氏に對し記念品を贈呈した

市民協會の家族會
大仕掛けに開く

四平街市民協會の家族會は四平街公園元神社跡を會場とし會員家族數百名を迎へて愈々來る六月一日華々しく開催されることゝなつた當日は辛黨のため斗樽賀莚、甘黨のため善哉・饂飩・關東煮等の模擬店を設け各自の嗜好に應じ飲み放題、食ひ放題、この外會場の背後に舞臺を設け花界の美形連が賑やかに三味や太鼓、囃し立ていろ〳〵の舞踊を大道具、大仕掛で演じ大に興を添へんといふので、各料亭ではその出し物の稽古に大童である、又一方運動部員はこの機會に健脚振りを發揮せんとてグラウンドに於て各種の運動競技を演ずべく若人達は彌が上にも血を沸かし當日の至るを期待してゐる

遼陽

海軍記念祝賀會

遼陽官民有志は恒例に依り廿七日正午から公會堂にて海軍記念祝賀會開催に付參會希望者は廿五日迄に地方事務所又は町内會迄申込まれたく會費は金五十錢である

子供相撲の土俵開き廿七日

遼陽地方事務所横の遊園地に子供相撲土俵が出來上つたので海軍記念日當日午前十時から小學兒童多數を招き土俵開きを催すべく社會係で準備中

公主嶺

公取狀況
五月中旬中の

公主嶺取引所における本月十一日より二十日に至る取引狀況は商況依然ボンヤリと中旬に入れる斯界は依然無材料ながら當限の納會を控へ大豆、高粱共利喰崩或は踏込商内に相當喰合を見せたるも商狀は無關心に過ぎ十四日納會後商況一段と不況に推移せる際大連の銀安を移して幾分强氣に現はれしが頭悶え伸び惱みの折柄支那に於ける金の輸出銀の輸入禁止を傳へたるも何等市況に反映する所なく唯高粱は現物の聢りを承け稍硬調に現はれたるも伸が鈍重各品一齊に凡化の儘越旬した本期間中の取引高は左記の如し

大洋建大豆六十五車と高粱三百車の計三百六十五車にして大豆高粱の公定相場、最高最低は

大洋豆建大

限月	最高	最低
五月十五日限	[illegible]	[illegible]
六月十五日限	[illegible]	[illegible]
七月十五日限	[illegible]	[illegible]
八月十五日限	[illegible]	[illegible]

大洋建高粱

限月	最高	最低
五月十五日限	[illegible]	[illegible]
六月十五日限	[illegible]	[illegible]
七月十五日限	[illegible]	[illegible]
八月十五日限	[illegible]	[illegible]

參謀演習團

參謀本部第三次參謀演習旅行實施現地戰術專攻のため畑少將外一行十六名は十九日十九時五十五分着の列車にて來公丸福旅館及び大和家に分宿該演習視察のため御差遣の蓮沼侍從武官は二十日十一時五十一分當驛着の北行列車にて來公丸福旅館に一泊二十一日十五時二十七分發の列車にて一行と長春に向け出發した

開原

鮮人相撲大會
六月一日に

朝鮮農村にては古來五月端午の節句に素人相撲大會を催す風習であるが、當地在住朝鮮人側では來る六月一日の端午を卜し普通學校北側の空地にて相撲大會を開き大に氣勢を擧げる由で、當日は附近農民の參加もあり、また普通學校にても應援して運動競技をなすといふから定めし盛況を呈さう

憲兵志願者
四名とも合格

去る四月二十日當憲兵隊にて試驗を施行せる開原守備隊の憲兵志願者步兵一等卒松澤三郎、藤澤稔、川合直利、貴田豐秋の四名今般憲兵採用試驗に合格し來る六月一日より向ふ四ケ月間旅順關東憲兵隊本部に於て教習を受くる事となつた

滿期除隊兵四十名

開原守備隊の滿期除隊兵渡部上等兵以下四十名は來る三十日除隊する事に決したが出發歸國の時刻は未定

開原デー打合會

二十二日午後三時地方事務所會議室に於て開原デー開催に關する打合協議會を開催

市況振興策懇談會

二十三日午後三時より地方事務所會議室に於て地方委員及實業會常議員は市況振興策につき懇談會を開催

青年團二次座談會

開原青年團では廿三日午後七時から地方事務所會議室にて第二回座談會を開催

大瀬戸氏榮轉

開原取引所大瀬戸權次郎氏は今回奉天取引所に榮轉近日中出發赴任の筈であるが、後任として大連より高野貞次氏が着任した

俳優厭世自殺

開原大街六五ノ一七暢春里内玉果班梁玉柘方抱俳優、原籍河北省安陽縣城内郭須紅（一九）が索隠しつゝあるを家人が發見二十日午前九時頃滿鐵醫院に入院せしめたるが診察の結果同日午前二時ごろ阿片を嚥下自殺を計りたるものと判明、手當の甲斐なく同日午後四時死去した原因は失戀の結果厭世したものらしい

滿鐵運動會
六月一日擧行

當地滿鐵社員の大連運動會は毎年風雨に妨げられるので本年は六月一日午前八時より公園に花々しく開催するので目下各選手は猛練習に餘念がない

瓦房店

素謠會開催
廿八日倶樂部で

瓦房店松聲會にては滿鐵社會課援助の下に來る廿八日午後四時倶樂部に於て名人梅若宗家の高弟鵜澤天野兩師範を招き素謠會を開催する、多數來聽を希望する由

ロータリー大會に使して

官憲ですら日本には無知

(下) シドニーにて 太田雅夫

五月十日 シドニーに入港ロータリアン代表數氏に出迎へられて上陸、其の中に在留邦人唯一のロータリアン三菱の高橋五郎氏の姿も見えた、濠洲政府は吾等一行のために特に稅關無檢査といふ前代未聞の特典を與へてくれる、午前十時ホテルオーストラリヤに投ず、井上總領事を始め吾等一行の濠洲訪問を機に日濠取引者間で組織された日濠協會、在濠支店長級の人達の會である互讃會、三井、三菱、正金等その他より公式の招待攻めに遭ふ、在留邦人各位の斡旋と歡待には感謝の言葉もない、殊にロータリアン高橋氏が獻身的に日濠兩者間に奔走せられた努力には實に感心した、十一日當地ロータリーのレギュラーミーテングの吾等の一行の歡迎會には家族同伴の參會者二百餘名の盛會にて席上奉天クラブよりの木魚の贈呈あり、これは彼等外國人の好奇心をそゝり質問百出應接の遑もないほどであつた

五月十八日 から二十日まで通識して行はれた大會の詳報は省略するが、大會の前後を通じ極めて好意を以て吾等は遇され全く日濠兩國のコンフアレンスの感あり、吾等一行の擧措は固より極めて愼重を念じ、非常なる成功裡に閉會を告げたことは欣快に堪へなかつた、即ち十九日目タウンホールに於けるデモンストレーションの夜には「君ケ代」の奏樂に三千の市民總起ちで吾が國歌を合唱して與れ、實に嚴肅な光景を呈した、また同夜日章旗に從ひ井上總領事の、令孃一人が和服姿にて會場中央に進みし際、日本代表岡崎氏の家族が同じく日本服裝で會場最前列に到着の際の如き何れも萬雷の如き拍手が起つた、又は濱口首相のペーパー朗讀、北島氏のグリーテング、東京クラブの日章旗捧呈式の如き等々、すべて涙多き邦人の感激は想像するに餘りあるやに思はれた、吾々一行は大會終了の當日を以て一先づ其の團體を解散し、各自自由行動を取ることゝなり地方に出掛ける者、又はニュージーランドに渡るもの又はジャバに急行する者等あり、小生は横濱の野村氏と共に

メルボルン 地方に出掛けた、濠洲政府は特に小生のために汽車、電車のパスを發行し鐵道及び地方視察に關し特別の便宜を與へられたが、唯彼等政府官吏又は實業家連中が、日本及び滿洲の事情に通曉せざるには一驚を喫した、殆どその大部分が滿洲は支那の領土なりや、ロシヤの領土なりや、將日本の領土なりやとの質問を發する有樣にて、滿鐵はロシアの鐵道か支那の鐵道かと聞く者の如きはまだ罪輕き方にて小生に向つてさへ「貴下は日本人か」など直接聞かれたには閉口した、彼等は眞に滿洲の事情には盲目同然で、社會の耳目たるべき新聞記者さへ滿鐵をロシヤの鐵道と思考せる者がある、然しながら漸次了解するに從ひ滿洲の事情を聞きに來訪する者も生じ、滿洲の農業、工業、乃至ミルク、バター等の賣込等につき問合はせに來る者等あり此の點に就ては幾分か滿洲乃至滿鐵の紹介ともなり幸ひ使命の幾分かを果すことを得た、殊に各會社に於てミスターオータは態々滿洲より代表として來訪せしことを紹介せられし際の如き、盛なる拍手を以て迎へら非常なる面目を施した

シドニー市 は人口百三十萬、支那人二千、邦人二百弱(内七十名が知識階級他は洗濯屋)土人は數十名、殆ど全部が歐米人にて日濠貿易も左程盛んではないが、吾が國は羊毛、小麥を輸入し雜貨絹物等を輸出し年々二億近くの金額に上つてゐる、今や濠洲全體を通じて羊毛の値段は半減し非常の不景氣にて、もし此の狀態が此處二、三年も續けば濠洲は破產の外あるまいと稱せられてゐる、何分三百萬平方哩に六百萬人の人口のみ故一平方哩二人の割、それが主として都市に集中し田舍に踏つて農牧に從事する者僅に百二十萬人位、一向產業的開發は遂げられず、それかとて外國の移民は絕對に嫌つてゐる故濠洲の前途は他所事ながら寒心に堪へざるものがある、殊に昨年末勞働黨が聯邦內閣を組織せし以來益々勞働者の移入を阻止するの方針を支持し、何時迄も所謂短い時間を働き高い賃銀を取ることのみ考慮し、勞銀の如き一週(四十八時間)四磅七志位各州にて異なる法律で大體の生活標準に準じたる賃銀を定め、もし故無くして解雇する場合には直ちに同盟罷業に移る等(ニューカッスルの炭坑の如き一年の罷業を繼續し、勞働政府はこれに失業手當を支給しトレード・ユニオン亦醵金してこれを應援せる如き)要するに濠洲の脅威は勞働者團體の鞏固とこれをバックとする勞働黨ではなからうか、これ等の勢力を支持せる以上地方の開發、產業の發達は到底期するに由もなく、無限の曠野は徒らに放置せられ荒廢に歸せんのみかとも考へられる、結局、濠洲には日本が參考とすべき何物もない只「然るに拘らず」濠洲各州政府は競つて鐵道、道路公共施設、水利事業等に相當の資金を投じ、其資源はこれを公債に募り、今や四苦八苦の態にて(これは地方開發の目的以外に勞働勢力擴張の具に供せらるゝ場合多きかと聞く)餘り感心は出來ぬ、滿洲邊り積極的に經營をする必要はなからうかと考へられた因みに氏は四月三日發のナイヤガラ丸にてニュージーランド、布哇經由桑港に向つた筈

特別議會觀戰記

(下)

二旬に亘る朝野の攻防戰

東京支社 一記者

議會の品位は

松田拓相に言はすれば「解散後の特別議會は何時もアンなものだ!」そのアンなもの〻怒號、叫喚、亂暴、狼藉が衆議院では當然とされて居るだけに、議會の品位と云ふことがツクぐ考へられる。立法の府である、言論の府である、「院內の辯論は自由である」とは云ふけれど、それは法律上の制裁を受けぬだけの話。若し無責任な或は常識以上の亂暴な放言をなした場合、その人は必ず政治上或は社會上の制裁を受ける。院內でたゞちに直接行動、訴へなくても、或は形式的「懲罰事犯」に附せられなくとも、然う云ふ非常識な蠻が到底無事に濟む筈はない。亂暴な放言に對して「議會の體面に關するッ」と猛り立つよりも、寧ろ自然の制裁に待つ方が、餘程効果的であり、且つ品位を保つ所以ではないか。

混亂の責任者

議會が濟むと政民兩派共直に幹事長の名を以て「議會混亂の責任」を互に反對黨になすり合つた臭いもの身知らず、世の中にこれ位滑稽な話はない。獨角力や獨喧嘩は狂人でない限り出來るものではない。相手にするから出來ゝ亂暴、相手があるから出來る橫暴だ喧嘩兩成敗、非は無論双方にある院外の第三者から見れば與黨も野黨も、共に混亂の責任者だ、その外の何者でもない。お互に責任をなすり合ふよりも、何故お互に自制し合つて、院內の風儀を矯正し暴力、混亂を根絕する方法を講じないのか。自家に歸れば紳士であり、慈父であり、鄉里に歸れば黨の選良である。先づ互に自黨內の亂暴者から擯斥してかゝればこれを消滅することは譯はない。擯斥どころか幹部自ら煽動し重用する現狀では何れも過を責める資格はない。

秩序維持運動

「理窟は然うでも人間は感情の動物だ」と所謂「議場心理」を語つて、自制の不可能を說く人が多い然しこのまゝ年中の行事の如く、院內の亂暴狼藉が繰返へさせられるとすれば折角の普選議會も「暴力政治の機關」たるに過ぎない。自ら「議會政治」を否認するものである。明かに憲政の逆轉である國民輕侮の的としての存在でしかない。一國の風敎に及ぼす影響が尠くない。事は極めて少さいやうであるが、この際院內の「秩序維持運動」が如何に必要であるかが思はれる。政界廓淸運動の一ツの要件として今後國民の注意を惹くであらう。

經濟論不徹底

金解禁の善後策と不景氣對策及び失業救濟問題が特別議會における「經濟論議」の中心であつた。これには野黨も隨分主力を盡したが何うもまだ不充分であつた。それと云ふのがその根柢に於て、具體的對案を有して居ないためである。徒らに他の缺陷のみ指摘して「揚足取り」の弊に陷り、自己の確乎たる政策を示さなかつた。殊に失業救濟に於てその感があゝ。現內閣が失業救濟に不誠意である事實は暴露しても、自分に果して何れだけの誠意あるやを疑はしめる。若し確乎たる成案があるならば、例の闇から闇へと葬り去られた「經濟決議案」を何故議會劈頭提出し、堂々政府と政策の爭ひをしなかつたか、政府の缺點のみ擧げ結論をつけやうとするからこそアンナことになる。

旗印がない!

無產黨派も、只大衆への呼びかけ許りで何等「實現の可能性ある具體案」を提示しなかつた。何うで「近くは實現出來ぬ」と云ふ諦めかは知らぬが既に「合法的議會制度」を容認する以上それでは不徹底だ。要するに與黨、野黨を問はず現在の政黨政派には、具體的政治運動の「旗印」がない。少くも往年の普選運動位の具體的「旗印」がなくてはならない。議會を「揚足取り」と「暴力混亂」の試演場たらしめて居るのも、根本原因は其處にある。

◇―新刊批評―◇

▲**山水百記**(故田山花袋著) 一小僧から身を起し苦學力行、獨學を以て明治二十二、三年頃にドーデー、ゾラを讀破して自然主義文學の急先鋒となり出世作「蒲團」を公にしてから現在まで文壇一方の雄としてあがめられ、桂園派の歌人として或は若き漢詩人として早くから名を知られてゐた故花袋は、また紀行文の雄として故桂月と並び稱せられ、日本全國はおろか滿洲にも數回訪れたことがあつた、殊にその晩年は專らこの旅行文に專心してゐたやうである、その溫顏を思はせるやうな溫みと深みを持つた文章は確かに一異彩であつた、本著は四國、中國山陰、九州、近畿、紀伊、關東奧羽、と日本本土あらゆる所の海、海岸、山、川、湖、島等の名所約九十ケ所の紀行文である悲しくも今は遺著となつた本著を、靜かな自然を樂しむ人に、そして花袋の人格を崇敬する人々に是非一讀を奬めたい(四六版四百三十頁定價一圓八十錢、東京市日本橋區本石町梅文館發行)

▲**明治大正外交秘話**(戰記名著集) 大瀧鞍馬氏の執筆、讀み易い大衆的な書振であ[illegible]「外交奇談」の中には淸の元勳李鴻章が七十五萬圓で露國に巳の節を買收されたといふ話、日露談判の隱れたる脅曲劇としての佛外相と獨帝カイゼルとの面白い駈引、かつての歐洲大戰の時米國にあつて獨逸の無名大使の如き役割を演じて辣腕を振つた怪傑リンテルンの密謀、その巨船ルシタニア號擊沈の裏に秘められた話等々、十篇、何れも興味滿點のものを載せ「東西外交秘譚」では日淸戰爭當時における日本が生んだ第一の外交官たる陸奧宗光伯の命を懸けた外交日露講和談判における小村壽太郎侯と露國の代表ウイッテ伯との駈引、その間を縫つて行く名探偵の活躍等、其他四篇の物語を載せてゐる、肩の凝りを感ぜずに面白く讀める本(四六版五百二十二頁豫約本東京神田錦町[illegible]刊行會發行)

家庭とコドモ

滿洲に於ける教育者養成機關 (中)

果して當を得てゐるか……

奉天 春仙生

師範學校の昇格では、千八百九十年に州立のアルバニイの師範學校が四年制の師範大學に昇格したのが嚆矢であつて、其後ミシガン州の州立師範學校も昇格して大學になつた。近年に至つて、師範教育向上の必要を認める輿論と、猛烈なる運動の結果、師範學校の昇格するものが甚だ多く、千九百二十六年には州立の師範大學が九十校あると報告されてゐる。

◇

對岸のカリフオルニア州の如きは、數年前州立の師範學校を全部師範大學に昇格させた。他の州には今尚多數の師範學校があるが、此等も漸次昇格することであらう。我國でも初等教育者の資格向上の必要は夙に識者の認むる所となり、師範學校を三年制の專門學校に昇格せしむべしとの叫びは既に發せられたのである。然しながら日本の財政が國民周知の狀態であり、如何とも致し難く、怨みを呑んで時機の到來を待つてゐる次第であつて、東京、廣島の兩高師の大學に昇格した事は、師範學校昇格の前提とも見られるのである。

◇

兎も角師範教育の改革は早晩起るべきであつて、中學校卒業生の入學する二部を師範學校の本體とし、修業年限を延長して、二ケ年とすべしとの意見もある。先年岡田文相が萬難を排して師範學校に專攻科を置いたのも、現代の師範教育を充分であると考へないからである。かの理想的教育を行ふ事の出來る宮內省設立の學校でも、師範學校の卒業生に、初等教育者として充分な資格があると認めてはゐない。現に學習院初等科及び女子學習院の初等科には、多數の高師卒業生が教鞭を執つてゐる。筆者が參觀した頃には、學習院初等科には技能科でない教官の中に唯一人の師範卒業の經驗を積んでゐる人がゐた丈で、他は皆高師出身であつた。高師等の附屬小學校を始めとし、現在でも高等師範の卒業生で初等教育に從事してゐるものは、相當多數にある。

上述の樣な實情であるから、日本の第一線であり、外國との關係の密接な滿洲、從つて優良な國民を造らなければならぬ滿洲に、日本で裕福無比の滿鐵が、教育者養成の爲に、唯一つの教育專門學校を設立したからとて何の不合理があらう。關東廳にせよ。滿鐵にせよ。施設創立の當時には止むを得なかつたとするも、今日に於ても尚內地の地方稅で教育した教師を無償で貰ひ受けねばならぬ理由がどこにあるであらう。ようしく自ら優良な教師を養成すべきではあるまいか。斯く言へばとて、吾人は現在の教育專門學校を謳歌するものではない。教專は其の特殊學校たる色彩を今一層濃厚にする事が肝要である。

◇

教育學、心理學、倫理學等の教育者に必要な科目を今少し力強く授けねばならぬと思ふ。或は此の方面に教授の增員を行ふ必要があるかも知れぬ。社會學も學校衞生も一通り教へて置くべきである。自然に覺えても來ようが、卒業すれば衞生の知識は早速入用であるので、大家から其の要點を教へて貰ひ、新卒業生の方がこんな點で新知識である位にして置けば、卒業後無難でよい。何といつても兒童の身體が第一に注意さるべきもので、ダルトン案などと、窓を背にして暗い所で細い文字を書かせてゐる教師の氣分が判り兼ねる

不良少年の問題

各家庭に切望す

司法次官 小原直氏談

我國にて識者の研究考慮すべき社會問題は數多くあるが、不良少年の教化保護と言ふことも亦その一つである。此の問題は獨り少年自身又は其の家庭のみの問題に止まらず、國家、社會の重大問題として考慮研究さるべきものである。歐米各國に於ても彼の世界大戰後著るしく

◇…不良少年

の數を增加したる爲識者間に國家社會の重大問題として之等不良少年發生の防止、犯罪の撲滅の唯一の策として教化、保護を加へることが研究され現にこの方法により着々と其の成績を擧げて居るが、我國に於ても大正十一年法律第二十一號を以て少年の罪を犯したる者又は罪を犯す虞のある者に對し教化保護を加へることを發布され、之等の者に教化、保護を加へる少年審判所が設置されるに至つた。然しながら此の少年審判所の數は種々なる事情に因り未だ少く其の教化、保護に因る效果を

◇…全國的に

及ぼすことの出來ぬのは甚だ遺憾であるが、早晚その數を增加し全國的に教化保護による效果の增進を圖る考へである。少年審判所は勿論審判をする所には違ひないが、不良少年の犯罪の處置については特に教化保護の精神に基き徒らに牢獄に繫ぐことをせず、先づその不良化した原因を探究して爲さるゝのである。即ち遺傳體質等の先天的原因に據るものであるか、又は家庭の缺陷、交友の不良、教養の不備

◇…活動寫眞

の感化、其他自己の境遇等の後天的即ち社會的原因に據るものであるかどうかを探究して爲さるゝのである。が此處に不良化した原因を探究して驚くことは先天的原因に據る者は比較的に少く寧ろ後天的即ち社會的原因に據る者が多いことで此の現象は誠に國家、社會上寒心に堪へぬものである。此處に於て吾人は各家庭に於ける子女の監督の上に一段の注意を翹望して止まぬ。

五月祭座談會 (四)

出席者　村岡樂童、今永茂、中澤新一、青山拾夫、石森延男

石森記

A、最後に一同が國歌を合唱したが、群衆の中に、歌ふ人は少なかつたのは遺憾だ。

E、あれにはおどろいた。どうしたんだらう。甚だしいのは、脫帽を忘れた人もあつた。

B、これはどうしても「君が代講習」をしなければいけない、このごろ東京でもやかましい問題なんだ。

D、國歌は、できるだけ精一杯にうたひたい。粗野に陷らない程度に。それが大人になると、唇も明けないで口の中でうたふ。

C、最後の萬歲はよかつたね。誠意のあふれた聲がほしい。

一同、たしかによかつた。

D、あゝした全體的一齊行動が、もつとあつていゝな。

B、野外でのピアノはいけないよ。きゝめがない。もちろんオーケストラでもいけない。これは全く失敗。どうしてもブラスでなくちやだめ。來年はブラスバンドをこしらへなくちやだめだ。

C、これは市の仕事として存在させたいものだ。

E、種目と種目とのつながりを、もつと利用しなくちやあきるよ。蓄音機をかけるとか、簡單な假裝行列をやるとか、ページエントをやるとか。

D、いゝね。あれだけの人が集まつてゐるんだから、なんかしら群衆の氣息といつたものを美しく醱酵させたいな「合唱歌」をこしらはうといひだしたことも、こゝらに意義があつたんだが。

大チャンノ モウジウガリ (109)

ハルミチ作　ジラウ畫

チムル　ガ　ザウガリ　ヲ　ジブンタチニ　マカセテクレ　ト　タノンダノデ　大チャン　ト　ヲヂサンハ　ドジンドモノ　ザウガリ　ヲ　ケンブツスルコトニ　シマシタ、ヤガテ　ドジンドモハ　ミンナ　ヒタヒ　ヲ　アツメテ　ナニカ　サウダンシタト　オモフト　ワカレワカレニ　クサムラノ　ナカヘ　カラダ　ヲ　カクシマシタ、

ドジンドモハ　マタタクウチニ　ザウ　ヲ　マルク　トリマイテ　シマヒマシタ、ヤガテ「ワーツ」ト　イフ　トキノコヱ　ガ　オコリマシタ、ソレト　イツシヨニ　クサムラノ　ナカ　カラ　サカンニ　ヤリ　ガ　ナゲラレマシタ、ヤリ　ハ　ヒユーツト　ウナリナガラ　トンデイキマス、

カメラ遍歷 沙河口淨水池の卷 (下)

附…水道の話

馬欄河、王家店、龍王塘の三水源池の中で現在使用してゐるのは馬欄河と龍王塘との二ケ所だけで自然流下による唯一の水源池である王家店の水は大部分使ひ果し餘すところ僅になつたので今は動力故障等の萬一の場合に備へるため大切に保存されてゐる。

◆　◆

王家店の水源池は海拔二百八十尺の高所にあるから沙河口淨水場まで一直線に自然流下で流れて來るが、龍王塘水源池は水面が僅に海拔九十三尺であるため電動ポンプで龍王塘の東方にある海拔三百六十二尺の太白山貯水池に一旦押し上げられる、こゝから水は自然流下で星ケ浦の背面にある龍ケ丘淨水場に到達する、こゝでパイプは二本に分れ一本は原水をそのまゝ沙河口淨水場に送り、他の一本はこゝで淨化した水を西部大連方面に供給してゐる。

◆　◆

沙河口の淨水場には王家店の水も龍王塘の水も馬欄河の水も全部集つて來て一旦沈澱池に入る、水中に含まれた挾雜物の大部分は池底に沈澱し、上澄の水は混藥室に流れ込む、こゝで石灰と硫酸礬土が加へられ上下に攪拌されながら流れて行く中に水中の不純物は化合物を形成して混藥沈澱池ですつかり沈んでしまふ、こゝまで來れば見るからに美しく澄んではゐるがまだ浮游物や多少の挾雜物が含まれてゐるのでこゝの水は更に濾過室に導かれこゝで始めて完全に淨化させる、もう飲んでもいゝ水だ、しかし、海拔僅か二十七尺しかない沙河口淨水場の水には各戶の水道栓から迸り出るだけのパワーがない、そこでこの水を電動ポンプ五臺を以て海拔二百五尺の伏見臺低區配水池に押し上げ、こゝから大連市內方面に送水される、南山麓郊外土地日の出町方面への送水は伏見臺低區配水池から更に電動ポンプで海拔三百五尺の高區配水池に押し上げられ十分パワーをつけて配水される

◆　◆

とにかく、谷間に溜つた雨水が淨化された水道の水となつて我々の家庭に供給されるまでには隨分多くの手數がかゝつてゐる、それが一噸僅か十六錢で供給されやうといふのだから安いものである、しかし安いからと言つて無駄遣ひはいけない、大雨でも降つて水源池の水が豐富になるまでは節約をしなければならぬ(寫眞說明=上は沙河口淨水場の送水ポンプ、下は混藥室)

探偵小說 **女妖**（96）

江戸川亂步作　横溝正史　伊藤幾久造畫

過去の影（二）

千家篤麿がガタリと卓子の上に置いた黒い包——それを龍三は不思議さうな顏で眺めてゐた。

「何ですね、それは……？」

「御自分で手にとつて御覽下さい。確かに覺のある筈です」

篤麿は意味ありげに龍三の顏を眺める。

龍三はさう言はれると、氣味惡さうに、卓子の上の物と、相手の顏を見較べてゐたが、やがて、そつとその黒い包を引き寄せると中を開いてみた。

と、忽ち、

「あつ！」

といふ低い叫び聲が彼の口をついて出た。見ればそれは一口の短刀である。しかも、あの春巢街の事件の折柄、死美人の胸にさゝつてゐたあの短刀ではないか。

「コ、此の短刀は……？」

龍三は何故か眞蒼になつた。

「御存知でせう。この短刀こそ、あなたの奧樣——あの春巢街で不慮の死を遂げられた奧さまの胸にさゝつてゐたものです。そして、あの事件の直前まで、この短刀はあなたの手許にあつた筈です」

篤麿のその言葉は、まるで冷たい針のやうに龍三の胸をさす。龍三はそれを耳にすると、灰のやうに顏色を失ふのだつた。

「デハ——ぢや、君は、君は、あの女を殺したのはこの俺だといふのかね？」

「さア、さうはつきり言ひ切るわけではありませんがね、何しろ、この短刀が犯行の直前まであなたのお手元にあり、そしてこの短刀で殺されたのが、あなたの以前の奧さまだといふ事を考へ合はせれば……」

「嘘だ！嘘だ！」

龍三は拳を固めて、激しく卓子を叩くと、やつきとなつて呶鳴りつける。

「俺は何も知らん。第一、あの女が生きてゐた事も、つい此間迄知らなかつたくらゐなのだ」

「さう言ふ逃げ口上は通りませんよ。警察でもあなたに幾分疑ひをかけてゐる。何しろ兇器が、犯行の直前まであなたの手許にあつた事が分つてゐるのですからね。然し、その動機——犯罪の動機といふものが分らないので、今以上、あなたに對する疑ひを深める心配はありません。しかし、しかしですよ。若し、あの女がかつてあなたの奧さんであつた——いや、現在でも法律上、あの女が立派にあなたの奧さまであるといふ事が分れば、その結果はどうなると思ひますか」

「然し、然し——俺は何も知らん。あの女が生きてゐたなんて、そして春巢街なんかに住んでゐたなんて、俺は夢にも知らなんだのだ」

「然し、さうは警察では考へますまいよ」

千家篤麿は、冷たい、嘲るやうな調子で言ふのだつた。

「一體、あの女が何んの爲に、再び巴里へ歸つて來たと思ひます。言ふまでもなく古い、結婚證書を種に、もう一度、あなたの奧さんに直らうといふ肚だつたのですよ。だからこそ、安藤婆あさんにも、近いうちにパリー隨一の大金持ちと結婚すると吹聽したのです。それ位の考へがあつた彼女が、パリーへついてから二ケ月もの間、あなたに一言の挨拶もなかつたとは決して警察では思ひません。必ず歸つて來たことをあなたに通知し、そして、もう一度結婚し直す事をあなたに迫つたらうと考へるのが至當でせう。さう考へて來ると、總ての辻褄が合ひます」

「一體君は誰だ！何者だ！」

突然龍三は立上ると大聲で叫んだ。

「假面をとれ！假面を！俺は知つてる。俺は知つてるぞ、君が何者であるかを！君だ……君だ……」

さう言ひかけたが、そのまゝ龍三はよろ〱とよろめいて、椅子の上にバツタリと倒れた。

軍部、滿鐵扈從者に それ／″＼御下賜品

滿洲御見學恙なく終らせられて 秩父宮殿下御休養

【安東特電二十二日發】領事館に入らせられた秩父宮殿下には御小憩後一時より陸大生と共に大津採木公司參事の「採木公司に就て」の講話を約二十分、御聽取ありて御日程を終らせられ關東廳および關東軍側の扈從者にそれ／″＼御下賜品あり滿鐵側扈從者は二時半より伺候し御下賜品を拜受した、秩父宮殿下には御室にて御休養、五時前、仙石滿鐵總裁の伺候を受けさせられ拜謁を賜はり滿洲に御名殘りの夜を御過し遊ばされた御樣に拜す

李鍵公子殿下 安東を御出發奉天へ

【安東特電二十二日發】陸軍士官學校生徒と御同行の李鍵公子殿下は廿一日午後三時士官學校監事清水少將、御附武官中山騎兵少佐、堀場李王職御用掛等を隨へさせられ新義州より御來安、地方事務所にて御小憩の後四時軍部の自動車を先驅として鎭江山安東神社及び表忠碑に御參拜あり、四時卅五分領事館に秩父宮殿下を御訪問、約五分間御對面のうへ地方事務所にて畑軍司令官、宇佐美領事、上田駐屯地司令官、井上地方事務所長等に謁を賜ひたるのち午後五時より公會堂において高野大尉、三宅參謀長の講話を御聽取、八時四十五分一行と共に奉天へ向け御出發相成つた

高松宮 けふスエズ御着 埃及王と御對面か

【カイロ廿一日發電】高松宮同妃兩殿下には廿二日朝スエズ御到着の御豫定にて當地御上陸、直ちに自動車にてカイロに向はせられ附近を御見物後多分エヂプト王フユーアド一世に御對面遊ばさるゝ筈で同夜ポートサイドより御乘船遊ばさるゝ事となるであらう

今秋の大觀艦式 十月廿七日擧行に内定 大阪灣芦屋沖に於て

【東京二十一日發電】今年の秋を飾る海軍大觀艦式の日時については宮内省と海軍省で先頃から打合せ中のところ、この程十月二十七日午前十時を期し大阪灣芦屋沖に於て擧行するに内定近く御裁可を仰いで正式に仰出さるゝこととなつた今回の大觀艦式には加藤軍令部長が總指揮に當り、聖上陛下には榛名に御召艦親く帝國海軍の威容を御覽す御豫定である

ツエ伯號航

【カナリヤトウラスパルマス二十一日發電】大西洋航行中の汽船ゼネラル・オツソリオ號の本日正午發せる無電によれば、南アメリカに向け大西洋横斷中のツエッペリン伯號の位置は北緯二十二度五分西經二十一度三十二分で、即ちスペイン、ブラジル間を既に半分飛んだわけである

世界一周米飛行家

米國飛行家ジョン、ヘンリー、ミーアス氏は世界一周の途次憧憬れのわが日本へも飛來する事になつたが、同機は六月一日ニューヨークを出發し大西洋を横斷し歐洲各國を一巡しモスクワよりシベリヤの曠原を一氣に飛翔し奉天、新義州を通過、平壤を經て京城、大阪東京の各飛行場に着陸の豫定であると

カーダンパー試運轉 きのふ甘井子で

滿鐵甘井子埠頭は目下トランスポートの組立中で大體八分通りの完成をつげ石炭積込用のカーダンパーは米人技師の手によつて先程組立を終り近く同技師も離滿することゝなつたゝめ技師の希望により廿二日正午カーダンパーの試運轉を行ふことゝなつたが石炭積込船としては撫順丸を新埠頭に廻航七百五十噸餘を積込むことゝなつた尙見學者としては大連埠頭及び鐵道部の工務運轉貨物配車係等から三十餘名が午前九時ランチで出發甘井子に向つた、因に撫順丸に積込んだ石炭は大連埠頭に於てバンカーとして他汽船に積換へられる筈である

赤化宣傳書籍の密輸入激增 支那官憲取締に苦心

【ハルビン特電二十二日發】支那官憲ではロシヤから發送されて來る赤化宣傳用のパンフレット、雜誌、書籍等の印刷物に對して嚴重取締つてゐるが

大部分は 密封した郵便物或は列車を利用し甚だしきは立派な密輸入者があつて國境を徒歩で突破し密輸入して來る列車で發送するものは次から次の驛へと連絡員がゐて遞送する、かうした赤色書籍の洪水は東北省から支那、日本、南支と流れ行き到底堰止めることはできない、特に最近はロシヤの書籍といふわけで非常な好奇心にかられ原書を讀んで興味を感じやうとする

熱度が高 くなつて來たのと「ロシヤの書籍を飜譯すれば金が儲かる」と飜譯成金を夢見る青年プロ作家が多くなつて來たことも亦その最大原因で後者には特に日本人が多いやうで當地日本側警察署でも取締方法を考究してゐる

養鷄講習會

滿洲農事協會主催の養鷄講習會は左の如く開催の筈

▲講師 千葉縣茂原養鷄場主農學士小杉方也氏
▲開催地及會期 大連（自六月二日至同月四日）熊岳城（自六月六日至同月八日）撫順（自六月十一日同月十三日）公主嶺（自六月十六日至同月十八日）
▲講習時間 午前九時至午後四時
▲講習種別 一般養鷄講習會（大連及撫順）養鷄技術者養成講習會（熊岳城及公主嶺）
▲聽講料 無料
▲申込期日 五月三十一日
▲申込所 大連市紀伊町八五滿洲農事協會

撫順油頁岩工場の火事 七名輕傷を負ふ

【撫順特電二十二日發】オイルシエール蒸溜工場コークスチル油受室より廿二日午前十時ごろ失火し重油約二噸を燃燒し同十二時頃鎭火したが、邦人一名、華人六名の輕微な負傷者を出した、損害約二百五十圓、原因は目下詳細取調中であるが當時蒸溜室屋上排氣孔にハンダ附用焜爐を使用してゐたゝめ故障を生じこれが修繕作業中、多分これに瓦斯が引火したらしい

印度國民旗に在留英人が苦情 一悶着起るまじき形勢に 極東大會主催者苦勞

【東京二十二日發電】比、支、印三國選手を迎へて極東大會主催者側にも並ならぬ苦勞を重ねてゐるが中でも今年新らしく迎へて印度選手は母國が排英運動の眞最中である爲め主催者側では殊に國旗揭揚・國歌奏樂等の問題に就いても細心の注意を拂ひ英國大使館とも打合せた結果開會式の場合は國旗はユニオンジヤック、國歌は「ゴット、セーブ、ザ、キング」と英本國のを用ゐその他の場合は印度の國民旗で良いといふ事になり印度選手室には三色に棉引車のついた國民旗をユニオン・ジヤックと並べて揭げ日本青年館屋上には日、支、比國旗に並んで大三色旗が揭揚されてゐたが國旗觀念のやかましい在留英人から却々文句が出て屋上の三色旗は降されたり揭げられたりしてゐたが遂に二十二日朝は青年館屋上には日、支、比三國々旗に並んで三色旗は姿を見せずポールのみが意味あり氣に立つやうになつて了つた、これでまた一悶着が起き兼ねまじき模樣があるので主催者體育協會でも心配苦慮してゐる

また一揉めの大連飲食店組合 評議員の改選につき 兩派代表廿一日會合

紛糾に紛糾を續け遂に多數脱會者を出した大連飲食店組合の内訌は組合顧問田中宇一郎氏に調停を依賴し脱會派復歸の勸告に努めた結果、麵類部から三名、洋食部及び雜種部から各二名宛の相談役を新らたに設くることを條件に脱會派二十三名は圓滿復歸する解決の

曙光を 見出したことは既報の如くであるが、二十一日午後一時から市内西廣場組合事務所に右協定の結果を齎し二派の幹部數名會合、席上またも意見の衝突を來し揉みに揉んだ揚句、遂にさきの總會で新任した正副會長を除く評議員十五名は總辭職をなし、臨時總會を開いたうへ再改選を行ふことゝなり紛糾は益々深刻化して來た、即ち組合派の代表ブラジル、ロンドン、銀猫の三營業主は脱會派の要求たる相談役は決議權も發言權もなき單に名義上の役員たるを主張したに對し

脱會派 の代表BC・西洋軒、都庵の三營業者は評議員と同一權限を主張して讓らず、揉め拔いた結果、遂に再改選にまで漕ぎつけたものである、依つて組合側代表者は直ちに桑島組合長以下役員に右經緯を報告、意向を取纏めることゝなり、來る廿四日兩派代表者の會見を約し午後六時三十分散會した、因に組合側が評議員の再改選を肯ぜぬ場合は決裂となり脱會派二十三名は永久に手を取るものと觀られてゐる

日本大相撲 七日目の勝負

【東京二十一日發電】日本大相撲夏場所七日目の勝負左の如し

勝	決り手	負
若常陸	切り返し	若瀬川
沖ツ海	寄り切り	荒熊
太郎山	不戰一勝	常陸嶽
大島	押し出し	寶川
綾櫻	突き出し	幡瀬川
常陸島	寄り出し	劍嶽
藤ノ里	寄り倒し	雷ノ峰
出羽岳	寄り倒し	吉野山
眞鶴	寄り切り	綾浪
山錦	押し倒し	古賀浦
新海	打ちやり	鏡岩
和歌島	突き出し	清水川
武藏山	寄り切り	若葉山
錦洋	押し倒し	天龍
大ノ里	突き落し	能代潟
玉錦	寄り切り	玉碇
朝汐	寄り倒し	常陸岩
信夫山	寄り出し	宮城山
豐國	小手投げ	常ノ花

打ち出し五時三十分

滿洲神職會並に鮮滿聯合會

滿洲神職會創立十周年記念式並に第二回鮮滿聯合神職大會は、來る六月二十、二十一の二日間に亘り大連市滿鐵社員倶樂部に於て左記の通り開催

▲二十日 創立十周年記念式、全滿殉職者慰靈祭（午前九時）開會の辭（同十時半）事業報告、功勞者表彰、祝辭、閉會の辭（中食）第二回鮮滿聯合大會、開會の辭（午後二時）祝辭、議長選擧、協議（國體觀念の徹底的普及方法に就て）講演（滿洲に於ける我國の施設に就て）
▲二十一日 講演（午前九時より關東州の歷史に就て）神社制度に關する調査の報告及協議、閉會（中食）▲大連市内神社參拜▲（午後一時三十分）市内見物

講談社の意氣

宮内省御下命の光榮に感激した大奉仕出版といふが、講談社の『昭和天覽試合』の安いには驚かぬ者なし。これこそ講談社の美擧といふべし。其の上面白い本だ！　廣告

南洋探檢家 竹下君來連 歸國の途次

南洋探檢家竹下康國君（三七）は二十二日入港の第二十一共同丸にて青島より來連したが、氏は去る昭和三年一月十八日母國名古屋を出發一度大連に立寄つてボルネオ、スマトラ、シャム等南洋各奧地まで經巡り、深く地理及び邦人發展狀態を觀察せるもので、爾來約十年間、南洋の島嶼を跋涉せる經驗家である、氏は數日滯浦後名古屋に歸り今度は活動寫眞機を携へてニューギニヤに赴き蠻地の風俗撮影に從事する筈・目下青年會館に宿

東宮カップ遂に慶應の手に歸す 廿一日の對立教戰を最後に 六大學リーグ戰終る

【東京二十一日發電】慶立決勝戰の結果、今春シーズンの優勝盃は慶應と決し二十一日午後五時神宮球場に於て東宮カップ以下優勝盃の授與式が行はれた

一—〇で立教惜敗 對慶應決勝戰

【東京廿一日發電】リーグ戰最終の慶立決勝戰は二十一日午後三時三分より球審淺村・壘審天知、橫澤三氏審判慶應の先攻にて開戰、慶應は一回及四回に各一點を得しも立教遂に點を成さず二對零で慶應の勝に歸した、閉戰四時五十分

バッテリー 慶應（宮武、岡田）立教（細岡、百瀬）

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
慶應	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
立教	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

細河平野御鳥瞰の秩父宮
廿一日標頭記念碑高地にて（×印が殿下）

本社主催 州内庭球大會の組合はせ決定す 參加チーム實に百二組に達し 四コートで覇を爭ふ

本社主催の第十四回州内庭球大會はいよ／＼來る廿五日午前八時より大連北公園滿鐵テニスコートに於て擧行されるが、參加チーム實に百二組といふ大多數で未曾有の盛觀である、廿一日正午本社運動部に於て左の如く組合せを決定したが當日正八時北公園内コートに於て全チームの入場式を擧行し前年度の優勝チーム關谷、大串組より優勝旗、優勝盃の返還後、北公園コートA、B露西亞町コートC、Dの四コートに分かれて輸贏を爭ふことになつた、番組左の如くである

A組 北公園内コート

（1）鹽田辰田（金州民友）（2）藤本小林（衛研）（3）永田中西（昌和倶）（4）渡邊吉田（白金倶）（5）佐藤大石（滿鐵庭）（6）菊川森川（大連工場）以上不戰組（7）印牧樋口（機關區）（8）重岡松山（滿鐵）（9）片山阿部（育成）（10）入江山本（豐成）（11）持原安藤（育成）（12）田中高橋（南滿ガス）（13）大下小川（大商）（14）田倉三宅（育成）（15）慶田山崎（埠頭倶）堀江藤（濱町倶）（17）黑澤野澤（敷島倶）（18）菊川京谷（滿銀）（19）仲本宮原（糸友）（20）小寺藥地（大商）（21）野添村山（日出倶）（22）近藤三浦（中央倶）（23）森三根（大連工場）（24）光田松木（一中）以上豫備戰（25）平崎愛島（遞信）以上不戰一勝

B組 北公園内西側コート

（1）中原中村（金友）（2）牧内川端（遞倶）（3）川越井上（滿銀）4齋藤關谷（滿鐵庭）（5）吉川田中（吉川組）（6）萩原小佐々（埠頭倶）以上不戰一勝者（7）橋本柳田（獎學會）（8）井上野崎（綠友）（9）西橋富田（用度）（10）片岡平井（大商）（11）森田數見（一中）（12）志賀杉山（昌和倶）（13）岡本小島（教習所）（14）大道坂上（電友）（15）沼田野中（遞信）（16）宮今村（滿鐵）（17）川久保富浦（中試）（18）宮城池田（陸倉）（19）中村池井（遞列）（20）根本中島（埠頭）（21）鈴木大津（大連工場）（22）二宮太田（小野田）（23）幸野法村（24）（滿電）（24）有澤野間（滿鐵）（25）德永小野田（大連工場）（26）工藤高木（滿鐵庭）以上豫備戰

C組 露西亞町中央コート

（1）瀬川矢野（工專）（2）黑木松本（旅順アクメ倶）（3）伊藤長沼（日之出）（4）津田住田（埠頭倶）（5）岡本石野（大商）（6）福井林（工專）以上不戰一勝（7）稻垣山形（黑葉倶）（8）東本永里（電友）（9）下重吉丸（中試）（10）渡邊上岡（敷島倶）（11）前山内村（日之出）（12）渡邊原（獎學會）（13）池田折井（遞倶）（14）北爪林（滿鐵庭）（15）入雲小谷（昌和倶）（16）山田廣島（17）川上小野田（埠頭倶）（18）奧村鹿毛（工專）（19）丸山若林（水源地倶）（20）富加山根（OB）（21）信太山田（獎學會）（22）松原島地（衛聯）（23）大楠津田（陸倉）（24）石本月野（埠頭倶）（25）村川棧敷（小野田）（26）大高濱口（中試）以上豫備戰

D組 露西亞町コート西側コート

（1）佐藤三井（工專）（2）中村柴田（旅順アリメ倶）（3）西尾花田（育成）（4）鶴田平井（大商）（5）福井野本（昌和倶）（6）三隅松崎（埠頭倶）以上不戰一勝者（7）濱本野上（陸倉）（8）川原菊地（滿鐵庭）（9）荒井山本（用度）（10）上利宮澤（衛研）（11）橋本阪井（大連工場）（12）安部補（育成）（13）内藤栗矢（一中）（14）坂下小原（水源地倶）（15）山田福田（大連工場）（16）渡邊楢尾（滿電）17藤原菅（遞倶）（18）湯地津島（綠友）（19）近重宮崎（工專）（20）池田黑柳（濱町倶）（21）木村片山（遞列）（22）下重上田（中央倶）（23）米地田川（大連工場）（24）吉田竹内（埠頭倶）以上豫備戰、松本高橋（小野田）以上不戰一勝者

この母を見よ（九）

日活現代劇臺本より

崎面座同人構成

下宿の表――

陰氣な雨が降つて居る。

雨にぬれた悪い道、買物から歸つて來た倭子は入口で郵便屋に出會ひ、一通の手紙を受け取つた。

婦人會館職業相談部

倭子の顔は急に輝いた。雨の降りしきる中で、顫へる手で封を切つた。

就職紹介通知書

往き來の人は誰も彼も雨傘を差し、外套で寒氣を防いでゐる、倭子は何等さうした身を守る物を着けてゐない、

それにも拘らず、天氣のいゝ悪いなぞはまるで自分に關係した事ではないやうに頭を上げ、眼を輝かして居た。

破れ障子が開き乍ら倭子は微笑んだ。

微笑みながら部屋の閾を跨いだと云ふよりは跳越えた。

そして兩手を開いて歡呼の聲を立てゝ飛びついて來た中子を、何にも云はず強く胸に抱き締めた。

それから強く自分の唇を相手の額に押しつけた。

私はね　ナ子ちやん　仕事を得られましたのよ

涙が、嬉し涙か……

お父樣のお蔭でね　お父樣のお蔭でね

倭子はやつとそれだけ云つた。まだ云ひたかつたが口が利けなかつた。

お父樣！　ありがとう！

中子は小さな兩手ではてつた母の頰を愛撫しながら叫んだ。

下宿の女房が階段の欄からその樣子をのぞいて居た。

そして重そうに壞れた籠を持つて二階に昇つて來た。

奥樣！　鏡がなければ御不便でせうから……

倭子の今の氣持ちは全てのものを善意に解釋させた。幾何かの金を出した。

室代の中に加へて下さい

春の樣な氣持ちが、倭子と中子を亂かして行くのであつた。

久しぶりでの樂しい晩餐。

お魚だわ〳〵　あたし大好きなのよ

中子は嬉しさに躍り上つた。

倭子は實際仕事を得たのであつた。一月も待つた後、職業相談部へ十回以上も無駄足をした後、灰色の着物を着たあの女の掛員から家庭教師の口の見付かつた事を知らせて來たのだつた。

ほんの少しにしか當らないその收入の道が倭子には金鑛にも相當てたやうな思ひをさせた。

今ゐるその小さい部屋で、これまで同樣、或ひはそれ以上諸雜費を節約する事に努めたなら、それだけの收入でも子供と二人どうにか生活の立たぬ事もなかつた。

倭子は生活する事かできるのである。

就職第一日

倭子は朗かに大氣を呼吸しつゝ大地を踏みしめて立つた【寫眞は瀧花久子、松平千鶴子】

滿日文藝

滿日柳壇　『ピクニック』

夕燒を背負つて歸るピクニック　大連　□の丸

白靴も交つて輕いピクニック　普蘭店　登志朗

ピクニック戀人と須って邪魔な母　旅順　泥船

水筒へ買ひ水してピクニック　皮口　秋水

ピクニック年中妻もなく手をつなぎ　旅順　柳月

ピクニックわらびを摘んだ手の香ひ　大連　害々庵

絶頂へ遠くピクニック疲れ果て

プロ仲間トラックで行くピクニック　奉天　奇峯

ピクニック飲み喰つたが丘の上

ピクニック隣の子供借りて行き

ピクニック何の寫眞にも妻が居り

旅順　松風

魔法瓶初陣をするピクニック

飛行機へ瞽箸で差すピクニック　大連　農失

戀仲は花のない方へ足をむけ

ピクニック娘は別なあてがあり　沙河口　哥壽美

健脚だからと水筒背負はされ

ピクニック此處はお國の何百里　旅順　都一

ピクニック二〇三へ來て皆んな泣き　大連　春小癡

ピクニック馬鹿々々しいが先に立ち

ピクニックちと恥しい女連れ　沙河口　喜市

ピクニック魔法瓶へ舌を燒き

カメラマンちと腹の立つ要塞地

ピクニック歸りは近消考へる

春季川柳大會

六月一日午前十一時より市内ラヂユーム温泉に於て春季川柳大會を開催す、滿日柳壇投句者は奮つて來會あれ、會費金壹圓也（食事、賞品あり）

◇宿題「店、外、鳴」各四句來る廿五日締切

◇送先　大連市久方町五本社宛のこと

◇講演　若蛙、月南兩氏、席題當日發表

主催　大連川柳社

後援　滿洲日報社

滿日勝繼聯珠（十四）

中央聯珠社大連支部第一次戰譜第十回（その三）

上木三山　定先　中村ひさ子

[連珠の盤面図]

▲隨意打（五號飾花月）

△白（二十六）後「い、ろ」又は「は、に、ほ」の勝

【四段井村永治講評】

黒（十五）は失著である（十六）に引かねばならぬ。然して白に「イ」と絶對に止めさせ黒「ロ」に見せ、白「ハ」黒（十五）に見せ以下白「ニ」黒「ホ」白「ヘ」黒「ト」と運び後容易の消詰めがあつた。黒此の機を逸し甘々と白に乘ぜられたのは惜しい

▲感想「十木曰く」（十は十一の方が白いとは思つたが以下聯か五は嫌く手が氣むので休めにしたが（十一）以下宗珠に引かれ一寸困つた。